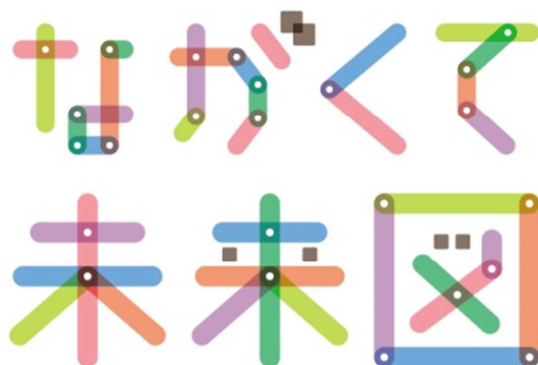


第6次長久手市総合計画



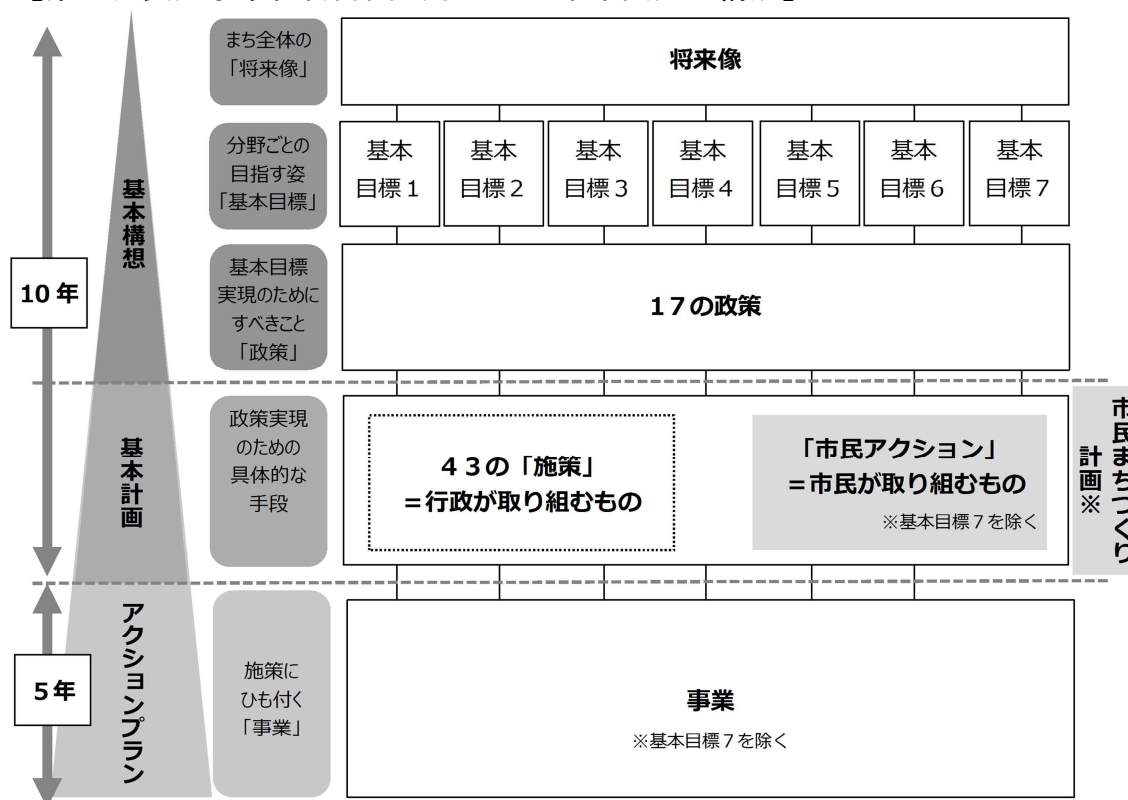
前期アクションプラン 2019～2023 (2022 年度版進捗状況)

長久手市

1 第6次長久手市総合計画（ながくて未来図）とは

「第6次長久手市総合計画（ながくて未来図）」とは、本市が目指すまちの姿やそれを実現するための施策を示した「まちづくりの指針」となる大切な計画であり、「基本構想」「基本計画」「アクションプラン」の3つの階層で構成されます。

【第6次長久手市総合計画（ながくて未来図）の構成】



基本構想：目指すまちの姿を示したものの。「まち全体の将来像」と分野ごとの具体的な目指すまちの姿「基本目標」、基本目標実現のためにすべきこと「政策」からなる。

基本計画：基本目標を実現するための「施策」の基本的な方向性を体系的に示したものの。

市民まちづくり計画：基本構想実現のために市民が取り組むもの（＝市民アクション）をまとめたもの。

「基本計画」と「市民まちづくり計画」は、基本構想を実現するための両輪として連動していきます。各基本目標及び政策に沿って、基本計画では施策を、市民まちづくり計画では市民アクションを実行していくことにより、基本構想の実現を目指します。

2 アクションプランの概要

(1) アクションプランとは

アクションプランとは、基本構想を実現するための基本計画にひも付く「事業」の実施行程をまとめたもので、毎年度、進捗管理し、新しい要素を加えたり、見直しを行ったりすることで、柔軟な計画の推進を図ります。

(2) 計画期間

2019年度を初年度とする2023年度までの5年間

(3) 対象事業数

165事業

(4) 事業計画

アクションプランには、基本構想に掲げる基本目標を実現するための具体的な事業を記載しており、2019年度から2023年度までの5か年の事業計画は、別表のとおりです。

- 基本目標1 「やってみたい」でつながるまち
- 基本目標2 子どもが元気に育つまち
- 基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物
- 基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
- 基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
- 基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

※「基本目標7 市民から信頼される市政の運営」は、上記6つの基本目標の施策を効果的に推進するためのあり方を示したものであるため、これにひも付くアクションプランの事業はありません。

(5) 言葉の定義

「準備」：各種調査や構想策定等、様々な角度で実施に向けて、検討・準備している段階

「着手」：主にハード事業において、工事等が始まった段階

「実施」：主にソフト事業において、事業が始まった段階

「継続」：着手もしくは実施後、その事業が続いている段階

「拡充」：「継続」のうち、今までの事業内容を充実する年度は、「拡充」と記載

「完了」：目的が達成され、事業が完了した段階

「見直」：事業の内容を再検討する段階

(6) 主要施策

市の将来像「幸せが実感できる 共生のまち 長久手」の実現に向けて、特に市として力を入れていく3つの方向性を示し、その方向性に合致する施策を「主要施策」として掲げ、それらに該当する事業を優先的に取り組んでいきます。

主要施策に該当する事業については、事業計画の備考欄に、どの方向性に合致するのかを記載します。

	主要施策の方向性	施策名
方向性Ⅰ	一人ひとりに生きがいがあり、元気で活躍できるまちづくり	★地域の担い手づくりの推進 ★高齢者に役割と居場所があるまちづくり ★若者の想いを支える仕組みづくり ★誰もが活躍できる地域づくり
方向性Ⅱ	多様な人がつながり、支え合うまちづくり	★地域における活動の場の整備と活用 ★子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進 ★地域の子育てネットワークづくりの推進 ★安心して子どもが過ごせる場の整備 ★くらしを支える生活基盤の充実 ★市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進
方向性Ⅲ	緑あふれる潤いのあるまちづくり	★豊かな自然環境の保全・活用 ★まちの緑の創出 ★水辺に親しめる環境の整備 ★良好な住環境の形成

3 進行管理と活動指標

(1) 指標の設定

アクションプランの進行管理を行うため、事業ごとに活動指標による目標値を設定します。

(2) 進行管理の方法

アクションプランについては、行政評価を活用し、毎年度、活動数値の実績値を把握します。

また、毎年度、新しい要素を加えたり、進捗状況に応じて見直しを行ったりします。

(3) 全面見直し

5年後には、進捗状況や評価、検証結果に基づき、2019年度から2023年度までの前期アクションプランの内容を全面的に見直し、2024年度から2028年度までの後期アクションプランを策定します。

(4) 事業実施上の留意点

アクションプラン事業の実施については、社会情勢や財政事情の変化等により、実施不可能、又は次年度への繰越実施若しくは新たに実施すべき緊急の事業が生じた場合には、基本計画の範囲内で弾力的に運用します。

アクションプラン(2022年度版)事業一覧(基本目標、政策、施策で分類)

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(1) 地域の担い手づくりの推進

・まちづくり協議会設立運営支援事業	たつせがある課	...	9
・地域共生社会推進事業(地域づくり)	地域共生推進課	...	11
・まちづくり活動補助事業	たつせがある課	...	12
・生活支援体制整備事業	長寿課	...	13

施策(2) 地域における活動の場の整備と活用

・地域共生ステーション整備事業	たつせがある課	...	14
・老人憩の家有効活用事業	長寿課	...	15

施策(3) 市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくり

・ながくて地域スマイルポイント事業	福祉課	...	16
・市民活動交流会事業	たつせがある課	...	17
・まちづくりセンター機能強化事業	たつせがある課	...	18

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(2) 若者の想いを支える仕組みづくり

・学生まちづくり活動支援事業	たつせがある課	...	19
・子どもチャレンジ事業	教育総務課	...	20
・リニモテラス整備事業	たつせがある課	...	21

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

・生涯学習推進事業	生涯学習課	...	22
・住民起業支援塾事業	たつせがある課	...	23
・創業支援事業	たつせがある課	...	24
・女性活躍推進事業	たつせがある課	...	25
・商工会支援事業	たつせがある課	...	26
・多文化共生社会事業	たつせがある課	...	27
・国際交流協会支援事業	たつせがある課	...	28
・男女共同参画推進事業	たつせがある課	...	30

基本目標2 子どもが元気に育つまち

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

・児童発達支援センター整備事業	子ども家庭課	...	31
・小中学校施設バリアフリー化事業	教育総務課	...	32
・児童発達支援センター事業	子ども家庭課	...	33
・療育支援体制構築事業	子ども家庭課	...	34
・こどもの発達相談室事業	子ども家庭課	...	35
・家庭児童相談事業	子ども家庭課	...	36
・養育支援訪問家事・育児援助事業【新規】	子ども家庭課	...	37
・教育支援センター事業	教育総務課	...	38
・子どもの生活学習支援事業	子ども家庭課	...	39
・子ども医療費支給事業	保険医療課	...	40
・保幼小中交流事業	教育総務課	...	41

施策(2) 安心して出産できる環境の充実

・産休明け保育事業	子ども未来課	...	42
・産前産後サポーター派遣事業	健康推進課	...	43
・産前産後子育て相談員訪問事業	健康推進課	...	44

施策(3) 子育て情報の整理と提供

・子育てコンシェルジュ事業	子ども未来課	...	45
・母子保健コーディネーター事業	健康推進課	...	46

政策2 子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり

施策(1) 地域の子育てネットワークづくりの推進

・地域学校協働活動事業	教育総務課	...	47
・保育園児童館等地域交流事業	子ども未来課	...	48
・子育て支援センター事業	子ども家庭課	...	49
・未就園児地域交流事業	子ども未来課	...	50

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

・英語教育充実事業	教育総務課	...	51
・ICT教育推進事業	教育総務課	...	52
・文化芸術アウトリーチ事業	生涯学習課	...	53
・平成こども塾体験学習事業	みどりの推進課	...	54
・子ども読書活動推進事業	中央図書館	...	55

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備			
・ 上郷保育園改築事業	子ども未来課	・・・	56
・ 保育施設整備事業【新規】	子ども未来課	・・・	57
・ 地域型保育事業支援事業	子ども未来課	・・・	58
・ 放課後の子どもの居場所拡充事業	子ども未来課	・・・	59
・ 南中学校増築事業	教育総務課	・・・	60
・ 小中学校施設大規模改修事業	教育総務課	・・・	61
・ 小中学校空調設備整備事業	教育総務課	・・・	62
・ 保育園自園調理事業	子ども未来課	・・・	63
・ アレルギー対応給食提供事業	給食センター	・・・	64
基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物			
政策1 万博理念を継承した自然との共生			
施策(1) 豊かな自然環境の保全・活用			
・ 里山保全管理活用事業	みどりの推進課	・・・	65
・ 長久手版プレーパーク整備事業	みどりの推進課	・・・	66
・ 自然環境保全事業	環境課	・・・	67
・ 自然環境保全活動支援事業	環境課	・・・	68
施策(2) 自然に愛着を持つ地域づくりの推進			
・ 自然環境調査事業	環境課	・・・	69
・ 自然環境保全人材育成事業	環境課	・・・	70
・ 平成こども塾体験学習事業【再掲】	みどりの推進課	・・・	71
施策(3) まちの緑の創出			
・ 道路緑化整備事業	みどりの推進課	・・・	72
・ 公園西駅周辺地区土地区画整理事業(街路樹)	区画整理課	・・・	73
・ 景観計画策定事業	都市計画課	・・・	74
・ 公園西駅周辺地区環境配慮型まちづくり事業(緑化整備)	区画整理課	・・・	75
・ 長湫中部1号緑地整備事業	みどりの推進課	・・・	76
施策(4) 水辺に親しめる環境の整備			
・ 香流川近自然河川改修事業	土木課	・・・	77
・ 香流川河川浚渫事業	土木課	・・・	78
・ 公園西駅周辺地区環境配慮型まちづくり事業(水辺緑化)	区画整理課	・・・	79
・ 香流川緑地整備事業	みどりの推進課	・・・	80
・ 香流川植栽整備事業	みどりの推進課	・・・	81
政策2 農あるくらしの推進			
施策(1) 農の活性化に向けた支援			
・ あぐりん村再整備事業	みどりの推進課	・・・	82
・ 有害鳥獣対策事業	みどりの推進課	・・・	83
・ 農業用施設改修事業	みどりの推進課	・・・	84
施策(2) 農の多様な担い手の育成			
・ アグリサポート振興事業	みどりの推進課	・・・	85
・ 新規就農支援事業	みどりの推進課	・・・	86
・ 農福連携事業	福祉課	・・・	87
政策3 地球にやさしい持続可能な社会の構築			
施策(1) くらしの低炭素化の推進			
・ 公園西駅周辺地区環境配慮型まちづくり事業(低炭素化)	区画整理課	・・・	88
・ 地球温暖化対策設備導入促進事業	環境課	・・・	89
・ 環境配慮行動促進事業	環境課	・・・	90
施策(2) ごみの減量化・資源化			
・ 資源回収拠点事業	環境課	・・・	91
・ 循環型社会推進事業	環境課	・・・	92
基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			
政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり			
施策(1) くらしを支える生活基盤の充実			
・ 地域共生社会推進事業(地域づくり)【再掲】	地域共生推進課	・・・	93
・ 生活支援体制整備事業【再掲】	長寿課	・・・	94
・ 高齢者支援ネットワーク事業	長寿課	・・・	95
・ 障がい者基幹相談支援事業	福祉課	・・・	96
・ 8050問題等実態把握訪問調査事業【新規】	地域共生推進課	・・・	98
・ 生活困窮者自立支援事業	福祉課	・・・	99
・ 地域共生社会推進事業(相談支援・参加支援)	地域共生推進課	・・・	100
・ 包括的支援情報連携システム構築事業【新規】	地域共生推進課	・・・	102
・ 障がい者地域生活整備事業	福祉課	・・・	103
・ 障がい者外出支援事業	福祉課	・・・	104

・障がい者災害時支援事業	福祉課	・・・	105
・障がい者コミュニケーション支援事業	福祉課	・・・	106
・介護職員確保事業	長寿課	・・・	107
・多文化共生社会事業【再掲】	たつせがある課	・・・	108
施策(2) 地域と一体となった防災力の向上			
・防災土育促進事業	安心安全課	・・・	109
・自主防災活動支援事業	安心安全課	・・・	110
・岩作旧市街地狭隘道路整備事業	土木課	・・・	111
・中根狭隘道路対策事業	土木課	・・・	112
・防災情報伝達システム構築事業	安心安全課	・・・	113
・防火水槽設置事業	安心安全課	・・・	114
・農村環境改善センター施設整備事業(特定天井)	子ども未来課	・・・	115
・青少年児童センター施設整備事業(特定天井)	子ども未来課	・・・	116
・文化の家施設整備事業(特定天井)	生涯学習課	・・・	117
・市役所周辺既存公共施設防災機能強化事業	企画政策課	・・・	118
・河川カメラシステム事業	安心安全課	・・・	119
・住宅耐震事業	都市計画課	・・・	120
施策(3) 交通安全・防犯の推進			
・自主防犯活動支援事業	安心安全課	・・・	121
・交通安全啓発事業	安心安全課	・・・	122
政策2 地域の課題をみんなで解決			
施策(1) 市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進			
・地域共生社会推進事業(地域づくり)【再掲】	地域共生推進課	・・・	123
・支え合いマップづくり事業	地域共生推進課	・・・	124
・ワンコインサービス事業	長寿課	・・・	125
・居場所支援事業【新規】	地域共生推進課	・・・	126
施策(2) 市民が気軽に身近で相談できる場づくり			
・地域共生社会推進事業(相談支援・参加支援)【再掲】	地域共生推進課	・・・	127
・包括的支援情報連携システム構築事業【新規・再掲】	地域共生推進課	・・・	129
・地域訪問事業	地域共生推進課	・・・	130
・地域の保健室推進事業【新規】	地域共生推進課	・・・	131
政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進			
施策(1) 市民の健康づくり			
・39歳以下健診事業	健康推進課	・・・	132
・健康マイレージ事業	健康推進課	・・・	133
・健康づくり教室事業	健康推進課	・・・	134
・重症化予防事業	保険医療課	・・・	135
・地域の保健室推進事業【新規・再掲】	地域共生推進課	・・・	136
・地域保健活動事業	健康推進課	・・・	137
・総合型地域スポーツクラブ事業	生涯学習課	・・・	138
・愛知医科大学連携事業	健康推進課	・・・	139
・食の健康推進事業	健康推進課	・・・	140
施策(2) 介護予防の推進			
・地域いきいきライフ推進事業	長寿課	・・・	141
・認知症理解普及啓発事業	長寿課	・・・	142
・食の自立支援事業	長寿課	・・・	143
施策(3) 健康づくりの環境の整備			
・市役所周辺都市基盤施設整備事業	企画政策課	・・・	144
基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪			
政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進			
施策(1) 歴史の次世代への継承			
・古戦場公園再整備事業	生涯学習課	・・・	145
・歴史民俗体験施設整備事業	生涯学習課	・・・	146
・地域資料収集事業	中央図書館	・・・	147
施策(2) 文化芸術による交流			
・文化芸術アウトリーチ事業【再掲】	生涯学習課	・・・	148
・文化芸術ワークショップ事業	生涯学習課	・・・	149
・アートのまちフェスティバル事業	生涯学習課	・・・	150
・芸術鑑賞事業	生涯学習課	・・・	151
・アートスクール事業	生涯学習課	・・・	152
・創造スタッフ創造活動事業	生涯学習課	・・・	153
・市民企画支援事業	生涯学習課	・・・	154

施策(3) スポーツを楽しむ環境の整備		
・市役所周辺都市基盤施設整備事業【再掲】	企画政策課	… 155
・スポーツの再整備事業	生涯学習課	… 156
・総合型地域スポーツクラブ事業【再掲】	生涯学習課	… 157
政策2 観光交流まちづくりの推進		
施策(1) 観光交流スタイルの確立		
・リニモテラス整備事業【再掲】	たつせがある課	… 158
・リニモテラスにぎわい創出事業	たつせがある課	… 159
・リニモテラス公益施設管理事業	たつせがある課	… 160
・観光交流協会支援事業	たつせがある課	… 161
・地域ブランディング事業	たつせがある課	… 162
・地域間交流事業	たつせがある課	… 163
施策(2) 魅力が広がる情報発信		
・観光PR事業	たつせがある課	… 164
基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち		
政策1 外出しやすい環境の整備		
施策(1) 公共交通の利便性の向上		
・高齢者等乗合タクシー事業	長寿課	… 165
・公共交通ネットワーク構築事業	企画政策課	… 166
・巡回バス運行再編事業	安心安全課	… 167
施策(2) 安心して移動できる道路の整備		
・下川原下山1号線整備事業	土木課	… 168
・浮江隅田2号線外拡幅事業	土木課	… 169
・岩作中根外新設歩道整備事業	土木課	… 170
・雁又泥亀首1号線道路改良事業	土木課	… 171
・神門前大日1号線道路改良事業	土木課	… 172
・未舗装道路修繕事業	土木課	… 173
・岩作旧市街地狭隘道路整備事業【再掲】	土木課	… 174
・中根狭隘道路対策事業【再掲】	土木課	… 175
政策2 暮らして心地よい生活環境の形成		
施策(1) リニモ沿線の市街地整備		
・長久手中央土地区画整理事業	区画整理課	… 176
・公園西駅周辺地区土地区画整理事業(市街地整備)	区画整理課	… 177
施策(2) 都市基盤施設の充実		
・市役所周辺都市基盤施設整備事業【再掲】	企画政策課	… 178
・下山土地区画整理事業	区画整理課	… 179
・卯塚墓園整備事業	環境課	… 180
・長湫中部1号緑地整備事業【再掲】	みどりの推進課	… 181
・公園西駅周辺地区環境配慮型まちづくり事業(公園)	区画整理課	… 182
・下水道整備事業	下水道課	… 183
・北浦杣ノ洞地区排水路整備事業	土木課	… 184
・公園長寿命化事業	みどりの推進課	… 185
・橋梁長寿命化事業	土木課	… 186
・下水道施設長寿命化事業	下水道課	… 187
・杣ヶ池公園改修事業	生涯学習課	… 188
・福祉の家大規模修繕事業	長寿課	… 189
・舗装修繕事業	土木課	… 190
・文化の家整備事業(一部改修)	生涯学習課	… 191
・せせらぎの径修繕事業	みどりの推進課	… 192
・中央2号公園改修事業	たつせがある課	… 193
施策(3) 良好な住環境の形成		
・景観計画策定事業【再掲】	都市計画課	… 194
・道路緑化整備事業【再掲】	みどりの推進課	… 195
・公園西駅周辺地区土地区画整理事業(街路樹)【再掲】	区画整理課	… 196
・街路樹市民管理事業	みどりの推進課	… 197
・香流川緑地整備事業【再掲】	みどりの推進課	… 198
・香流川植栽整備事業【再掲】	みどりの推進課	… 199

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価4 地域振興事業

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(1) 地域の担い手づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	まちづくり協議会設立運営支援事業	概ね小学校区単位ごとに、地域コミュニティの活性化や地域課題の解決を目的としたまちづくり組織を設置します。また、まちづくり組織の活動に対する支援、それらの活動が安心してできるような環境の整備を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課	方向性Ⅰ	
				指標	まちづくり協議会議の実施回数(役員会、運営委員会) 【単年】 ①西小学校区まちづくり協議会 ②市が洞小学校区まちづくり協議会 ③北小学校区まちづくり協議会							
					基準値 (2018)	①24回 ②14回	目標値 (2023)	①24回 ②14回 ③6回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	① 2団体	・西小学校区は平成29年4月に、市が洞小学校区は平成30年11月にまちづくり協議会を設立し、地域課題の解決に向けて取り組んでいる。西小学校区では毎月常任委員会及び運営会議を、市が洞小学校区では毎月役員会、年に3回運営会議を開催した。	活動指標は、まちづくり協議会設置数【累計】
		② 1団体	・北小学校区は、平成30年7月にまちづくり協議会設立準備会を発足し、どのような組織にしていこうか等について話し合いを進めている。 ・南小学校区は、令和元年度に、設立に向けたキックオフイベントやワークショップを開催した。	活動指標は、まちづくり協議会設立準備会設置数【単年】
2020 (R2)	継続	① 2団体	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、西小学校区及び市が洞小学校区での運営会議は中止した。 ・特別定額給付金(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策)の申請を促すため、西小学校区では、チラシの全戸ポスティングを行った。	活動指標は、まちづくり協議会設置数【累計】
		② 1団体	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、まちづくり協議会設立準備会の検討協議会は休止した。 ・特別定額給付金(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策)の申請を促すため、北小学校区では、病院や店舗を訪問して、ポスターの設置依頼を行った。	活動指標は、まちづくり協議会設立準備会設置数【単年】
2021 (R3)	継続	① 12回	・定例会、防災活動、防犯パトロール等を実施した。	
		② 12回	・定例会、多世代交流、子育て支援団体連絡会、防犯パトロール等を実施した。	
2022 (R4)	継続	① 12回	・まちの運動会、西まち協フェスティバルなどのイベントの開催のほか、防犯、防災の活動に関する活動を行った。	
		②12回	・まちづくり協議会の主催で、地域に関わる様々な人たちが集まり、災害が起きたときに自分たちが何をすべきかを話し合う地域防災ローカル会議が行われた。	
		③0回	・定例会、多世代交流、子育て支援団体連絡会、防犯パトロール等を実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(1) 地域の担い手づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	2	地域共生社会推進事業 (地域づくり)	市民が地域の困りごとを主体的に解決できる地域づくりを推進するため、コミュニティ・ソーシャルワーカーが、まちづくり協議会、自治会、民生委員等様々な分野の関係者と連携し、市民が互いに支え合い、見守る小地域活動を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	地域共生推進課	方向性Ⅰ
				指標	市民が地域の課題や支え合いについて話すことができる場の設置数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	10地区			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】		
2020 (R2)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】		
2021 (R3)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】 事業名変更 旧：地域力強化推進事業		
2022 (R4)		継続	10地区	・地域において、主体的に困りごとを把握し、解決する体制づくりのため、CSWとともに2地区の支え合い活動をサポートした。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価5 まちづくり協働事業

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(1) 地域の担い手づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	まちづくり活動補助事業	市民が日常生活の中で気づいたことや地域の課題を、市と協働して解決する取組を応援する「まちづくり活動補助事業」を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課	方向性Ⅰ	
				指標	①協働まちづくり活動補助団体数【単年】 ②NPO法人補助団体数【単年】							
					基準値 (2018)	①8団体 ②1団体	目標値 (2023)	①9団体 ②1団体				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	① 7団体	・全8団体(協働まちづくり活動補助7団体、NPO法人補助1団体)に対し補助を行った。 また、新たに事業評価シートを作成し、達成状況を数値化できるよう改善した。 ※補助対象団体:NPO法人デジタルライフサポーターズネット、ういういの会、キッズボランティアサークルあそびすと、子づれ備災クラブ、あいち手作り甲冑サポート塾、まざってエコ、長久手ねこ教部、NPO法人ながいく	
		② 1団体		
2020 (R2)	継続	① 0団体	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業を中止した。	
		② 0団体		
2021 (R3)	継続	① 4団体	・協働まちづくり活動補助4団体に対し補助を行った。 ※補助対象団体:子づれ備災クラブ、NPO法人ながいく、クーテシガーナキッズダンス隊、ALEQ 令和3年度から学生枠を新設し、学生のまちづくりをより重点的に支援していくこととした。	
		② 0団体		
2022 (R4)	継続	① 8団体	・協働まちづくり活動補助8団体に対し補助を行った。 ※補助対象団体:クーテシガーナキッズダンス隊、ボクラモ、みんなまちフォーラム実行委員会、ながくて結の会、ういういの会、名古屋外国語大学プレイスメイキング研究会、Paleix、ジェンダー研究会Coal ook 市との協働に加え、まちづくり協議会とも連携した事業を展開することができた。	
		② 0団体		
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価59 包括的支援事業

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(1) 地域の担い手づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	生活支援体制整備事業	介護や生活支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護予防の取組や簡単な支援を地域で提供できる体制づくりを行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課	方向性Ⅰ	
				指標	生活支援サポーター養成人数【累計】							
					基準値 (2018)	71人	目標値 (2023)	110人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	85人	・生活支援サポーター登録のハードルを下げた(講座を受講をせずとも、登録説明会に参加するだけで登録可)ことで、例年より多くの方に関心を持ってもらい、養成講座に参加してもらった。	
2020 (R2)	継続	210人	・社会福祉協議会が実施していた「見守りサポーター制度」と統合して、より多くの方が幅広い支援を行うことができる体制とした。 ・生活支援サポーターフォローアップ研修を開催し、16人が参加した。また、生活支援サポーター交流会を開催し、26人が参加した。	
2021 (R3)	継続	103人	・生活支援サポーター登録者数と、実動人数に隔離があったため、令和3年度当初に調査を行い、実動できるサポーターを確認したところ、登録者数が減少した。また、調査後の登録者数を基準として、目標値を変更した。 ・長久手市「生活支援サポーター」事業実施要綱を制定し、生活支援サポーターの活動内容について、従来の集いの場における講師、講師補助及び運営補助だけでなく、見守り活動と安否確認活動を追加した。	
2022 (R4)	継続	104人	・新規19名を養成した。 ・交流会を6回開催、ニュースレターを2回発行した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(2) 地域における活動の場の整備と活用

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	地域共生ステーション整備事業	概ね小学校区単位の地域に、自治会をはじめ、子ども会やシニアクラブ、企業、NPO、各種活動団体等が、地域のために様々な取組を行う拠点となる施設を、北小学校区及び南小学校区に整備します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせがある課	方向性Ⅱ	
				指標	地域共生ステーション設置数【累計】							
					基準値 (2018)	2箇所	目標値 (2023)	4箇所				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	2箇所	・北小校区共生ステーションの開設に向けて、その利用方法や運営の取り決めなどを市民と協議した。 ・南小校区共生ステーションの開設に向けて、市民と一緒につくってきた設計の内容について、校区全体への周知や、近隣住居への個別訪問等を実施した。	
2020 (R2)	継続	4箇所	・令和2年4月に北小校区共生ステーションを、令和2年9月に南小校区共生ステーションをそれぞれ開館した。 ・各共生ステーションのワークショップにて利用規約づくりを完了する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を延期した。	長小校区、東小校区共生ステーションの設置については、地域の意見を聞きながら検討を行う。
2021 (R3)	継続	4箇所	・北小校区共生ステーションでは、登録団体による団体交流会を実施し、ステーションの運営等について検討を行った。・南小校区共生ステーションでは、利用方法を考える会を実施し利用規約づくりを進めた。	長小校区、東小校区共生ステーションの設置については、地域の意見を聞きながら検討を行う。
2022 (R4)	継続	4箇所	・まちづくり協議会や地域における市民活動団体が共生ステーションを拠点として、それぞれの地域の課題解決に向けた特色ある事業を実施している。	長小校区、東小校区共生ステーションの設置については、地域の意見を聞きながら検討を行う。
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(2) 地域における活動の場の整備と活用

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	老人憩の家 有効活用事業	老人憩の家を、多世代が多様な目的に利用できる地域の交流の場として活用します。	行程	継続	継続	見直	継続	継続	長寿課	
				指標	多世代での利用がなされている施設数【単年】						
					基準値 (2018)	1箇所	目標値 (2023)	1箇所			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	1箇所	・子ども学習支援を実施し、延べ538人が参加した。							
2020 (R2)		継続	1箇所	・子ども学習支援を実施し、延べ190人が参加した。							
2021 (R3)		見直	0箇所	・集会所と隣接する老人憩の家について、各管理者と相互の有効活用について検討した。							
2022 (R4)		継続	0箇所	・いずれの憩の家においても、コロナ禍により定員や行為制限を設けた中での運用をしていたことから、具体的な有効活用の検討が難しい状況であった。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価30 地域福祉推進事業

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(3) 市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	ながくて地域 スマイルポ イント事業	市民活動参加のき っかけづくりのため、市 民活動に参加した人 に対してポイントを付 与し、貯まったポイント を、交換品に換えるこ とができる事業を行 います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	福祉課	
				指標	ポイント交換者数【単年】						
					基準値 (2018)	571人	目標値 (2023)	620人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	580人	・市内福祉事業所におけるボランティア、市主催行事等への参加及び市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等への交換を行った。							
2020 (R2)		継続	454人	・市内福祉事業所におけるボランティア、市主催行事等への参加及び市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等への交換を行った。							
2021 (R3)		継続	435人	・市内福祉事業等におけるボランティア活動、市主催行事等への参加及び市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等に交換を行った。 ・令和4年度から18才以下へ対象を拡大するため、関係者等への調整・説明を行った。							
2022 (R4)		継続	518人	・市内福祉事業等におけるボランティア活動、市主催行事等への参加及び市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等に交換を行った。 ・令和4年度から対象年齢を18歳以上から小学生以上に拡大。18歳未満は45人(ポイント交換は2人)が登録。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(3) 市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	市民活動交流会事業	新しいまちづくりの人材育成や地域ニーズの発掘のため、市民及び市民活動団体同士のつながりをつくる市民活動団体の交流会を行います。	行程	継続	継続	見直	継続	継続	たつせがある課	
				指標	交流会実施回数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	1回			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	① 10回	・月1回のまちセンカフェで市民と交流するだけでなく、市民活動交流会を開催し、市民団体同士が交流するきっかけの場を提供した。	まちセンカフェ実施回数【単年】
		② 2回		交流会実施回数【単年】
2020 (R2)	継続	1回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインを活用した市民活動交流会を開催した。	まちセンカフェは、令和2年度から市民活動団体による開催を目指すため、市主催事業としては廃止。
2021 (R3)	見直	1回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインを活用した市民活動交流会を開催し25名が参加した。	市民団体のつながりづくりは、各共生ステーションでの取組及び協働まちづくり活動補助金の活動団体の事業等により、市民が主体となって開催することを市として支援を行う。
2022 (R4)	継続	1回	・3年振りにまちづくりセンターを会場として、市民活動交流会を開催した。市民活動団体、企業、行政など様々な主体が参加して交流を図った。	開催については、まちセンコーディネーターが中心となって実施した。
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価

政策1 地域共生を支える人づくり

施策(3) 市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	2	まちづくりセンター機能強化事業	市民活動団体の活動拠点として、まちづくりセンターの運営体制を強化します。	行程	準備	実施	完了	=	=	たつせがある課		
				指標	まちづくりセンターの運営を考える会開催回数【単年】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	6回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	3回	・まちづくりセンターの活用について、より多くの団体から気軽に意見がもらえるよう、工夫し交流会を実施した。交流会で出た意見を踏まえ、フリースペースのレイアウト変更(わいがや広場)、備品の配置等を行った。 ・まちセンコーディネーター(相談員)を試験的に配置した。	
2020 (R2)	準備	1回	・オンラインによる交流会を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中での活動を考えた。 ・市民及び市民活動団体向けにオンライン活用講座を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中での市民活動の促進を行った。 ・引き続きまちセンコーディネーター(相談員)を配置した。	
2021 (R3)	完了	1回	・オンラインによる交流会を地域協働計画の関連事業として実施し、市民活動団体同士の交流を図りながら、地域協働計画への参加を呼びかけた。 ・引き続きまちセンコーディネーター(相談員)を配置した。	まちセンコーディネーターが市民活動団体の相談を受ける体制が整ったことから、事業完了とする。
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価8 大学連携事業

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(2) 若者の想いを支える仕組みづくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	学生まちづくり活動支援事業	市内4大学および周辺大学と連携し、大学の持つ知的財産や人材、学生の持つ若い力を生かすための仕組みづくりに取り組み、学生のまちづくり活動を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせがある課	方向性Ⅰ	
				指標	大学連携事業実施件数【単年】							
					基準値 (2018)	23件	目標値 (2023)	35件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	28件	・各課で各大学等の特色を活かした事業を実施した。また、教員やゼミとの事業だけではなく、学生サークルと連携した事業も実施した。	
2020 (R2)	継続	16件	・各課で各大学等の特色を活かした事業を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中でも実施できる方法を検討し、オンラインを活用した事業もあった。	
2021 (R3)	継続	26件	・各課で各大学等の特色を活かした事業を実施した。 ・市内4大学の教員及び学生、市民団体、企業がごちゃまぜになって地域でやりたい活動について話し合うワークショップを行った。 ・リニモテラス公益施設が令和3年度6月に開館したことで、積極的にリニモテラス公益施設を活用して市内4大学がワーキングを実施した。	
2022 (R4)	継続	40件	・各課で各大学等の特色を活かした事業を実施した。 ・これまで各大学が単独で行っていた事業とは別に、市内4大学、長久手市国際交流協会、尾三消防本部、長久手市社会福祉協議会等が連携して行う防災イベントを実施し200名の来場があった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(2) 若者の想いを支える仕組みづくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	子どもチャレンジ事業	子どもが抱いた「夢」や「学習」等に対して、子ども自ら課題を見つけ、達成する過程で主体性を育成する取組を行います。	行程	実施	継続	継続	継続	継続	教育総務課	方向性Ⅰ
				指標	取組人数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	20人			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	実施	9人	・市民有志スタッフを募集し、子どもチャレンジ事業を実施した。								
2020 (R2)	継続	0人	・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止した。								
2021 (R3)	継続	0人	・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止した。								
2022 (R4)	継続	4人	・サポーター6人参加 ・チャレンジャーがそれぞれやりたいことに挑戦し、中間報告会、完了報告会で発表した。								
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1「やってみたい」でつながるまち

行政評価

政策2「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(2) 若者の想いを支える仕組みづくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	リリモテラス 整備事業	「リリモテラス公益施設(仮称)」を整備し、学生と大学・市民・企業・市等が相互に連携するための拠点づくりを行います。	行程	準備	着手	完了	—	—	たつせがある課	
				指標	施設数						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	1施設			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	0施設	・リリモテラス運営協議会が主体となって、月2回程度のミーティングを行い、リリモテラス公益施設の設計及び管理運営案を検討した。							
2020 (R2)		着手	1施設	・リリモテラス建築工事に着手し、令和3年3月に完成した。施工中には、土壁塗り、フローリング施工、外壁の杉板張り等のワークショップを3回実施し、延べ68人が参加した。 ・中央2号公園グレードアップ設計ワークショップを3回実施し、延べ131人が参加した。							
2021 (R3)		完了	1施設	・リリモテラス公益施設の開館に必要な事務備品等を購入した。							
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価21 生涯学習推進事業

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	生涯学習推進事業	市民が生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとなるような生涯学習講座を開講します。また、講師と受講生が協働して講座運営を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課	方向性Ⅰ	
				指標	公民館講座開講数【単年】							
					基準値 (2018)	31講座	目標値 (2023)	20講座				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	32講座	・ながくて・学び・アイ講座17講座、生涯学習講座8講座、大学連携講座1講座、ながくて市民大学5講座、土曜英語講座1講座の計32講座を開催した。	
2020 (R2)	継続	20講座	・ながくて・学び・アイ講座9講座、生涯学習講座4講座、大学連携講座2講座、ながくて市民大学5講座の計20講座を開催した。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、公民館講座が2講座中止となり、ながくて・学び・アイ講座の開講率も41%と低かった。	
2021 (R3)	継続	12講座	・ながくて・学び・アイ講座10講座、生涯学習講座2講座を開催した。 ・令和3年度は、公民館が新型コロナウイルスワクチン集団接種会場となったことや行政改革の取組で類似講座の統廃合を行ったことから、令和2年度と比較して講座数が減少した。	
2022 (R4)	継続	16講座	・ながくて・学び・アイ講座は、14講座が開講し、そのうち4割を超える6つの講座から育成サークルが立ち上がった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	住民起業支援塾事業	地域の課題を市民が主体となって解決するため、ビジネスの手法を活用し、仕事として報酬を得ながら事業を持続的に継続する「コミュニティビジネス」の起業に必要な知識を学ぶ講座を行います。令和3年度より商工会の実施している創業事業の支援強化に伴い、事業を商工会へ移管します。	行程	継続	継続	—	—	—	たつせがある課	
				指標	起業者数【累計】						
					基準値 (2018)	7人	目標値 (2020)	7人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	8人	・10月より全8回の講座を実施し、5人(うち1人は第1回のみ)が参加した。 ・成果数値(起業者数) 平成26年度参加者 11人中3人起業 平成27年度参加者 7人中1人起業 平成28年度参加者 7人中2人起業 平成29年度参加者 5人中1人起業 平成30年度参加者 7人 令和元年度参加者 5人中1人起業 累計8人							
2020 (R2)		継続	8人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、起業を考える人が少ないと想定し、オンラインによるタイムマネジメントセミナーを実施した。						令和3年度から商工会が実施するため、市主催の事業としては廃止。	
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価11 商工振興事業

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	創業支援事業	日進市、豊明市、東郷町と共同で認定を受けている「創業支援事業計画」に基づき、4市町と4商工会で連携し、創業希望者や創業間もない人を対象としたセミナーを行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせがある課	
				指標	創業者数【累計】						
					基準値 (2018)	4人	目標値 (2023)	9人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	5人	・4商工会主体の創業支援セミナーを9月より全4回実施し、13人(うち長久手市民1人)が参加した。また4市町が主催の創業入門セミナーを7月に実施し、6人が参加した。 ・成果数値(創業者数) 平成30年度 4人 令和元年度 1人 累計5人							
2020 (R2)		継続	6人	・創業支援セミナーを(全4回)を実施し、20人(うち長久手市民7人)が参加した。 ・成果指標(創業者数)平成30年度 4人、令和元年度 1人、令和2年度 1人 累計6人							
2021 (R3)		継続	6人	・創業支援セミナー(全4回)を実施し、16名(うち長久手市9名)が参加した。 ・成果数値(創業者数)平成30年度4名、令和元年度1名、令和2年度1名、令和3年度0名 累計6名							
2022 (R4)		継続	9人	・創業支援セミナー(全4回)を実施し、21名(うち長久手市8名)が参加した。 ・成果数値(創業者数)平成30年度4名、令和元年度1名、令和2年度1名、令和3年度0名、令和4年度3名 累計9名							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価6 男女共同参画推進事業

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	女性活躍推進事業	女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発事業を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課		
				指標	女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	3回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	1回	・北小学校で5年生を対象とした出前講座を実施した。	
2020 (R2)	継続	1回	・北小学校5年生を対象に出前講座を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各クラス(5クラス)ごとに実施した。	
2021 (R3)	継続	3回	・マザーズセミナー、ママたちのワークショップ、再就職セミナーを行った。	
2022 (R4)	継続	2回	・マザーズコーナー出張セミナー1回、ママたちのワークショップ・再就職セミナー1回行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

--

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価11 商工振興事業

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
エ	1	商工会支援 事業	市内商工業者の活性化を目的として、長久手市商工会に対し、事業者の育成や事業者同士の連携を図る経営発達支援事業に必要な支援を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課		
				指標	経営発達支援事業支援件数【単年】							
					基準値 (2018)	102件	目標値 (2023)	125件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	120件	・地元商工会への補助金交付し、市内事業者の健全な経営を支援した。	
2020 (R2)	継続	316件	・地元商工会への補助金交付し、市内事業者の健全な経営を支援した。 ・新型コロナウイルス感染症に関する補助金の申請を希望する市内事業者が多く、事業計画策定支援等の機会が増加した。	
2021 (R3)	継続	116件	・地元商工会への補助金交付し、市内事業者の健全な経営を支援した。 ・国、県のコロナ対策の補助金や市の補助金(創業・経営革新)の申請手続きに係る支援を商工会が担うことで経営支援機関としての役割を果たし、商工会会員数の増加につながった。	
2022 (R4)	継続	101件	・新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた補助金や、ロシア・ウクライナ情勢による燃料等の価格高騰に対する補助金を実施したことにより、社会情勢に合わせた支援を市内事業者に対して行うことができた。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

--

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1「やってみたい」でつながるまち

行政評価10 国際化事業

政策2「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	1	多文化共生 社会事業	外国人市民のニーズ や国際情勢、本市に おける多文化共生の 実態を把握し、外国 人市民が地域の一員 として活躍・生活す ることができるよう、 多文化共生の地域 づくりや国際交流意 識の醸成に取り組み ます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課	
				指標	多文化共生促進事業数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	7回			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	—	・多文化共生推進プラン策定に係るアンケート調査を実施した。(回収数:日本人 387件/1,000件、外国人 171件/1,026件)							
2020 (R2)		継続	—	・令和3年2月に多文化共生推進プラン策定を策定した。策定過程では、策定委員会(3回開催、延べ28人出席)及びあいち多文化共生タウンミーティングながくて(ワークショップ、計41人参加)を開催した。							
2021 (R3)		継続	7回	・長久手市多文化共生推進会議(有識者会議2回開催、延べ20人出席)、長久手市多文化共生推進連絡会議(庁内会議2回開催、延べ24人出席)、関係課連携事業(マイナンバー説明会、外国人子育て座談会)、学校への日本語学習サポーター派遣事業を実施した。							
2022 (R4)		継続	7回	・長久手市多文化共生推進会議(有識者会議、2回開催、延べ17人出席)、長久手市多文化共生推進連絡会議(庁内会議、2回開催、のべ20人出席)、学校への日本語学習サポーター派遣事業を実施した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価11 国際化事業

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
オ	2	国際交流協会支援事業	多文化共生の地域づくりや国際理解・交流の促進に取り組むため、長久手市国際交流協会への支援と連携を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせがある課		
				指標	国際交流協会が実施する事業への参加者数【単年】							
					基準値 (2018)	2,850人	目標値 (2023)	3,000人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	2,660人	・国際交流協会実施事業として弁論大会、ホームステイ受入、機関誌作成、日本語教室(木曜日・土曜日 各月3～4回)、多文化共生セミナー、語学講座等を実施した。	
2020 (R2)	継続	967人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインを活用したイベントや日本語教室を開催した。 ・リニモテラス実証実験ピニャータで交流、自宅と世界がつながるオンラインチャレンジ!!、協会PRチラシ作成、協会ホームページリニューアル、日本語教室(木曜日・土曜日 各月3～4回)、英語絵本読み聞かせ等を実施した。	
2021 (R3)	継続	4,145人	・リニモテラス公益施設で日本語学習者や留学生が講師となって母国の文化や言語について伝えるイベントを開催し、外国人の活躍の場を提供した。 ・くーとーく(動画配信)、国際交流フェスタ(動画配信)、NIA集いの広場(毎週土曜日)、情報誌及び協会PRチラシ発行、日本語教室(木曜日・土曜日 月3～4回)、こどもにほんご(日曜日 月3～4回)、英語絵本読み聞かせ等を実施した。	
2022 (R4)	継続	6,198人	・ワートルロー市との姉妹都市提携30周年記念イベント「ベルギーワートルローフレンドフェスinながくて2022」を実施し、約1,000人が来場した。会場では30周年記念動画の上映や現地とのオンライン交流を実施し、姉妹都市に関する周知及び交流を図ることができた。 ・国際交流フェスタ、くーとーく、ベルギーワートルローフレンドフェス、日本語教室(木曜・土曜・日曜)、日本語ボランティア入門講座、日本語教室愛知県立大学合同研修、災害サバイバルフェス、NIA集いの広場、学校日本語学習サポート、外国人相談、英語絵本読み聞かせ、日本文化紹介、ホームステイ(相山女学園、愛知県立大学)、HP運営、情報誌及びチラシ発行等を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標1 「やってみたい」でつながるまち

行政評価6 男女共同参画推進事業

政策2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり

施策(3) 誰もが活躍できる地域づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
力	1	男女共同参画推進事業	あらゆる分野で性別にかかわらず誰もが活躍できる社会を目指し、推進・啓発活動等を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせがある課	
				指標	男女共同参画推進に係る定期講座開催回数【単年】						
					基準値 (2018)	2回	目標値 (2023)	3回			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	2回	・市民と協働し、男女共同参画市民講座を2回実施し延べ51人が参加した。	
2020 (R2)	継続	1回	・あいち男女共同参画財団と共催で男女共同参画サテライトセミナーを対面及びリモートで開催した。 ・市民と協働で、情報紙「にじいろ」を作成した。	
2021 (R3)	継続	5回	・市職員向け講座を2回、女性活躍推進のためのセミナー等を3回実施した。 ・学生と協働し、情報紙「にじいろ」、「自分らしく」を作成した。	
2022 (R4)	継続	5回	・文化の家と協働した男女共同参画講座を開催し、200名を超える参加者に来ていただくことができ、多くの方々に対して男女共同参画について考えるきっかけ作りができた。 ・男女共同参画推進部会2回、サテライトセミナー1回、出前講座1回実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

--

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち 行政評価

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	児童発達支援センター整備事業	市の中核的な療育施設として、児童発達支援センターを上郷保育園や上郷児童館と一体的に整備します。	行程	着手	継続	完了	—	—	子ども家庭課	方向性Ⅱ
				指標	児童発達支援センター施設数						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	1施設			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		着手	—	・建設工事に係る入札を行い、建設事業者を決定した。 ・建設工事に着手した。							
2020 (R2)		継続	—	・児童発達支援センターの建設工事が完了した。							
2021 (R3)		完了	1施設	・上郷複合施設の整備が完了し、令和3年4月にこどもの発達相談室、10月に児童発達支援センターを開所した。							
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	2	小中学校施設バリアフリー化事業	西小学校にスロープ、エレベーターを設置する等、順次ハード面の整備を行います。	行程	—	—	準備	着手・完了	—	教育総務課	方向性Ⅱ
				指標	バリアフリー工事が完了した学校数【累計】						
					基準値 (2018)	8校	目標値 (2022)	9校			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	—	—	—								
2020 (R2)	—	—	—								
2021 (R3)	準備	—	・バリアフリー工事の設計業務を実施した。								
2022 (R4)	着手・完了	9校	・車椅子対応エレベーター及び段差解消のためのスロープ、階段部への手摺り等の設置を行った。								
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価44 児童発達支援センター事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	児童発達支援センター事業	障がいのある就学前児童に対し、独立自活に必要な知識技能の付与、集団生活への適応のための訓練などを行います。	行程	準備	準備	実施	継続	継続	子ども家庭課	方向性Ⅱ
				指標	1日あたりの通所者数(※年度平均利用児童数) 【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	20人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)		実施	13.5人	・令和3年10月1日からの開所に向け、指定管理者とともに県への事業申請、ルール作り、入所準備を行い、半年間の運営を行った。延べ利用人数1,543人、開所日114日						2021年度新規事業	
2022 (R4)		継続	21.8人	・複合施設内の、上郷児童館への訪問及び上郷保育園の植樹等の行事への参加で連携を深めた。 ・児童発達支援は延べ5,066人(日平均21.8人)、保育所等訪問支援は延べ405人(月平均33.8人)利用があった。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち 行政評価

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	療育支援体制構築事業	障がいのある児童に対して、出生から就園、就学へと切れ目のない療育支援体制を構築します。 ※令和3年度以降は「こどもの発達相談室事業」に移行	行程	準備	準備	完了	—	—	子ども家庭課	方向性Ⅱ
				指標	療育支援体制の構築						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・療育支援体制を統括する(仮称)こどもの発達相談の設置の検討等、体制整備に向けた検討を行った。							
2020 (R2)		準備	—	・「こどもの発達相談室」の設置に向け、専門職員の確保、相談室の役割の整理を行った。また、「長久手市の療育支援体制について」を策定した。							
2021 (R3)		完了	—	・療育支援体制整備プロジェクトチームにおいて、各課の役割分担について確認し、医療的ケア児のケース検討の場を整理した。今後この事業を「こどもの発達相談室事業」に移行する。							
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価43 こどもの発達相談室事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	こどもの発達 相談室事業	出生から就園、就学、 就業へと切れ目のない療育支援体制の整備、保健・医療・福祉・保育・教育といった関係機関との連携強化を目的に設置します。児童の発達に関する相談窓口の充実、早期療育へのつながりを行います。	行程	—	—	実施	継続	継続	子ども家庭課	方向性Ⅱ
				指標	関係機関と連携して支援した件数						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	36件			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)				
2021 (R3)	実施	71件	・心理士、保育士、保健師、教員経験者、小児科医などの専門職で相談を受けた。150人(185件)。	2021年度新規事業
2022 (R4)	継続	110件	・関係機関との連携強化のための仕組みづくりとして、「長久手市医療的ケア児等ケース会議設置要綱」、「長久手市療育支援個別ケース等協議会設置要綱」を制定し、7月、11月、3月に「医療的ケア児等ケース会議」、5月、12月、2月に「学童・青年期連絡会」、「乳幼児連絡会」を開催した。 ・心理士、保育士、保健師、教員経験者、小児科医などの専門職で相談を受けた。236人(182件)。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価42 家庭児童相談室事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	家庭児童相談事業	子どもの養育等、様々な困難に直面している家庭を総合的に支援します。要保護児童等への支援をはじめ、DV防止対策の充実を図ります。	行程	継続	拡充	継続	継続	継続	子ども家庭課		
				指標	家庭相談員の増員【単年】							
					基準値 (2018)	2人	目標値 (2023)	3人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	—	・育児やしつけの相談、児童虐待の通告や相談、子どもに関する幅広い問題についての相談のほか、DVに関する相談・支援を行った。(相談件数311件)	
2020 (R2)	拡充	3人	・育児やしつけの相談、児童虐待の通告や相談、子どもに関する幅広い問題についての相談のほか、DVに関する相談・支援を行った。(相談件数268件)	
2021 (R3)	継続	2人	・育児やしつけの相談、児童虐待の通告や相談、子どもに関する幅広い問題についての相談のほか、DVに関する相談・支援を行った。(相談件数279件)	
2022 (R4)	継続	2人	・育児やしつけの相談、児童虐待の通告や相談、子どもに関する幅広い問題についての相談のほか、DVに関する相談・支援を行った。(相談件数219件)	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち 行政評価

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	2	養育支援訪問家事・育児援助事業	養育支援が特に必要であると判断した家庭を訪問し、育児・家事援助により、適切な養育環境を確保します。	行程	—	—	—	実施	継続	子ども家庭課	
				指標	養育支援訪問連絡会実施回数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	12回			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)		実施	37回	・養育支援が必要な要保護児童対策地域協議会で管理している世帯を対象にヘルパーを派遣し、家事・育児援助を行った。						2022年度版新規事業	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価54 教室支援センター事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	1	教育支援センター事業	不登校児童生徒が教育支援センターで安心して過ごせるよう、指導員やカウンセラーを適正に配置し、相談体制を充実します。また、家庭にいる不登校児童生徒に対して、学校や関係機関との連携を図り、家庭訪問等学校への復帰に必要な支援を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	教育総務課	
				指標	スクールソーシャルワーカーとの定期連絡会実施回数						
					基準値 (2018)	週1回	目標値 (2023)	週1回			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	週1回	・スクールソーシャルワーカーと適応指導教室指導員との定期連絡会を週1回実施し、不登校及び登校渋りのある児童生徒についての情報共有を行った。	
2020 (R2)	継続	週1回	・引き続き、週1回の定期連絡会を実施した。 ・保護者の会「こーひーぶれいく」を年3回実施した。	
2021 (R3)	継続	週1回	・スクールソーシャルワーカーと適応指導教室指導員との定期連絡会を週1回実施し、不登校及び登校渋りのある児童生徒についての情報共有を行った。 ・保護者の会「こーひーぶれいく」を年3回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回中止した。	
2022 (R4)	継続	週1回	・令和4年4月1日に市役所西側に移転し、名称を教育支援センターに改めた。 ・スクールソーシャルワーカーと教育支援センター指導員との定期連絡会を週1回実施し、不登校及び登校渋りのある児童生徒についての情報共有を行った。 ・保護者の会「こーひーぶれいく」を年3回実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち 行政評価45 ひとり親等福祉費

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
オ	2	子どもの生活 学習支援事業	ひとり親家庭等の子どもに対し、学習支援や生活相談、生活習慣の取得を目的とした、子どもの生活・学習支援事業を行います。	行程	継続	継続	拡充	継続	継続	子ども家庭課		
				指標	事業内容等拡大【単年】							
					基準値 (2018)	2箇所	目標値 (2023)	4箇所				
進捗状況												
年度		状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)		継続	3箇所	・基本的学習事項の指導や宿題の支援、手軽な遊びを3カ所で実施した。142回実施し延べ1,932人が参加した。								
2020 (R2)		継続	3箇所	・123回実施し、延べ1,104人が参加した。 ・事業の実績とアンケート結果から、令和3年度以降は、学習面を強化した教室を新たに2箇所設けることとした。								
2021 (R3)		拡充	4箇所	・169回実施し、延べ2,590人が参加した。 ・事業の実績とアンケートの結果から、令和3年度は、従来の居場所型を3から2箇所とし、学習面を強化した箇所を新たに2箇所追加した。								
2022 (R4)		継続	4箇所	・167回実施し、延べ2,394人が参加した。 ・居場所型・学習型を各2カ所で実施した。								
2023 (R5)												
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント												

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち 行政評価33 子ども医療費支給事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
カ	1	子ども医療費 支給事業	子どもの疾病または 負傷について必要な 医療を適切に受けら れるよう費用を助成し ます。また、令和5年1 月1日から入院に係る 医療費について、所得 制限を廃止し、対象者 を高校生世代全体へ 拡大しました。	行程	—	準備	実施	拡充	継続	保険医療 課	
				指標	新たに対象となる者(新高校1年世代)への 制度案内【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	600人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)		実施	647人	令和3年度末に、令和4年度に新規に対象となる 647名に制度案内を送付した。						2021年度新規事業	
2022 (R4)		継続	1,939人	・令和5年1月に高校生世代の入院について、対象 を拡大したため、令和4年度は高校生世代全体に 通知を送った。 ・制度変更については広報により全世帯に向けて も周知を行った。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(1) 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
キ	1	保幼小中交流事業	相互の現場の状況を理解し、指導に生かすため、保育士や幼稚園教諭と小学校教員の意見交換、情報交換を行います。また、就学や進学に向けた不安を解消するため、新入学児童生徒が学校を見学する機会を設けます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	教育総務課	
				指標	情報交換会実施回数【単年】						
					基準値 (2018)	3回	目標値 (2023)	3回			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	3回	・幼稚園・保育園と小学校間で相互の状況の相互理解を図り、指導に生かすための保育士、幼稚園教諭及び小学校教員の合同研修会を3回実施した。	
2020 (R2)	継続	3回	・幼稚園・保育園と小学校間で相互の状況の相互理解を図り、指導に生かすための保育士、幼稚園教諭及び小学校教員の情報交換会を3回実施した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会を縮小し、情報交換会として3回実施。	
2021 (R3)	継続	3回	・幼稚園・保育園と小学校間で相互の状況の相互理解を図り、指導に生かすための保育士、幼稚園教諭及び小学校教員の情報交換会を3回実施した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会を縮小し、情報交換会として3回実施した。	
2022 (R4)	継続	3回	・幼稚園・保育園と小学校間で相互の状況の相互理解を図り、指導に生かすための保育士、幼稚園教諭及び小学校教員の情報交換会を3回実施した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会を縮小し、情報交換会として3回実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(2) 安心して出産できる環境の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	産休明け保育事業	保育園における、産後57日目からの産休明け保育を実施します。	行程	—	準備	実施	継続	継続	子ども未来課	
				指標	事業の実施園【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	4園			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)		準備	—	・市内事業所に産休明け保育事業の実施可否についてヒアリングを実施した。						2020年度版新規事業	
2021 (R3)		実施	4施設	・令和3年4月より、市内4か所の認可保育施設で事業を開始した。							
2022 (R4)		継続	4施設	・市内4か所の認可保育施設で実施している。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち
行政評価36 母子健康事業
政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援
施策(2) 安心して出産できる環境の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	産前産後サ ポーター派遣 事業	妊娠中または出産後の 体調不良等で身内の 支援が受けられない 保護者に、家事・育 児支援や外出支援 (多胎)の必要なサー ビスを行います。	行程	継続	継続	拡充	継続	継続	健康推進 課	
				指標	新規利用登録者数【単年】						
					基準値 (2018)	47人	目標値 (2023)	65人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	53人	・「こんにちは赤ちゃん訪問」の訪問予約電話や実際の訪問時に、母親の家事や休息の状況を聞き、必要に応じてヘルパー利用登録を勧めている。 ・妊娠届出者数620人及び出生数647人のうち、53人が新規登録をした。ヘルパー派遣は16人に実施した。							
2020 (R2)		継続	38人	・38人が新規登録をし、ヘルパー派遣を12人に実施、延べ161回の利用があった。 ・令和3年度からは家事支援に加えて、育児支援と外出支援(多胎育児世帯のみ)を行う「産前産後サポーター派遣事業」を開始する。							
2021 (R3)		拡充	26人	・サポーター派遣を26人に実施し、延べ363回の利用があった。							
2022 (R4)		継続	24人	・サポーター派遣を24人に実施し、延べ374回の利用があった。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価36 母子保健事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(2) 安心して出産できる環境の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	2	産前産後子育て相談員訪問事業	産前・産後における育児相談の機会を増やすため、家庭訪問や地域にある公共施設への保健師等の派遣回数を拡充します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進課		
				指標	訪問及び派遣回数【単年】							
					基準値 (2018)	435回	目標値 (2023)	456回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	443回	・まちの保健師として西小校区・市が洞小校区共生ステーション、児童館等に保健師が出向き、育児相談を267回実施した。 ・乳幼児家庭へ家庭訪問を176回実施した。	
2020 (R2)	継続	462回	・まちの保健師として西・市が洞、北及び南小学校校区共生ステーション、児童館等に保健師が出向き、育児相談を186回実施した。(感染拡大防止のため一部中止あり。) ・乳幼児家庭へ家庭訪問を276回実施した。	
2021 (R3)	継続	424回	・まちの保健師として西・市が洞、北及び南小学校校区共生ステーション、児童館等に保健師が出向き、育児相談を207回実施した。(感染拡大防止のため一部中止あり。) ・乳幼児家庭へ家庭訪問を217回実施した。	
2022 (R4)	継続	506回	・まちの保健師として西・市が洞、北及び南小学校校区共生ステーション、児童館等に保健師が出向き、育児相談を271回実施した。(感染拡大防止のため一部中止あり。) ・乳幼児家庭等へ家庭訪問を235回実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価40 利用者支援事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(3) 子育て情報の整理と提供

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
1	子育てコン シェルジュ事 業	保育を中心とした施設 や子育て支援サービ スの利用に関する相 談を受け付けます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	子ども未 来課		
			指標	相談件数【単年】							
				基準値 (2018)	615件	目標値 (2023)	742件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	633件	・市窓口や保育園の園開放において、子育てコンシェルジュが、保育施設や子育てに関するサービスの利用などの情報提供、相談業務を実施した。	
2020 (R2)	継続	461件	・市役所窓口や電話等により、保護者から相談等を受けた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保育園や児童館等に出向いての相談業務を中止した。	
2021 (R3)	継続	509件	・市役所窓口184人、電話235人、保育園、保健センター等90人からの相談を受けた。	
2022 (R4)	継続	470件	・市役所窓口158人、電話229人、保育園・保健センター等83人からの相談を受けた。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価36 母子健康事業

政策1 妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援

施策(3) 子育て情報の整理と提供

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
2	母子保健コー ディネーター 事業	母子保健コーディネーターを配置し、妊娠から出産・育児まで関係部署と連携し、切れ目ない支援を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進課		
			指標	相談件数【単年】							
				基準値 (2018)	787件	目標値 (2023)	786件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	914件	・母子保健コーディネーターを2人配置し、妊娠期の母子健康手帳交付から出産後の育児相談等を914件実施した。	
2020 (R2)	継続	1,035件	・母子保健コーディネーターを3人配置し、妊娠届出スクリーニング647件、個別支援プラン作成14件、個別相談358件、のびのび計測出張版2件、まちの保健師2件、予防連絡会12回を実施した。	
2021 (R3)	継続	933件	・母子保健コーディネーターを3人配置し、妊娠届出スクリーニング640件、個別支援プラン作成7件、個別相談236件、まちの保健師38件、予防連絡会12回を実施した。	
2022 (R4)	継続	913件	・母子保健コーディネーターを2人配置し、妊娠届出スクリーニング630件、個別支援プラン作成9件、個別相談220件、まちの保健師42件、予防連絡会12回を実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価55 地域学校協働活動事業

政策2 子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり

施策(1) 地域の子育てネットワークづくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	地域学校協働活動事業	長久手小学校において、地域コーディネーターを核とした地域学校協働本部を立ち上げ、他校への拡大を進めます。	行程	準備	実施	継続	継続	継続	教育総務課	方向性Ⅱ	
				指標	地域学校協働本部設立数【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	2校				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	0校	・長久手小学校区をモデル校とし、地域コーディネーターを核とした地域学校協働活動を推進するため、2020年度の本部設置の準備を行った。	
2020 (R2)	実施	1校	・長久手小学校区に長久手市内1つ目の地域学校協働本部を立ち上げた。 ・PTA、ボランティア、自治会等の代表者で構成される本部会議を年3回開催した。 ・広報誌「かなれの小径」を長久手小学校在籍児童の保護者、ボランティア団体などに配布し、活動を周知した。	
2021 (R3)	継続	1校	・夏休み宿題教室(児童9人参加)・冬休み宿題教室(児童4人参加)を実施し、児童の学びの機会を創出した。	
2022 (R4)	継続	1校	・夏休み宿題教室(児童2人参加)、大学生のボランティアと連携した土曜塾を定期開催(児童延べ19人参加)し、児童の学びの機会を創出した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価38 保育園事業

政策2 子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり

施策(1) 地域の子育てネットワークづくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	保育園児童館等地域交流事業	若者から高齢者までの幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わることで、子どもたちとの交流を推進します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	子ども未来課		
				指標	①保育園登録者数【単年】 ②児童館登録者数【単年】							
					基準値 (2018)	①67人 ②33人	目標値 (2023)	①85人 ②75人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	① 70人	・保育園のおさんぽの付き添いや、保育用品の作成など延べ968人が参加した。	
		② 50人	・清掃や草取りなどの環境整備、行事や遊びのサポートなど延べ311人が参加した。	
2020 (R2)	継続	① 70人	・保育園のおさんぽの付き添いや、保育用品の作成など延べ1,141人が参加した。	
		② 51人	・清掃や草取りなどの環境整備、行事や遊びのサポートなど延べ21人が参加した。	
2021 (R3)	継続	① 66人	・保育園のおさんぽの付き添いや、保育用品の作成など延べ535人が参加した。	
		② 61人	・清掃や草取りなどの環境整備、行事や遊びのサポートなど延べ151人が参加した。	
2022 (R4)	継続	① 70人	・保育園のおさんぽの付き添いや、保育用品の作成など延べ768人が参加した。	
		② 61人	・児童の遊び相手、低木剪定などの環境整備、行事のサポート、イベントの講師などに述べ374人が参加した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価41 子育て支援センター運営事業

政策2 子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり

施策(1) 地域の子育てネットワークづくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	子育て支援センター事業	子育て支援センターで、子育てに不安や悩みを抱える家庭に対する育児相談や育児に関する情報提供をはじめ、育児講座や保護者同士の交流の場を提供します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	子ども家庭課	
				指標	子育て支援センター利用者数【単年】						
					基準値 (2018)	18,793人	目標値 (2023)	24,960人			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	16,808人	・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進や子育て等に関する相談を実施するとともに、援助の実施に関する事務や地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習会等を開催した。	
2020 (R2)	継続	8,335人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年3月から5月まで休館し、令和2年6月から再開した。 ・再開後は、滞在10組までの入場制限を設けるとともに、講座定員を減らし、対面ではなくオンライン式にしたりするなど、新しい生活様式を取り入れて事業を展開した。	
2021 (R3)	継続	7,214人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、昨年度に引き続き滞在10組までの入場制限を設け開館した。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況により開催を中止する行事が半数以上であったが、オンラインでも可能な講座はZOOMを利用するなど、できる限り可能な方法で講座の実施に努めた。	
2022 (R4)	継続	6,049人	・マスク着用が困難な幼児を対象にした講座や運動系の講座は、時間短縮や人数制限を設けた。 ・計画した教室等は、下半期は中止することなく開催できた。感染対策をしての開館、行事は実施方向で進め、コロナ禍ではあったものの特に0歳から就園までの児童と保護者の孤立化防止に努めた。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策2 子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり

施策(1) 地域の子育てネットワークづくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	2	未就園児地域交流事業	就学前の幼児と保護者を対象に、遊びの指導や園児との交流、子育て相談、保護者及び子ども同士の交流の機会を提供します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	子ども未来課		
				指標	利用組数【単年】							
					基準値 (2018)	1,472組	目標値 (2023)	1,600組				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	1,370組	・公立保育園で、たけのこクラブを各10回開催し、保護者や子ども同士の交流の機会を提供した。	
2020 (R2)	継続	288組	・新型コロナウイルス感染症の影響により、時間を短くし各保育園で4回開催し、保護者や子ども同士の交流の機会を提供した。	
2021 (R3)	継続	128組	・新型コロナウイルス感染症の影響により、時間を短くし各保育園で4回開催し、保護者や子ども同士の交流の機会を提供した。	
2022 (R4)	継続	313組	・新型コロナウイルス感染症の影響により、時間を短くし各保育園で概ね3回～5回開催し、保護者や子ども同士の交流の機会を提供した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	英語教育充 実事業	小学校3、4年生から 外国語教育を推進す るため、外国語に触 れる機会の拡充を図 ります。また、大学や 地域人材等を活用し、 外国語教育を充実し ます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	教育総務 課	
				指標	英語科・外国語教育の授業を支援する外国 語ボランティア数【単年】						
					基準値 (2018)	10人	目標値 (2023)	10人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	10人	・小学校3、4年生から外国語教育を推進するため、 大学や地域の人材等を活用し、外国語に触れる機 会の拡充を図るため、英語指導教師を配置した。							
2020 (R2)		継続	0人	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点 から、中止した。							
2021 (R3)		継続	6人	・小学校の外国語教育を推進するため、外国語に 触れる機会の拡充を図るため、英語指導教師を配 置した。また、外国語教育の研修を行い、指導者 の力量向上を図った。							
2022 (R4)		継続	11人	・小中学校の外国語教育を推進するため、大学生 ボランティアを活用し、外国語に触れる機会の拡充 を図った。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	2	ICT教育推進事業	ICT教育環境を充実するとともに、児童生徒が将来にわたり、情報社会を生きていく中で、児童生徒自身が判断して行動できる態度を身につけられるよう指導します(国の方針決定により指標の見直しを行った)。	行程	継続	継続・完了	—	—	—	教育総務課		
				指標	小中学校1人1台端末整備学年数割合【累計】 (小学校6学年＋中学校3学年)							
					基準値 (2018)	0%	目標値 (2020)	100%				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	0%	・令和2年度導入に向け、1人1台端末の機器選定を開始した。	
2020 (R2)	継続・完了	100%	・小中学校全児童生徒分の端末の整備を完了した。	
2021 (R3)				
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

--

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価22 文化の家企画事業

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	文化芸術アウトリーチ事業	市内の教育機関、児童施設等に赴いて、文化芸術による活動（演奏、体験、教室等）を行います。特に、子どもの自発性を育むため、体験型の芸術活動を充実します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課		
				指標	体験型の活動数【単年】							
					基準値 (2018)	1回	目標値 (2023)	6回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	4回	・市内の小中学校にアーティストを派遣する「であーと」を行い、665人の生徒が参加した。創造スタッフが福祉施設22カ所(772人)、児童館など8カ所(647人)で実施した。	
2020 (R2)	継続	0回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、小中学校のアウトリーチはすべて中止した。	
2021 (R3)	継続	4回	・中学校は全3校(484人)、小学校は6校中3校(435人)でアウトリーチを行った。福祉施設へは13カ所(390人)、児童館には4カ所(116人)訪問した。	コロナ禍による影響で実施回数が減少した。
2022 (R4)	継続	15回	・コロナ禍も緩和が進み、中学校3校、小学校6校、児童館6カ所でアウトリーチを行った。活動した会場は教室、体育館、武道場等で施設により様々であったが、その他にも交流を深めるために放送室、映像配信等、学校側と協力・工夫して交流を深めた。地元アーティストの生演奏やダンスを見て、アーティストの音楽やダンスへの想いを聞いたことで、いずれも芸術鑑賞体験として子どもたちにとって貴重な機会の提供となった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

--

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価53 平成こども塾事業

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	平成こども塾 体験学習事業	自然とのふれあい、 体験を通じた環境 教育、地域や人との 交流、食体験等 の機会を通じて学 び、生きる力を育み ます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	みどりの 推進課		
				指標	平成こども塾による体験学習事業の実施回数 【単年】							
					基準値 (2018)	213回	目標値 (2023)	190回				
進捗状況												
年度		状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)		継続	201回	・令和2年2月下旬までは、予定どおりプログラムを実施していたが、令和2年2月29日以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休館し、各プログラムを中止した。								
2020 (R2)		継続	110回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年4月から5月まで休館し、その間のプログラムは中止した。再開後も「食プログラム」を中止し、内容を変更して事業を継続した。 ・学校連携プログラムについては、学校側と協議の上、71回予定されていたプログラムを15回に変更した。								
2021 (R3)		継続	138回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、緊急事態宣言期間は休館としてその間のプログラムを中止した。また、令和3年度も継続して「食プログラム」を中止し、内容変更して事業を継続した。 ・学校連携プログラムについては、学校側と協議の上、72回予定されていたプログラムを38回に変更した。								
2022 (R4)		継続	183回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため制限していた「食プログラム」を徐々に再開した。 ・学校連携プログラムについては、学校側と協議の上、71回予定されていたプログラムを68回に変更した。								
2023 (R5)												
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント												

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価56 中央図書館事業

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
エ	1	子ども読書活動推進事業	幼いときから子どもの側に本がある環境をつくり、自然と本に親しみ、読書の楽しさを知り、家で読書を楽しむ子どもが増えることを目的とし、読書環境の整備、読書のきっかけづくりや、読書の習慣化を図ります。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	中央図書館		
				指標	中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】							
					基準値 (2018)	136, 000冊	目標値 (2023)	151, 000冊				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	123,902冊	・司書による児童館、学校図書室の点検調整、保育園へ読み聞かせに おすすめの本の定期貸出をモデル園3園で実施した。	
2020 (R2)	継続	96,750冊	・司書による児童館、学校図書室の点検調整、保育園へ読み聞かせに おすすめの本の定期貸出をモデル園3園で実施した。感染対策のため、貸出冊数を5冊から10冊に変更し、貸出期間も4週間に変更した。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、図書館の臨時休館措置(R2.3～R2.5)
2021 (R3)	継続	142,848冊	・司書による児童館、学校図書館の点検調整、保育園への読み聞かせに おすすめの本の定期貸出をモデル3園で実施した。 ・読み聞かせボランティアグループによる読み聞かせ動画を図書館HPに掲載した。	
2022 (R4)	継続	139,584冊	・図書修理・返本書架整理ボランティアは、人数や時間を制限して開館日に随時参加。長期活動しているボランティアから新人ボランティアへ技術伝達するなどコミュニケーションを取りながら活動している。 ・ボランティアによる読み聞かせイベントを月2回増加し、参加者数が増加した。 ・感染症対策により前年度はWebからの再貸出を無制限にし貸出が多かったため、令和4年度は前年比約2%減少した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	上郷保育園 改築事業	上郷保育園の移転に伴い、上郷児童館、児童発達支援センターと一体的に整備します。	行程	着手	完了	—	—	—	子ども未来課	方向性Ⅱ
				指標	改築園数				1園		
					基準値 (2018)	—	目標値 (2020)				
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		着手	0園	・上郷保育園改築事業が、入札不調により令和元年度に完成が見込めないため、開園を令和2年度に繰り越した。 ・建設工事に着手した。							
2020 (R2)		完了	1園	・改築工事が完了し、令和2年10月に開園した。							
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	保育施設整備事業	長湊東保育園の閉園に伴い、新たな民設民営小規模保育事業所及び保育園を整備します。	行程	—	—	—	準備	実施	子ども未来課	方向性Ⅱ
				指標	整備箇所数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	1園			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)		準備	1園	令和5年4月開園に向け、小規模保育施設を公募により選定した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価39 地域型保育事業支援事業

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	地域型保育事業支援事業	連携保育所等の協力により、小規模保育事業等の地域型保育事業所に対して、保育の運営・実施に対する支援を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	子ども未来課	
				指標	地域型保育事業所数【単年】						
					基準値 (2018)	5施設	目標値 (2023)	7施設			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	6施設	・令和2年4月1日に開所の小規模保育事業所を公募により選定し、市内の小規模保育事業所を4か所とした。 ・家庭保育室2か所で年度当初9人、延べ11人の児童の保育を実施した。							
2020 (R2)		継続	7施設	・令和2年4月1日に小規模保育事業所1箇所を開所した。(小規模保育4施設、事業所内保育1箇所、家庭保育室2箇所)							
2021 (R3)		継続	7施設	・令和2年4月1日に小規模保育事業所1箇所を開所した。(小規模保育4施設、事業所内保育1箇所、家庭保育室2箇所)							
2022 (R4)		継続	7施設	・令和5年4月開園予定の小規模保育事業所を公募し決定した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価37 放課後児童クラブ事業

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	放課後の子どもの居場所拡充事業	就労等による留守家庭における子どもたちの安心・安全な居場所を確保するため、放課後児童クラブ及び学童保育所の受入れを拡充します。	行程	拡充	拡充	拡充	継続	継続	子ども未来課		
				指標	受入れ定員の拡充数【単年】							
					基準値 (2018)	729人	目標値 (2023)	900人				
進捗状況												
年度		状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)		拡充	903人	・北小学校の敷地内に多目的棟を整備することで、新たに北児童クラブを開所し、受け入れ児童数の拡充を図った。 また、整備中の北児童館に児童クラブ室を整備し、受け入れ児童数の拡充を図る。								
2020 (R2)		拡充	924人	・市が洞児童館内で市が洞第2児童クラブを開所し、市が洞小学校区の待機児童が解消した。 ・東小学校区では、新築移転する上郷児童館の中に児童クラブ室を整備し、令和3年4月から開所する。								
2021 (R3)		拡充	992人	・東小学校区に、新築移転した上郷児童館の中に児童クラブの定員を40人から80人に増員して開所した。 ・待機児童数が多い、南・長久手小学校区では、高学年の児童館下校を実施した。								
2022 (R4)		継続	1,031人	・低学年を優先した参加児童の選定を行い、待機児童が生じている南小学校区では、高学年の児童館下校を実施した。								
2023 (R5)												
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント												

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
エ	1	南中学校増 築事業	生徒数の増加に対応 するため、南中学校の 校舎を増築します。	行程	準備	着手・ 完了	—	—	—	教育総務 課	
				指標	増築箇所数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	1箇所			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	0箇所	・令和2年度に工事着手をするための実施設計を 行った。							
2020 (R2)		着手・完了	1箇所	・校舎の増築が完了した。							
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
エ	2	小中学校施設大規模改修事業	老朽化が進む小中学校の屋根・外壁・天井・内装・電気設備・機械設備等の改修工事を行います。	行程	—	準備	着手	継続	継続	教育総務課	
				指標	大規模改修が完了した学校数【累計】						
					基準値 (2018)	1校	目標値 (2023)	1校			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		—	—	—							
2020 (R2)		準備	0校	・大規模改修の設計を実施した。							
2021 (R3)		着手	0校	・大規模改修工事及び設計を実施した。							
2022 (R4)		継続	0校	・大規模改修工事を実施した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
エ	3	小中学校空調設備整備事業	児童生徒の健康管理のため、小中学校の教室の室温を適切に保つための空調設備を整備します。	行程	完了	—	—	—	—	教育総務課		
				指標	事業完了学校数【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2019)	9校				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	完了	9校	・小中学校9校の普通教室及び特別教室の空調設備整備を完了した。	
2020 (R2)				
2021 (R3)				
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	1	保育園自園調理事業	保育園での自園調理は子どもたちの五感を豊かにし、心身の成長につながることから、保育所の改築に合わせ、自園調理を拡大します。	行程	継続	拡充	継続	継続	継続	子ども未来課	
				指標	自園調理園数【単年】						
					基準値 (2018)	5園	目標値 (2023)	6園			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	5園	・令和2年10月1日移転新築予定の上郷保育園に自園調理施設を設置中。							
2020 (R2)		拡充	6園	・令和2年10月1日に移転した上郷保育園において自園調理を開始した。						自園調理での給食提供は10月12日から開始。	
2021 (R3)		継続	6園	・令和2年10月1日に移転した上郷保育園において自園調理をしている。							
2022 (R4)		継続	6園	・令和2年10月1日に移転した上郷保育園において給食の自園調理をしている。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標2 子どもが元気に育つまち

行政評価

政策3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(2) 安心して子どもが過ごせる場の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
カ	1	アレルギー対応給食提供事業	乳と卵のアレルギーを持つ園児、児童及び生徒に対し、保護者から提出された注文表に基づき乳と卵を除去したアレルギー対応食を提供します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	給食センター		
				指標	対象児童生徒へのアレルギー対応食の提供割合【単年】							
					基準値 (2018)	100%	目標値 (2023)	100%				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	100%	・乳と卵のアレルギーを持つ園児、児童及び生徒に対し、保護者から提出された注文表に基づき、保育士、教員等と連携をとり、乳と卵を除去したアレルギー対応食を提供した。	
2020 (R2)	継続	100%	・乳と卵のアレルギーを持つ園児、児童及び生徒に対し、保護者から提出された注文表に基づき、保育士、教員等と連携をとり、乳と卵を除去したアレルギー対応食を提供した。 ・のべ実施者数(園児:乳のみ4人、卵のみ32人、乳・卵12人、児童及び生徒:乳のみ19人、卵のみ45人、乳・卵14人、牛乳の代替として豆乳提供者数44人)	
2021 (R3)	継続	100%	・乳と卵のアレルギーを持つ園児、児童及び生徒に対し、保護者から提出された注文表に基づき、保育士、教員等と連携をとり、乳と卵を除去したアレルギー対応食を提供した。 ・のべ実施者数(園児:乳のみ5人、卵のみ33人、乳・卵11人、児童及び生徒:乳のみ23人、卵のみ49人、乳・卵11人、牛乳の代替として豆乳提供者数41人)	
2022 (R4)	継続	100%	・乳と卵のアレルギーを持つ園児、児童及び生徒に対し、保護者から提出された注文表に基づき、保育士、教員等と連携をとり、乳と卵を除去したアレルギー対応食を提供した。 ・のべ実施者数(園児:乳のみ1人、卵のみ25人、乳・卵6人、児童及び生徒:乳のみ23人、卵のみ53人、乳・卵8人、牛乳の代替として豆乳提供者数42人)	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価49 緑化振興事業

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(1) 豊かな自然環境の保全・活用

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	里山保全管理活用事業	「木望の森」を中心とした東山地区周辺の里山整備を行い、地域資源としての里山林の価値の向上に取り組めます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	みどりの推進課	方向性Ⅲ	
				指標	里山整備面積【累計】							
					基準値 (2018)	7,000㎡	目標値 (2023)	8,000㎡				
進捗状況												
年度		状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)		継続	7,000㎡	・「木望の森」を中心とした東山地区周辺の里山整備を行った。								
2020 (R2)		継続	7,000㎡	・地域みなさんに里山への関心を深めてもらうため、ながくて里山クラブと共催で、里山散策会やわらじ作り体験会を実施し、延べ53人の参加があった。								
2021 (R3)		継続	7,000㎡	・地域みなさんに里山への関心を深めてもらうため、ながくて里山クラブと共催で、しめ縄イベント(18人参加)、里山散策会(20人参加)及び大学生との連携イベント(24人参加)を実施した。								
2022 (R4)		継続	7,000㎡	・地域みなさんに里山への関心を深めてもらうため、ながくて里山クラブと共催で、里山講演会(計2回17人参加)、里山散策会(15人参加)及び大学生との連携イベント(26人参加)を実施した。								
2023 (R5)												
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント												

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価53 平成こども塾事業

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(1) 豊かな自然環境の保全・活用

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	長久手版プレーパーク整備事業	子どもが用意されたプログラムの中で体験活動をするのではなく、子ども自身の意思と自由な発想のもとで遊ぶことができる里山を整備します。	行程	準備	準備	準備	準備	準備	みどりの推進課	方向性Ⅲ
				指標	整備箇所数						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・プレーパークの周知を図るため、6月8日に美濃プレーパーク(岐阜県美濃市)、9月15日に鞍ヶ池プレーパーク(豊田市)、11月21日にいのみ池プレーパーク(名古屋市)を見学した。そして、11月30日に講演会を実施した。							
2020 (R2)		準備	—	・プレーパークの周知と実施者発掘のため、8月20日にてんぱくプレーパーク(名古屋市)を見学、11月15日に第2回講演会を実施した。							
2021 (R3)		準備	—	・プレーパークの周知と実施者発掘のため、11月20日に第3回講演会を実施した。							
2022 (R4)		準備	—	・市民の中からプレーパークに興味を持つ人材を発掘することができ、試行を実施した。 ・岐阜県の有名講師を呼んで初のプレーパーク体験会(1回)を実施した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価18 環境基本計画推進事業

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(1) 豊かな自然環境の保全・活用

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	自然環境保全事業	里山に点在する湿地等、貴重な生態系資源が存在する区域への保護エリアの指定や、それらを保全していくための活動を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	環境課	
				指標	二ノ池湿地群保全管理計画推進協議会の開催【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	1回			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	1回	・二ノ池湿地群保全管理計画を策定し、年1回の協議会開催と、現地確認の実施を定めた。							
2020 (R2)		継続	1回	・二ノ池湿地群保全管理計画に基づき、年1回の協議会を開催し、令和3年度年間実施計画を作成した。							
2021 (R3)		継続	1回	・二ノ池湿地群保全管理計画に基づき、年1回の協議会を開催し、令和4年度年間実施計画を作成した。また、生態系保護保護エリアに、鯉ヶ廻間上池・下池周辺を新たに追加した。							
2022 (R4)		継続	1回	・二ノ池湿地群保全管理計画に基づき、年1回の協議会を開催し、令和5年度年間実施計画を作成した。第29回湿地サミットを長久手湿地保全の会との共催で開催した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価18 環境基本計画推進事業

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(1) 豊かな自然環境の保全・活用

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
エ	1	自然環境保全活動支援事業	市民活動団体による自然環境保全活動や貴重種保全活動、外来種駆除活動の支援を行うとともに、東部丘陵生態系ネットワーク協議会と調整を図りながら、広域での生物多様性の保全活動を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	環境課		
				指標	外来種勉強会及び駆除イベントの参加者数【累計】							
					基準値 (2018)	50人	目標値 (2023)	200人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	117人	・東小学校児童を対象とした外来種勉強会を実施した。	
2020 (R2)	継続	147人	・東部丘陵生態系ネットワーク協議会と共催で、県民参加生物多様性モニタリング調査兼外来種勉強会を開催した。	
2021 (R3)	継続	224人	・東小学校四年生を対象とした外来種勉強会を実施した。 ・東部丘陵生態系ネットワーク協議会との共催で湿地の見学会を開催した。	
2022 (R4)	継続	341人	・東小学校四年生を対象としたビオトープ勉強会を開催した。 ・東部丘陵生態系ネットワーク協議会との共催で湿地の見学会を開催した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

--

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価18 環境基本計画推進事業

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(2) 自然に愛着を持つ地域づくりの推進

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
1	自然環境調査事業	2012、2013年度に行った本市全域の自然環境調査を土台に、環境指標種については市民参加による調査、自然性の高い重要箇所については専門家によるモニタリング調査を5年間隔で行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	環境課	
			指標	自然環境調査への市民参加者数【単年】						
				基準値 (2013)	97人	目標値 (2023)	200人			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)	継続	0人	・東部丘陵生態系ネットワーク協議会と次年度の市民参加型モニタリング調査開催に向けて調整を進めた。(5年ごとに実施のため成果は0人)							
2020 (R2)	継続	30人	・東部丘陵生態系ネットワーク協議会と共催で、市民参加型モニタリング調査を実施した。							
2021 (R3)	継続	0人	・次回の開催に向けて、開催場所等の検討を行った。							
2022 (R4)	継続	238人	・東部丘陵生態系ネットワーク協議会と共催で、市民参加型モニタリング調査を実施した。							
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物 行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(2) 自然に愛着を持つ地域づくりの推進

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
2	自然環境保全人材育成事業	自然保護の重要性を知り、保全活動を担う人材を育成するため、長久手の自然を紹介する観察会や勉強会を開催します。	行程	—	—	準備	実施	継続	環境課	
			指標	自然観察会・勉強会参加者【単年】						
				基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	10人			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)	—	—	・2021年度から施行する第4次長久手市環境基本計画に人材育成の施策を盛り込む検討を進めた。							
2020 (R2)	—	—	・2021年度から施行する第4次長久手市環境基本計画に人材育成の施策を盛り込んだ。							
2021 (R3)	準備	—	・令和4年開催予定の湿地サミットプレイベントを市民団体と共催で開催した							
2022 (R4)	実施	21人	・第29回湿地サミット及びポストイベントを長久手湿地保全の会と共催した。							
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価53 平成こども塾事業

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(2) 自然に愛着を持つ地域づくりの推進

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
3	平成こども塾 体験学習事業 【再掲】	自然とのふれあい、体験を通じた環境教育、地域や人との交流、食体験等の機会を通じて学び、生きる力を育みます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	みどりの 推進課			
			指標	平成こども塾による体験学習事業の実施回数【単年】								
				基準値 (2018)	213回	目標値 (2023)	190回					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	201回	・令和2年2月下旬までは、予定どおりプログラムを実施していたが、令和2年2月29日以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休館し、各プログラムを中止した。	
2020 (R2)	継続	110回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年4月から5月まで休館し、その間のプログラムは中止した。再開後も「食プログラム」を中止し、内容を変更して事業を継続した。 ・学校連携プログラムについては、学校側と協議の上、68回予定されていたプログラムを15回に変更した。	
2021 (R3)	継続	138回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、緊急事態宣言期間は休館としてその間のプログラムを中止した。また、令和3年度も継続して「食プログラム」を中止し、内容変更して事業を継続した。 ・学校連携プログラムについては、学校側と協議の上、73回されていたプログラムを38回に変更した。	
2022 (R4)	継続	183回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため制限していた「食プログラム」を徐々に再開した。 ・学校連携プログラムについては、学校側と協議の上、71回予定されていたプログラムを68回に変更した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(3) まちの緑の創出

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
1	道路緑化整備事業	主要地方道名古屋長久手線、県道岩作諸輪線、主要地方道力石名古屋線において、街路樹の再整備を行います。	行程	着手	継続	—	完了	—	みどりの推進課	方向性Ⅲ		
			指標	整備延長【累計】								
				基準値 (2018)	—	目標値 (2022)	2, 350m					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	着手	860m	・主要地方道名古屋長久手線の再整備は完了した。また、県道岩作諸輪線の途中まで再整備完了した。	
2020 (R2)	継続	1,841m	・県道岩作諸輪線の昨年度未実施区間及び主要地方道力石名古屋線の再整備を行い、対象路線全線の再整備が完了した。	施工範囲について、減変更としたため、2020年度版完了としていたが、施工箇所を再検討し、拡大したため「継続」に変更した。
2021 (R3)	—	—	・施工範囲について主要地方道力石名古屋線への拡大を検討した。	
2022 (R4)	完了	2,346m	・主要地方道力石名古屋線の再整備が完了した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物 行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(3) まちの緑の創出

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
2	公園西駅周辺地区土地 区画整理事業(街路樹)	都市計画道路公園西 駅南通り線において、 街路樹の植栽を行います。	行程	準備	着手・ 完了	—	—	—	区画整理 課	方向性Ⅲ
			指標	整備延長【単年】						
				基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	288m			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)	準備	—	・街路樹整備については景観形成と環境配慮型まちづくりに寄与する樹種選定等を行った。							
2020 (R2)	着手・完了	288m	・公益財団法人日本さくらの会から苗木の提供を受け、植樹作業を市民参加型イベントとして、カワヅザクラ38本を植樹した。							
2021 (R3)										
2022 (R4)										
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(3) まちの緑の創出

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
3	景観計画策 定事業	長久手らしい魅力ある 景観まちづくりを推進 するため、景観計画及 び計画に則した条例 を制定します。	行程	継続	完了	—	—	—	都市計画 課	方向性Ⅲ
			指標	計画策定・条例制定						
				基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	計画策定・条例制定			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)	継続	—	・景観計画案の作成を行うために市民ワークショッ プ3回、職員検討会3回、景観計画策定委員会4 回、パブリックコメント等を行い、延べ377人が参加 した。							
2020 (R2)	完了	計画策定・条例制 定	・令和2年4月6日から景観計画案の周知を行い、 令和2年10月2日に景観条例を制定後、一部施行 し、令和3年1月1日に景観計画の策定及び景観条 例の全施行を行った。							
2021 (R3)										
2022 (R4)										
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(3) まちの緑の創出

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
4	公園西駅周辺地区環境 配慮型まちづくり事業(緑化 整備)	公園西駅周辺地区に おいて、公園、調整 池、緑地等の公共施 設を積極的に緑化し、 環境配慮型まちづくり を行います。	行程	継続	継続	完了	—	—	区画整理 課	方向性Ⅲ
			指標	都市基盤施設の緑化整備進捗率【累計】						
				基準値 (2018)	17%	目標値 (2021)	100%			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	83%	・公園2,464㎡、調整池6,775㎡、緑地6,372㎡を整備した。	
2020 (R2)	継続	86%	・緑地951㎡を整備した。	
2021 (R3)	完了	100%	・公園3,801㎡を整備した。	
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(3) まちの緑の創出

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
5	長湫中部1号 緑地整備事 業	長湫中部1号緑地を 再整備します。	行程	着手・ 完了	—	—	—	—	みどりの 推進課	方向性Ⅲ		
			指標	公園再整備面積【単年】								
				基準値 (2018)	—	目標値 (2019)	0. 66ha					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	着手・完了	0.66ha	・長湫中部1号緑地の整備を完了した。	
2020 (R2)				
2021 (R3)				
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(4) 水辺に親しめる環境の整備

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
1	香流川近自然河川改修事業	リニモ公園西駅周辺において風景に溶け込む近自然空間を形成するため、近自然護岸の整備を行います。	行程	継続	継続	完了	—	—	土木課	方向性Ⅲ
			指標	整備進捗率【累計】						
				基準値 (2018)	22%	目標値 (2021)	100%			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)	継続	57%	・河川改修工事に加え、改修後のモニタリング調査を実施し、環境改善が図られているか調査を行った。							
2020 (R2)	継続	90%	・近自然護岸の整備が完了した。 ・昨年度の引き続き、モニタリング調査を実施し、整備済区間の魚類、底生生物について、個体数、種類ともに最多となった。							
2021 (R3)	完了	100%	・近自然護岸の整備箇所について、緑道の復旧を行った。 ・昨年度に引き続きモニタリング調査を実施した。							
2022 (R4)										
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(4) 水辺に親しめる環境の整備

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
2	香流川河川 浚渫事業	長年堆積している市 管理部分の香流川の 浚渫を行い、近自然 工法により、河川の自 然環境を向上させつ つ、河川の流下能力 を確保します。	行程	着手	継続	—	—	—	土木課	
			指標	浚渫延長【累計】						
				基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	283m			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)	着手	180m	・香流川の蛭子橋から仲屋橋間(上流部分)の浚渫を行い、河川の流下能力を確保した。							
2020 (R2)	継続	283m	・香流川の蛭子橋から仲屋橋間(下流部分)の浚渫を行った。 ・置石や分散落差等を設置することで生物の多様性を創出するとともに土砂の堆積を抑制した。							
2021 (R3)	休止	—	・令和2年度に上流側の近自然工法による河川改修工事が完了したため、効果検証中のため休止した。							
2022 (R4)										
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(4) 水辺に親しめる環境の整備

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
3	公園西駅周辺地区環境 配慮型まちづくり事業(水辺 緑化)	公園西駅周辺地区に おいて、香流川の近 自然護岸の緑化と調 和した1号公園の整備 や、2号調整池(上池) の緑化修景整備を行 います。	行程	着手	—	完了	—	—	区画整理 課	方向性Ⅲ		
			指標	水辺緑化した施設数【累計】								
				基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	2施設					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	着手	1施設	・2号調整池上池の修景整備を完了した。 ※1号公園は2021年度工事実施予定	
2020 (R2)	—	1施設	—	
2021 (R3)	完了	2施設	・1号公園の整備を完了した。	
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価52 緑道管理事業

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(4) 水辺に親しめる環境の整備

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
4	香流川緑地整備事業	香流川前熊周辺においてポケットパークを整備します。	行程	—	—	準備	準備	着手・完了	みどりの推進課	方向性Ⅲ
			指標	整備をした施設数【累計】						
				基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	1施設			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)										
2020 (R2)										
2021 (R3)	準備	—	・ワークショップやアンケートを実施し、実際に利用する地域住民の意見を取り入れ、ポケットパークの設計を進めた。						2021年度版新規事業	
2022 (R4)	準備	—	・令和5年度に工事を行うため準備を進めた。							
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策1 万博理念を継承した自然との共生

施策(4) 水辺に親しめる環境の整備

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
5	香流川植栽整備事業	「香流川整備計画」に基づき、香流川中上流域における、香流川植栽整備を行い、木陰とうるおいのある水辺空間を整えます。	行程	—	—	着手・完了	—	—	みどりの推進課	方向性Ⅲ
			指標	整備した植栽本数【累計】						
				基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	11本			
進捗状況										
年度	状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)										
2020 (R2)										
2021 (R3)	着手・完了	12本	・当初市民参加で実施予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により業者にて中木12本の植樹を行った。						2021年度版新規事業	
2022 (R4)										
2023 (R5)										
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント										

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策2 農あるくらしの推進

施策(1) 農の活性化に向けた支援

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	あぐりん村再整備事業	あぐりん村(田園バレー交流施設)の新たな魅力を創出するため、売り場の拡大や充実等の再整備を行います。	行程	準備	着手	完了	—	—	みどりの推進課	
				指標	再整備施設数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	1施設			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	0施設	・増設棟新築の実施設設計が完了した。	
2020 (R2)	着手	1施設	・増築棟新築が完了した。	
2021 (R3)	完了	1施設	・既存棟の改修工事が完了した。	
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策2 農あるくらしの推進

施策(1) 農の活性化に向けた支援

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	有害鳥獣対策事業	有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣侵入防護柵の設置費補助等、有害鳥獣対策事業を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	みどりの推進課	
				指標	補助金による有害鳥獣侵入防護柵の設置件数【単年】						
					基準値 (2018)	12件	目標値 (2023)	10件			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	10件	・有害鳥獣の侵入を防止するための防護柵の設置に要する経費の一部に対し、補助金を交付した。							
2020 (R2)		継続	10件	・10件の申請があり、防護柵を設置した。							
2021 (R3)		継続	4件	・4件の申請があり、防護柵を設置した。							
2022 (R4)		継続	4件	・4件の申請があり、防護柵の設置に要する経費の一部に対し、補助金を交付した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策2 農あるくらしの推進

施策(1) 農の活性化に向けた支援

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	農業用施設 改修事業	農業に欠かせない水源を確保、保全するため、河川からの取水に必要な転倒ゲートの設置等、農業用施設の改修・修繕を行います。 また、農業用ため池の浚渫工事を行います。	行程	着手	—	—	—	—	みどりの 推進課	
				指標	①転倒ゲート設置数【単年】 ②ため池の浚渫箇所数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値	①1施設(2019) ②—(2023)			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	着手	① 1施設	・平地地内の神明川にステンレス製起伏ゲートを設置した。								
		② 0箇所	・農業用ため池の貯水量を確保するために浚渫の必要性について検討を行った。								
2020 (R2)	—	① —	—						転倒ゲート設置は、令和元年度完了		
		② —	・浚渫の必要があるため池(4池)について、優先順位を確認するための委託を発注した。								
2021 (R3)	—	① —	—								
		② —	・浚渫の必要性が最も高かった池(杵ノ洞下池)について、実施に係る費用の見積徴収を行った。								
2022 (R4)	—	① —	—								
		②	・杵ノ洞下池の浚渫について適正化事業(48期生)の実施要望を行った。								
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策2 農あるくらしの推進

施策(2) 農の多様な担い手の育成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	アグリサポート振興事業	アグリサポート振興事業を導入し、農地のマッチング等、様々な人が行う農に関わる取組を応援します。	行程	準備	準備	準備	準備	実施	みどりの推進課	
				指標	農地の貸し手と借り手のマッチング件数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	5件			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・先進事例調査を行うと共に、アグリサポートセンターの組織形態及び活動内容について検討を行った。							
2020 (R2)		準備	—	・農協及びあぐりん村の各担当者と農地のマッチング事業の試行について協議した。							
2021 (R3)		準備	—	・農地マッチング支援事業を開始し、周知等を行った。							
2022 (R4)		準備	—	・農業用機械等貸出事業について、令和5年度開始に向けて、検討を行った。 ・令和5年度よりアグリサポート振興事業を導入するための組織形態及び委託先の活動内容について検討を行った。						事業名変更 旧事業名：アグリサポートセンター事業	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価48 新規就農総合支援事業

政策2 農あるくらしの推進

施策(2) 農の多様な担い手の育成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	新規就農支援事業	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、一定の要件を満たす人を対象として農業次世代人材投資資金を交付します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	みどりの推進課		
				指標	新規就農者数(新規資金交付対象者数)【累計】							
					基準値 (2018)	0人	目標値 (2023)	5人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	2人	・次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対して、資金を交付した。	
2020 (R2)	継続	2人	・継続交付対象者に資金を交付した。 ・圃場確認やヒアリングによって就農状況を確認するとともに、サポートチームとともに営農指導を行った。	
2021 (R3)	継続	3人	・圃場確認やヒアリングによって就農状況を確認するとともに、サポートチームとともに営農指導を行った。	
2022 (R4)	継続	2人	・圃場確認やヒアリングによって就農状況を確認するとともに、県職員等で構成するサポートチームと営農指導を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物 行政評価

政策2 農あるくらしの推進

施策(2) 農の多様な担い手の育成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	農福連携事業	農業を活用した障がいのある人の雇用機会を拡大や、人手不足による耕作放棄地の有効活用のため、農福連携に取り組みます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	福祉課	
				指標	農作業に携わった障がいのある人の人数【単年】						
					基準値 (2018)	28人	目標値 (2023)	31人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	45人	・需要やニーズを確認するため、農従事者503人に対しアンケートを実施した。(59件回答あり。)							
2020 (R2)		継続	38人	ながふく障がい者プランを策定し、農地の有効活用や農業従事者への啓発等について、計画に位置付けた。							
2021 (R3)		継続	53人	・令和元年度に実施したアンケートで、農福連携に興味があると回答した農業者に個別に連絡し、障害福祉サービス事業を行う事業所とのマッチングに努めた。							
2022 (R4)		継続	58人	・農福連携を行う事業所への研修等の情報提供や取組状況の情報収集を行った。農福連携に興味があるという事業者からの相談対応も行った。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価

政策3 地球にやさしい持続可能な社会の構築

施策(1) 暮らしの低炭素化の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	公園西駅周 辺地区環境 配慮型まちづ くり事業(低炭 素化)	公園西駅周辺地区の ヒートアイランド対策と して、遮熱性や保水性 による道路の環境配 慮型舗装の整備を行 います。	行程	見直	完了	—	—	—	区画整理 課	
				指標	環境配慮型舗装の整備進捗率【累計】						
					基準値 (2018)	63%	目標値 (2020)	100%			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		見直	63%	・遮熱性舗装について、北エリア宅地周辺の整備 が終了した。							
2020 (R2)		完了	63%(完了)	・遮熱性舗装について、北エリア宅地周辺整備で 事業完了とした。							
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価18 環境基本計画推進事業

政策3 地球にやさしい持続可能な社会の構築

施策(1) 暮らしの低炭素化の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	地球温暖化 対策設備導 入促進事業	地球温暖化対策の推 進に向け、既存住宅 のスマートハウス化を 図るため、創エネ、省 エネ、畜エネ設備の設 置や、断熱窓等の省 エネ化のリフォームに 対する補助を行いま す。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	環境課	
				指標	スマートハウス化に対する支援件数【累計】						
					基準値 (2018)	2件	目標値 (2023)	50件			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	6件	・ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)機能を持っ た住宅を促進するため、令和2年度の施行に向け、 補助要綱を整理した。							
2020 (R2)		継続	16件	・ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)機能を持っ た住宅を促進するため、補助制度を開始した。							
2021 (R3)		継続	28件	・ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)機能を持っ た住宅を促進するため、補助制度を実施しており、 令和3年度は3件の補助を行った。							
2022 (R4)		継続	35件	・ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)機能を持っ た住宅を促進するため、補助制度を実施しており、 令和4年度は1件の補助を行った。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価18 環境基本計画推進事業

政策3 地球にやさしい持続可能な社会の構築

施策(1) 暮らしの低炭素化の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
オ	1	環境配慮行動促進事業	地球温暖化を防ぎ自然災害に強いまちにするため、省エネや節電、環境に配慮した製品の選択等、一人ひとりの積極的な環境行動を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	環境課		
				指標	COOL CHOICE等に関するイベント参加者【累計】							
					基準値 (2018)	1, 057人	目標値 (2023)	2, 607人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	1,643人	・クール/ウォームシェアスタンプラリーを実施し延べ340人が参加した。また、第4次環境基本計画策定のための市民向けイベントを実施し延べ246人が参加した。	
2020 (R2)	継続	1,695人	グリーンマップづくり、外来種勉強会を開催し、延べ52人が参加した。	
2021 (R3)	継続	1,775人	・外来種勉強会を開催し、80人参加した。 ・小中学生向けに地球温暖化対策動画を制作し、市内小中学校全校(9校)で放映した。	
2022 (R4)	継続	2,385人	・自家用車を使用しない通勤や省エネを意識した生活に挑戦し、達成報酬として環境に寄与する特典を付与するecoチャレンジ事業を実施し、延べ610人のエントリーがあった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価20 清掃センター運営事業

政策3 地球にやさしい持続可能な社会の構築

施策(2) ごみの減量化・資源化

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	資源回収拠点事業	<u>資源回収拠点を増やし、市民の資源分別意識や利便性を高めます。</u>	行程	継続	継続	継続	見直	継続	環境課	
				指標	資源回収拠点設置数【累計】						
					基準値 (2018)	2箇所	目標値 (2023)	4箇所			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	0箇所	・エコハウス及び出張エコハウスにて小型充電式電池の受け入れを開始した。					指標は、地域による資源回収拠点設置数【累計】		
2020 (R2)		継続	0箇所	・資源回収奨励金を見直し、地域で資源回収拠点を設置及び運営管理する仕組みを検討した。また、今後の方向性についてまちづくり協議会長・自治会連合会長・区長会にて説明・相談した。					指標は、地域による資源回収拠点設置数【累計】		
2021 (R3)		継続	0箇所	・資源回収奨励金を見直し、地域で資源回収拠点を設置及び運営管理する仕組みを検討した。また、今後の方向性についてまちづくり協議会長・自治会連合会長・区長会にて説明・相談した。					指標は、地域による資源回収拠点設置数【累計】		
2022 (R4)		見直	4箇所	・市民が資源を出しやすい環境を整えるため、従来の指標を地域管理ではなく市管理の資源回収拠点数に見直し、西小校区共生ステーション駐車場、福祉の家駐車場にそれぞれ出張ながくてエコハウスを増やし、市内に市が管理運営するエコハウスを合計で4か所とした。その結果、利用者数も徐々に増え、市民の資源化意識が定着した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物

行政評価19 清掃事業

政策3 地球にやさしい持続可能な社会の構築

施策(2) ごみの減量化・資源化

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	循環型社会 推進事業	循環型社会の構築に 向けて、ごみ・資源の 収集、処理方法のより 一層の充実を図り、ご みの減量化・資源化を 推進します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	環境課		
				指標	1人1日あたりのごみ排出量【単年】							
					基準値 (2018)	701g	目標値 (2023)	633g				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	732g	・小学校区ごとにごみの減量に関する市民説明会を実施し、長久手市や晴丘センターのごみの現状、市民がごみ減量のためにできること等について説明した。	
2020 (R2)	継続	724g	・様々な市民の集まりに参加し、ゴミ減量に関する説明会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止した。	
2021 (R3)	継続	706g	・広報8月号でもえるごみ袋増額の検討を始めたことを折込チラシとして全戸配布した。 ・もえるごみ袋増額に関する地域意見交換会を32回実施し、延べ194人が参加した。 ・小中学生向けごみ減量出前講座を各3回計27回実施した。	
2022 (R4)	継続	687g	・長久手市ごみ減量・収集アクションプランを策定し、市内6か所で説明会を開催 ・分別品目の細分化として「充電5品目」の回収を開始した。 ・「ながくてごみ減量化通信」を発刊するとともに毎月発行し、自治会等に回覧した。 ・市が洞小学校で小学4年生全員にごみ分別出前講座を開催した。 ・サントリー・豊田通商とペットボトル水平リサイクル事業の協定を締結した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	地域共生社会推進事業 (地域づくり) 【再掲】	市民が地域の困りごとを主体的に解決できる地域づくりを推進するため、コミュニティ・ソーシャルワーカーが、まちづくり協議会、自治会、民生委員等様々な分野の関係者と連携し、市民が互いに支え合い、見守る小地域活動を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	地域共生推進課	方向性Ⅰ
				指標	市民が地域の課題や支え合いについて話すことができる場の設置数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	10地区			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】		
2020 (R2)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】		
2021 (R3)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】 事業名変更 旧：地域力強化推進事業		
2022 (R4)		継続	10地区	・地域において、主体的に困りごとを把握し、解決する体制づくりのため、CSWとともに2地区の支え合い活動をサポートした。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価59 包括的支援事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	2	生活支援体制整備事業【再掲】	介護や生活支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護予防の取組や簡単な支援を地域で提供できる体制づくりを行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課	方向性Ⅰ	
				指標	生活支援サポーター養成人数【累計】							
					基準値 (2018)	71人	目標値 (2023)	110人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	85人	・生活支援サポーター登録のハードルを下げた(講座を受講をせずとも、登録説明会に参加するだけで登録可)ことで、例年より多くの方に関心を持ってもらい、養成講座に参加してもらった。	
2020 (R2)	継続	210人	・社会福祉協議会が実施していた「見守りサポーター制度」と統合して、より多くの方が幅広い支援を行うことができる体制とした。 ・生活支援サポーターフォローアップ研修を開催し、16人が参加した。また、生活支援サポーター交流会を開催し、26人が参加した。	
2021 (R3)	継続	103人	・生活支援サポーター登録者数と、実動人数に隔離があったため、令和3年度当初に調査を行い、実動できるサポーターを確認したところ、登録者数が減少した。また、調査後の登録者数を基準として、目標値を変更した。 ・長久手市「生活支援サポーター」事業実施要綱を制定し、生活支援サポーターの活動内容について、従来の集いの場における講師、講師補助及び運営補助だけでなく、見守り活動と安否確認活動を追加した。	
2022 (R4)	継続	104人	・新規19名を養成した。 ・交流会を6回開催、ニュースレターを2回発行した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価59 包括的支援事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	3	高齢者支援 ネットワーク 事業	医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、医療・介護・福祉各専門職のネットワークを強化するため、多職種の連携を促進します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課	方向性Ⅱ	
				指標	多職種連携事業参加者数【単年】							
					基準値 (2018)	914人	目標値 (2023)	1, 040人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	914人	・多職種連携を促進するため、電子@連絡帳「愛・ながくて夢ネット」を活用しながら、入退院支援部会などの専門部会を開催し、延べ914人が参加した。	
2020 (R2)	継続	913人	・地域ケア会議10回、入退院支援部会3回及び多職種連携推進交流部会関連20回を開催し、延べ913人が参加した。	
2021 (R3)	継続	930人	・地域ケア会議12回、入退院支援部会4回及び多職種連携推進交流部会関連21回を開催し、延べ930人が参加した。	
2022 (R4)	継続	730人	・地域ケア会議6回、入退院支援部会4回及び多職種連携推進交流部会関連17回を開催し、延べ730人が参加した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価30 障がい者自立支援事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	4	障がい者基幹 相談支援事業	障がいのある人のライフステージに合った適切で一貫した支援ができるよう、基幹相談支援センターにおいて、人材育成、虐待防止、困難事例への支援や関係機関との連携強化を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	福祉課	方向性Ⅱ	
				指標	相談件数【単年】							
					基準値 (2018)	3,364件	目標値 (2023)	4, 417件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	3,999件	・地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行った。 ・障害者手帳を所持しているが、障害福祉サービス及び介護保険サービスを利用しておらず、避難行動要支援者登録台帳に未登録であり高齢者実態把握調査の対象ではない人の現状について調査を行い、生活に困窮している人や困っているが支援が受けられていない人を早期発見し、問題が大きくなる前に対応することを目的とした、対象者宅への訪問調査を実施した。	
2020 (R2)	継続	4,092件	・あらゆる障がい者等の相談を受付けし、主訴を聞き取り、課題の整理及び対応を行った。 ・障害者手帳を所持しているが、障害福祉サービス等を利用していない人の現状について調査を実施した。	
2021 (R3)	継続	5,275件	・あらゆる障がい者等の相談を受け付けし、主訴を聞き取り、課題の整理及び対応を行ってきた。障害者手帳を所持しているが、障害福祉サービス等を利用していない人の現状について調査を実施した。	
2022 (R4)	継続	1,592件	・あらゆる障がい者等の相談を受け付けし、主訴を聞き取り、課題の整理及び対応を行ってきた。令和4年度からは、相談件数の算定方法を変更したため、件数が大幅に減少した。 ・障害者手帳を所持しているが、障害福祉サービス等を利用していない人の現状について確認する、個別訪問調査を実施した。本調査では、同居家族の状況や日中の生活、通院状況等を確認するためのアンケート調査を行っており、計117件回収できた。	令和3年度までは、障害者相談支援事業の件数に加え、計画相談支援及び障害児相談支援の件数も相談件数に入れていたが、令和4年度からは障害者相談支援事業の件数のみで算定することとした。
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	5	8050問題等 実態把握訪問調査事業	課題の早期発見と支援につなぐことを目的として、8050問題を始める高齢者と同居する社会とつながりのない子どもの現状を把握するための訪問調査を実施します。	行程	—	—	—	実施	継続	地域共生 推進課	方向性Ⅱ
				指標	調査件数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	50件			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)		実施	24件	・CSWとともに、対象世帯へ訪問調査を行った。支援が必要と思われる世帯については、支援可能な機関がある場合は適切な支援機関につなぎ、継続的な支援が必要な場合は支援プランを作成した。						2022年度版新規事業	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価31 生活保護事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	生活困窮者 自立支援事業	生活困窮状態から早期に脱却することを目指し、包括的かつ継続的な支援として、自立相談支援、就労支援、家計改善支援、学習支援、個別訪問を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	福祉課	方向性Ⅱ
				指標	新規相談件数【単年】						
					基準値 (2018)	80人	目標値 (2023)	110人			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	91人	・生活困窮者が生活保護受給に至る前に、個別支援プランを作成し支援を行った。住居喪失のおそれがある者に対して、家賃相当分の住居確保給付金を支給する事業を実施した。	
2020 (R2)	継続	283人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり、新規相談件数が前年度の2倍以上となった。 ・自立相談支援事業新規相談件数283件、就労支援者数24人、家計改善支援事業新規相談件数8件、学習支援事業参加者数33人、住宅確保給付金36人、個別訪問調査43件	
2021 (R3)	継続	236人	・自立相談支援事業新規相談件数236件、就労支援者数54人、家計改善支援事業新規相談件数5件、学習支援事業参加者数33人、住居確保給付金27人、個別訪問調査75件	
2022 (R4)	継続	162件	・自立相談支援事業新規相談件数162件、就労支援者数13人、家計改善支援事業新規相談件数4件、学習支援事業参加者数40名、住宅確保給付金8人、個別訪問調査15件	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	地域共生社会推進事業 (相談支援・参加支援)	包括的な支援体制を構築するため、相談支援包括化推進員を配置し、各支援機関を総合的にコーディネートしながら、複雑化・複合化した課題に的確に対応し、社会とのつながりの支援が必要な場合は、参加支援を行います。 これらを、地域づくりに向けた支援と一体的に実施します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	地域共生推進課	方向性Ⅱ
				指標	支援プラン作成件数【単年】						
					基準値 (2018)	10件	目標値 (2023)	65件			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	16件	・相談支援包括化推進員会議を毎週実施し各ケースの進捗管理をするとともに、必要に応じて、個別ケース会議を開催した。また、相談支援体制の構築のため、有識者、関係機関などによる「相談支援包括推進協議会」、実務者による「実務者会議」を開催した。	指標は、対応件数【単年】
2020 (R2)	継続	13件	・相談支援包括化推進員会議を毎週実施し各ケースの進捗管理をするとともに、必要に応じて、個別ケース会議を開催した。また、相談支援体制の構築のため、有識者、関係機関などによる「相談支援包括推進協議会」、実務者による「実務者会議」を開催した。 ・令和3年度の重層的支援体制整備事業への移行に向けて、福祉関係部局と既存事業の見直し、委託業務のあり方について意見交換を行うとともに、実務者会議において、関係機関の関わり方、支援方法について検討を行った。	指標は、対応件数【単年】
2021 (R3)	継続	3件	・重層的支援体制整備事業に移行し、社会福祉協議会と連携しながら、相談支援体制の構築のため、有識者、関係機関などによる「相談支援包括化推進協議会」で事業の活動方針を協議するとともに、「実務者会議」を社会福祉法に基づく重層的支援会議と位置付け、支援プランの協議、評価、社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を行った。 ・地域共生推進事業の委託先である社会福祉協議会と協働し、多機関協働事業の中核となる事務局会議を毎週実施し、体制づくりを進めた。	事業名変更 旧：多機関協働相談支援包括化推進事業 指標は、対応件数【単年】

年度	状況	成果	取組内容	備考
2022 (R4)	継続	120件	・多機関協働事業2件、参加支援事業58件、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業60件の支援プランを作成した。 ・多機関協働事業として、本市が目指す地域共生社会の姿を共通のものとするため、包括化推進協議会及び実務者会議を開催し、各機関の情報共有、連携のあり方について、学習、意見交換を行った。実務者会議においては、先進自治体の事例を学びながら、協働について理解を深めるワークショップを行った。 ・参加支援事業として、CSWなど専門職員がN-ジョイ(ひきこもり相談窓口兼居場所)を運営し、気軽に相談できる環境づくりに取り組んだ。	指標変更 旧:対応件数【単年】
2023 (R5)				
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント				

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	包括的支援 情報連携事 業	市民の複雑化・複合 化した問題に対応す るため、関係機関の 情報共有・連携を円滑 に行うための包括的 な相談情報連携の仕 組みを構築します。	行程	—	—	—	着手	準備	地域共生 推進課	方向性Ⅱ
				指標	支援プラン作成件数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	65件			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)		着手	—	・各相談支援機関の協力を得ながら包括的支援情 報連携システムのプロトタイプによる実証実験を行 い、相談情報の共有、連携のあり方について協 議、意見交換を行った。						2022年度版新規事業 事業名変更 旧：包括的支援情報 連携システム構築事 業	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価29 障がい者福祉事業
政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり
施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	障がい者地域生活整備事業	障がいのある人が慣れ親しんだ地域で暮らすため、グループホームの体験利用の促進等により、生活の場を整備します。	行程	実施	継続	継続	継続	継続	福祉課	
				指標	障がい者地域生活体験グループホーム事業利用者【累計】						
					基準値 (2018)	－	目標値 (2023)	24人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		実施	7人	・2つのグループホームにて、延べ630日間の体験訓練を実施した。							
2020 (R2)		継続	2人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、受け入れ期間を限定して実施した。							
2021 (R3)		継続	0人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、グループホームが体験利用者を受け入れることが困難であったため、実施していない。							
2022 (R4)		継続	7人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、グループホームが体験利用者を受け入れることが困難であったため、実施していない。 ・事業開始当時と比べるとグループホームが増加し認知も進んできているため、令和5年度で事業を廃止する。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価30 障がい者自立支援事業
政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり
施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	2	障がい者外出支援事業	障がいのある人の外出や社会参加の機会を創出するため、障がいのある人の移動を支援する担い手を育成します。	行程	実施	継続	継続	継続	継続	福祉課	
				指標	移動支援事業従事者養成研修終了者数【累計】						
					基準値 (2018)	9人	目標値 (2023)	25人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		実施	11人	・移動支援事業従事者養成研修を1回実施した。							
2020 (R2)		継続	11人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、移動支援事業従事者養成研修は中止した。							
2021 (R3)		継続	20人	・移動支援従事者養成研修について、市が認定した事業者による研修が2回実施され、9人が修了し、従事者として活躍している。							
2022 (R4)		継続	20人	・令和4年度は登録事業所において研修が実施されなかった。 ・35人の移動支援事業の利用があった。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価27 社会福祉事業
政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり
施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
エ	1	障がい者災害 時支援事業	障がいのある人が安心して生活できるよう、避難行動要支援者制度の周知を行い、障がいの特性に応じた災害等の緊急時の支援体制等を構築します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	福祉課	
				指標	避難行動要支援者登録者数【単年】 ※旧高齢者実態把握調査の対象者を除く。						
					基準値 (2018)	292人	目標値 (2023)	400人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	354人	・災害時に支援が必要と考えられる方を対象に、支援を受けるために必要な基礎的な情報を登録し、毎年更新している。							
2020 (R2)		継続	349人	・災害時に支援が必要と考えられる障がい者等を対象に、支援に必要な基礎的な情報を市に登録してもらうよう登録案内(更新案内)を行った。							
2021 (R3)		継続	367人	・災害時に支援が必要と考えられる障がい者等を対象に、支援に必要な基礎的な情報を市に登録してもらうよう登録案内(更新案内)を行った。 ・法改正に伴い、様式や情報収集方法の見直しに係る検討を関係各課と進めた。							
2022 (R4)		継続	367人	・法改正に伴い、避難行動要支援者登録と同時に個別避難計画が作成されるよう、登録申請様式を改訂した。 ・登録申請書の送付時期の時期の見直しを行ったため、登録申請者数は令和5年度以降に反映する。 ※実績は令和3年度調査分							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価30 障がい者自立支援事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
エ	2	障がい者コミュニケーション支援事業	障がい等により意思疎通が困難な人に対して、手話通訳、要約筆記、代読、代筆、筆談等により意思疎通を支援する人材を育成します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	福祉課	
				指標	手話奉仕員研修参加者【単年】						
					基準値 (2018)	6人	目標値 (2023)	8人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	4人	・手話奉仕員研修を1回(入門編全18回、基礎編全21回)実施した。							
2020 (R2)		継続	0人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、従来の手話奉仕員研修ではなく、日進市と共催で手話体験講座(長久手市民8人参加)及び要約筆記奉仕員スキルアップ講座(長久手市民3人参加)を開催した。							
2021 (R3)		継続	6人	・手話奉仕員養成講座(入門講座)全18回及び要約筆記ボランティア養成講座全6回を開催した。 ・手話体験講座は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止した。						※手話奉仕員養成講座(入門講座)は日進市・東郷町・豊明市と共同開催。要約筆記ボランティア養成講座は日進市と共同開催。	
2022 (R4)		継続	3人	・手話奉仕員養成講座(基礎講座)全22回及び要約筆記ボランティア養成講座全6回を開催した。手話体験講座は長久手市と東郷町にて開催した。						※手話は日進市・東郷町・豊明市と共同開催。要約筆記は日進市と共同開催。	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価32 介護職員確保事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
オ	1	介護職員確保事業	市内の介護事業所の人材不足を解消するため、資格取得や再就業を目指す人を対象に、介護職員初任者研修や潜在有資格者（介護福祉士・ホームヘルパー2級相当等）の実技研修等を行います。 新規に市内の介護事業所に就職し、また、6か月以上勤務された人に、就職前の研修費用を助成します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課		
				指標	介護職員確保人数【単年】							
					基準値 (2018)	6人	目標値 (2023)	5人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	4人	・介護職員初任者研修を事業者と市の共催により市内(福祉の家)で実施した。	
2020 (R2)	継続	3人	・新型コロナウイルス感染症の事情を考慮し、事業者と協議を行い、研修事業は中止した。就職の成果に応じ、助成金を交付した。	
2021 (R3)	継続	1人	・新型コロナウイルス感染症の事情を考慮し、事業者と協議を行い、研修事業は中止した。就職の成果に応じ、助成金を交付した。	
2022 (R4)	継続	0人	・コロナ禍で、長久手市では介護職員初任者研修は開催中止した。愛知県での研修は行われていたが、長久手市に就職した人はいなかった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価10 国際化事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
力	1	多文化共生 社会事業 【再掲】	外国人市民のニーズ や国際情勢、本市に おける多文化共生の 実態を把握し、外国 人市民が地域の一員 として活躍・生活す ることができるよう、 多文化共生の地域 づくりや国際交流意 識の醸成に取り組み ます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課	
				指標	多文化共生促進事業数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	7回			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	—	・多文化共生推進プラン策定に係るアンケート調査を実施した。(回収数:日本人 387件/1,000件、外国人 171件/1,026件)							
2020 (R2)		継続	—	・令和3年2月に多文化共生推進プラン策定を策定した。策定過程では、策定委員会(3回開催、延べ28人出席)及びあいち多文化共生タウンミーティングinながくて(ワークショップ、計41人参加)を開催した。							
2021 (R3)		継続	7回	・長久手市多文化共生推進会議(有識者会議、2回開催、のべ20人出席)、長久手市多文化共生推進連絡会議(庁内会議、2回開催、のべ24人出席)、関係課連携事業(マイナンバー説明会、外国人子育て座談会)、学校への日本語学習サポーター派遣事業を実施した。							
2022 (R4)		継続	7回	・長久手市多文化共生推進会議(有識者会議、2回開催、延べ17人出席)、長久手市多文化共生推進連絡会議(庁内会議、2回開催、のべ20人出席)、学校への日本語学習サポーター派遣事業を実施した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価16 防災事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	防災士育成 促進事業	地域防災を担う人材 育成のため、防災士 資格取得費用の助成 を行うことで資格取得 を促進します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	安心安全 課		
				指標	防災士資格取得の助成件数【単年】							
					基準値 (2018)	3件	目標値 (2023)	15件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	5件	・防災士助成を5人に実施し、延べ10人の防災士を育成した。	
2020 (R2)	継続	3件	・市広報紙、市ホームページ及びチラシ等による制度の周知を行い、防災士助成を3人に実施した。	
2021 (R3)	継続	1件	・市広報紙、市ホームページ及びチラシの窓口配布等による制度の周知を行い、防災士助成を1人に実施した。	
2022 (R4)	継続	1件	・市広報紙、市ホームページ及びチラシの窓口配布等による制度の周知を行い、防災士助成を1人に実施した。	・市内防災士等が講師を務める防災講習会等が16回実施された。
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価17 自主防災活動支援事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	2	自主防災活動支援事業	地域の自主防災活動の活性化のため、自主防災組織が開催する防災講習会や防災資機材の貸与等の活動支援を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	安心安全課		
				指標	自主防災倉庫設置数【累計】							
					基準値 (2018)	54地区	目標値 (2023)	59地区				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	55地区	・自主防災組織の設立を促し、自主防災倉庫の設置及び資機材の貸与を行った。	
2020 (R2)	継続	57地区	・新たに設立した2地区の自主防災組織に対し、自主防災倉庫の設置及び資機材の貸与を行った。	
2021 (R3)	継続	57地区	・地域住民の主催により実施される自主防災講習会について、コロナ禍においても消毒や三密回避など基本的な感染症対策を徹底して実施し、430人が参加した。	
2022 (R4)	継続	57地区	・令和4年度は積極的に防災活動に取り組んだ地区が2地区あった。	・積極的に防災活動に取り組んだ2地区について、令和5年度に自主防災倉庫設置・資機材の貸与となる。
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	岩作旧市街地狭隘道路整備事業	岩作地区生活道路整備基本計画に沿って、緊急車両の通行が困難な狭隘道路を解消するため、東島2号線の拡幅工事を行います。	行程	準備	着手	継続	継続	完了	土木課	
				指標	整備延長【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	308m			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・東島2号線拡幅工事の詳細設計を行った。							
2020 (R2)		着手	30m	・東島2号線の拡幅工事(30m区間)を行った。							
2021 (R3)		継続	70m	・東島2号線の拡幅工事(単年40m区間)を行った。							
2022 (R4)		継続	86m	・東島2号線の拡幅工事(単年174m区間のうち158mは北側のみ拡幅)を行った。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	2	中根狭隘道路対策事業	狭隘道路による通行の支障や排水の民地流入を解消するため、中根1号線外の排水路の変更と道路拡幅工事を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	土木課		
				指標	拡幅延長【単年】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	40m				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	—	・新たな排水経路を確保するため、用地買収と排水路設置工事を行った。	
2020 (R2)	継続	—	・事業を実施するために、関係機関との協議を行った。	
2021 (R3)	継続	—	・詳細設計を行った。	
2022 (R4)	継続	—	・事業を実施するために、用地交渉を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	防災情報伝達システム構築事業	防災行政無線を使用しての防災情報を的確に学校へ伝達するため、個別受信機を設置します。	行程	着手・完了	—	—	—	—	安心安全課		
				指標	避難所への個別受信機設置数【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2019)	9箇所				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	着手・完了	9箇所	・市内6小学校及び3中学校(9避難所)に、校内放送連動個別受信機を設置した。	
2020 (R2)				
2021 (R3)				
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
オ	1	防火水槽設置事業	公園西駅周辺地区の2号公園整備に合わせ、災害時においても使用できる耐震性貯水槽を設置します。	行程	着手・完了	—	—	—	—	安心安全課		
				指標	貯水槽設置数【2019年度】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2019)	1基				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	着手・完了	1基	・公園西駅2号公園に1基の耐震性貯水槽を設置した。	
2020 (R2)				
2021 (R3)				
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価
政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり
施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	2	農村環境改善センター施設整備事業 (特定天井)	多目的ホールの天井は特定天井に該当するため、利用者の安全を考慮し、改修します。	行程	準備	着手・完了	—	—	—	子ども未来課	
				指標	改修施設数						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	1施設			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	準備	0施設	・特定天井対策工事の基本実施設計が完了した。						2020年度版新規事業		
2020 (R2)	着手・完了	1施設	・改修工事(吊り天井の撤去、構造体に直接設置する天井への変更・防球ネット設置及び照明の更新(LED化))が完了した。						2020年度版新規事業		
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	3	青少年児童センター施設整備事業(特定天井)	「内の広場」の天井は特定天井に該当するため、利用者の安全を考慮し、改修します。	行程	—	準備	着手・完了	—	—	子ども未来課	
				指標	改修施設数【2021年度】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	1施設			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)	準備	—	・特定天井対策工事の基本実施設計が完了した。	2020年度版新規事業
2021 (R3)	完了	1施設	・改修工事(吊り天井の撤去、構造体に直接設置する天井への変更消防設備及び照明の更新(LED化))が完了した。	
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
オ	4	文化の家施設整備事業 (特定天井)	森ホール、風のホール、 ギャラリーの天井は 特定天井に該当する ため、利用者の安全を 考慮し、改修します。	行程	—	—	—	準備	準備	生涯学習課		
				指標	改修施設数							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)	—	—	—	2020年度版新規事業
2021 (R3)	—	—	—	
2022 (R4)	準備	—	・文化の家特定天井改修工事基本設計業務委託契約を締結した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価
政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり
施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	5	市役所周辺 既存公共施設 防災機能 強化事業	防災拠点としての機能を充実させるため、災害時に救護所となる保健センターへの自家用発電機の設置工事、本庁舎の天井の調査等を行い、防災機能の向上を図ります。	行程	—	—	準備	着手・完了	—	企画政策課	
				指標	防災機能強化施設【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2022)	2施設			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)		準備	—	・令和4年度の工事に向けて、本庁舎の天井や窓ガラス飛散防止等の状況確認調査の実施や、保健センター自家用発電機設置についての設計業務を行った。						2021年度版新規事業	
2022 (R4)		着手・完了	2施設	・被災時の防災拠点としての機能を充実させるため自家用発電機を設置するとともに、状況確認調査を元に本庁舎、西庁舎及び保健センターの窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
カ	1	河川カメラシステム事業	夜間でも監視可能な河川カメラを、下川原橋付近及び西鴨田橋付近に設置します。	行程	—	着手	完了	—	—	安心安全課		
				指標	河川カメラ設置数【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	2基				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)	着手	1基	・下川原橋付近に河川カメラを1基設置した。これによりケーブルテレビやスマホのアプリを通じて、付近の河川の様子が確認できるようになった。	2020年度版新規事業
2021 (R3)	完了	2基	・西鴨田橋付近にも河川カメラを設置したことで累計2基になった。災害時においても支障なく確認できるよう、システムの正常な状態を維持する。	
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価47 住宅耐震事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(2) 地域と一体となった防災力の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ク	1	住宅耐震事業	住宅に対する耐震意識を高め、地震に強いまちづくりを行うため、木造住宅及び非木造住宅を対象とし、耐震診断・耐震改修の補助等を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	都市計画課	
				指標	①啓発活動戸別訪問件数【単年】 ②木造住宅耐震改修補助実績件数【単年】						
					基準値 (2018)	①30件 ②1件	目標値 (2023)	①30件 ②1件			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	① 42件	・啓発活動として戸別訪問を実施したほかダイレクトメールの発送、防災イベントの開催及び耐震相談会を行った。それらの活動を通して、1件の改修につながった。	
		② 1件		
2020 (R2)	継続	① 30件	・啓発活動として戸別訪問を実施し、合わせて市広報紙及び市ホームページに事業の周知を行った。また、第3次長久手市耐震改修促進計画策定に伴いアンケート調査も実施した。これらの取組の結果、1件の改修につながった。	
		② 1件		
2021 (R3)	継続	① 30件	・啓発活動として戸別訪問を実施し、合わせて市広報紙及び市ホームページに事業の周知を行った。また、防災イベントとして住宅の耐震に関する展示会の開催を行った。 ・木造住宅耐震改修等補助累計件数(木診断の耐震性有・改修・シェルター・除却)216件。	
		② 2件		
2022 (R4)	継続	① 28件	・啓発活動として戸別訪問を実施し、合わせて市広報紙及び市ホームページに事業の周知を行った。また、防災イベントとして住宅の耐震に関する展示会の開催を行った。 ・通行障害既存耐震不適格建築物に対して、全54件の内、30件の戸別訪問を計画し、28件訪問実施、2件除却されていることを確認した。 ・木造住宅耐震改修等補助累計件数(木診断の耐震性有・改修・シェルター・除却)224件。	
		② 0件		
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価15 防犯事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(3) 交通安全・防犯の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	自主防犯活動支援事業	地域住民の自主防犯活動支援のため、講習会の開催、支援資機材の貸与、団体同士の連携の機会を提供する会議の開催等を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	安心安全課	
				指標	防犯ボランティア団体数【単年】						
					基準値 (2018)	26団体	目標値 (2023)	25団体			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	25団体	・自主防犯ボランティア団体の一部(西小、南小)と毎月定例会を行い情報共有を行った。 また、おひさまクラブ(南小)と連携し防犯講習会を開催した。							
2020 (R2)		継続	25団体	・新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、行動が制限される中でも、状況に応じて自主的な防犯活動を実施していただいた。							
2021 (R3)		継続	25団体	・自主防犯ボランティア団体に、令和4年度から開始する青パトロールカーの貸出の説明を行い、周知に努めた。							
2022 (R4)		継続	25団体	・自主防犯ボランティア団体に対して青色防犯パトロール講習会を開催し、青パトロールカーの貸出を開始した。 ・自主防犯ボランティア団体に対して活動状況の確認を行った。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価13 交通安全事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(3) 交通安全・防犯の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	交通安全啓 発事業	交通安全対策のための 啓発事業の実施 や、物資の支給による 交通安全活動の支援 を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	安心安全 課		
				指標	交通安全講習会の開催【単年】							
					基準値 (2018)	32回	目標値 (2023)	40回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	15回	・子どもを対象とした幼児交通安全教室に加え、高齢者を対象とした講習会を開催した。	
2020 (R2)	継続	20回	・新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、行動が制限される中でも、交通安全啓発活動を実施した。	
2021 (R3)	継続	3回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、啓発等が開催できなくなり、交通安全講習会の開催回数が減少した。	
2022 (R4)	継続	16回	・コロナ禍で中止していた幼児交通安全教室を再開し、延べ1,027人が参加した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策2 地域の課題をみんなで解決

施策(1) 市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	地域共生社会推進事業 (地域づくり) 【再掲】	市民が地域の困りごとを主体的に解決できる地域づくりを推進するため、コミュニティ・ソーシャルワーカー、まちづくり協議会、自治会、民生委員等様々な分野の関係者と連携し、市民が互いに支え合い、見守る小地域活動を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	地域共生推進課	方向性Ⅱ
				指標	市民が地域の課題や支え合いについて話すことができる場の設置数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	10地区			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】		
2020 (R2)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】		
2021 (R3)		継続	0地区	・地域において、要支援者等を平常時から見守る体制づくりについて、CSWとともに協議をした。					指標は、ネットワーク事業実施地区数【累計】 事業名変更 旧：地域力強化推進事業		
2022 (R4)		継続	10地区	・地域において、主体的に困りごとを把握し、解決する体制づくりのため、CSWとともに2地区の支え合い活動をサポートした。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 行政評価

政策2 地域の課題をみんなで解決

施策(1) 市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	支え合いマップづくり事業	地域の見守り体制の充実を図るため、地域にどのような困っている人がいて、どのような人と人とのつながりがあり、支え合いが行われているかを地域と共に再確認し、地域の課題に取り組む話し合いの場づくりを支援します。	行程	継続	継続	見直	—	—	地域共生推進課	
				指標	マップづくり実施地区数【累計】						
					基準値 (2018)	10地区	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	継続	10地区	・三ヶ峯地区及び丸山地区で月1回の話し合いを実施し延べ240人の市民が参加した。								
2020 (R2)	継続	10地区	・三ヶ峯地区及び丸山地区で月1回の話し合いを実施し、延べ108人の市民が参加した。								
2021 (R3)	見直	10地区	・三ヶ峯地区及び丸山地区で月1回程度の話し合いを実施し、延べ84人の市民が参加した。						令和4年度以降は、「地域共生社会推進事業(地域づくり)」に統合		
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022 年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価58 一般介護予防事業
政策2 地域の課題をみんなで解決
施策(1) 市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	ワンコイン サービス事業	高齢者に役割と居場所があり、また住み慣れた家で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するため、在宅高齢者の軽度な日常生活の困りごとを、地域の有償ボランティアが支援する事業を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課	
				指標	有償ボランティア(支援者)による支援回数【単年】						
					基準値 (2018)	1, 228回	目標値 (2023)	2, 800回			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	1,629回	・多種多様な支援者(例:大学生、障がい者団体等)の登録を可能にしたことにより、より多くの利用者に対応できるようになった。							
2020 (R2)		継続	2,481回	・事業の周知が進んだことにより、年間の利用登録者数が、令和元年度に比べ約2.5倍となった。							
2021 (R3)		継続	2,301回	・新型コロナウイルス感染症の蔓延によりサービスの利用は前年並だったが、新規の利用登録者は49名あった。							
2022 (R4)		継続	2,250回	・「長久手サポートプロジェクト」として、アプリを活用したマッチングの仕組みが始まり、ワンコインサービス事業では令和5年1月から実装している。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策2 地域の課題をみんなで解決

施策(1) 市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
エ	1	居場所支援事業	いきいきと健やかに暮らせるまちづくりのため、誰もが気軽に立ち寄り、地域の相談窓口としての機能等も備えた居場所(拠点)の情報を収集及び発信し、必要に応じて運営費等の補助を行います。	行程	—	—	—	実施	継続	地域共生推進課		
				指標	居場所(拠点)登録数【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	8箇所				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)				
2021 (R3)				
2022 (R4)	実施	1箇所	・長久手市居場所支援事業実施要綱を作成し、申請があった集い場発見事業1件に対して、補助を行った。	2022年度版新規事業
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策2 地域の課題をみんなで解決

施策(2) 市民が気軽に身近で相談できる場づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
ア	1	地域共生社会推進事業 (相談支援・参加支援) 【再掲】	包括的な支援体制を構築するため、相談支援包括化推進員を配置し、各支援機関を総合的にコーディネートしながら、複雑化・複合化した課題に的確に対応し、社会とのつながりの支援が必要な場合は、参加支援を行います。 これらを、地域づくりに向けた支援と一体的に実施します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	地域共生推進課			
				指標	支援プラン作成件数【単年】								
					基準値 (2018)	10件	目標値 (2023)	65件					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	16件	・相談支援包括化推進員会議を毎週実施し各ケースの進捗管理をするとともに、必要に応じて、個別ケース会議を開催した。また、相談支援体制の構築のため、有識者、関係機関などによる「相談支援包括推進協議会」、実務者による「実務者会議」を開催した。	指標は、対応件数【単年】
2020 (R2)	継続	13件	・相談支援包括化推進員会議を毎週実施し各ケースの進捗管理をするとともに、必要に応じて、個別ケース会議を開催した。また、相談支援体制の構築のため、有識者、関係機関などによる「相談支援包括推進協議会」、実務者による「実務者会議」を開催した。 ・令和3年度の重層的支援体制整備事業への移行に向けて、福祉関係部局と既存事業の見直し、委託業務のあり方について意見交換を行うとともに、実務者会議において、関係機関の関わり方、支援方法について検討を行った。	指標は、対応件数【単年】
2021 (R3)	継続	3件	・重層的支援体制整備事業に移行し、社会福祉協議会と連携しながら、相談支援体制の構築のため、有識者、関係機関などによる「相談支援包括化推進協議会」で事業の活動方針を協議するとともに、「実務者会議」を社会福祉法に基づく重層的支援会議と位置付け、支援プランの協議、評価、社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を行った。 ・地域共生推進事業の委託先である社会福祉協議会と協働し、多機関協働事業の中核となる事務局会議を毎週実施し、体制づくりを進めた。	事業名変更 旧：多機関協働相談支援包括化推進事業 指標は、対応件数【単年】

年度	状況	成果	取組内容	備考
2022 (R4)	継続	120件	・多機関協働事業2件、参加支援事業58件、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業60件の支援プランを作成した。 ・多機関協働事業として、本市が目指す地域共生社会の姿を共通のものとするため、包括化推進協議会及び実務者会議を開催し、各機関の情報共有、連携のあり方について、学習、意見交換を行った。実務者会議においては、先進自治体の事例を学びながら、協働について理解を深めるワークショップを行った。 ・参加支援事業として、CSWなど専門職員がN-ジョイ(ひきこもり相談窓口兼居場所)を運営し、気軽に相談できる環境づくりに取り組んだ。	指標変更 旧:対応件数【単年】
2023 (R5)				
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント				

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策1 住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり

施策(1) くらしを支える生活基盤の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	包括的支援 情報連携事業	市民の複雑化・複合化した問題に対応するため、関係機関の情報共有・連携を円滑に行うための包括的な相談情報連携の仕組みを構築します。	行程	—	—	—	着手	継続	地域共生 推進課	方向性Ⅱ
				指標	支援プラン作成件数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	65件			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)				
2021 (R3)				
2022 (R4)	着手	—	・各相談支援機関の協力を得ながら包括的支援情報連携システムのプロトタイプによる実証実験を行い、相談情報の共有、連携のあり方について協議、意見交換を行った。	2022年度版新規事業 事業名変更 旧：包括的支援情報連携システム構築事業
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策2 地域の課題をみんなで解決

施策(2) 市民が気軽に身近で相談できる場づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	地域訪問事業	市民ニーズや地域課題を把握するため戸別訪問します。困りごとを抱えた世帯については、情報共有により適切な相談支援に繋がります。	行程	完了	—	—	—	—	地域共生推進課	
				指標	訪問件数【単年】						
					基準値 (2018)	2, 161件	目標値 (2019)	2, 500件			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		完了	2,643件	・戸別訪問時にチラシを配付したことにより、電話や来庁による相談につながった。							
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価1 地域共生社会推進事業
政策2 地域の課題をみんなで解決
施策(2) 市民が気軽に身近で相談できる場づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	地域の保健 室推進事業	健康寿命延伸を目指し、小さなコミュニティ単位での支え合いによる地域づくりを進めるため、地域資源を活用し、身近な居場所で看護師や管理栄養士等に気軽に相談できる機会を作ります。	行程	—	—	—	実施	継続	地域共生 推進課	
				指標	来場者数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	150人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)		実施	94世帯	・同年代の子どもを持つ親のつながりやまちの保健師事業の周知、子育て世代の声を拾う機会として、全小学校区にてハイハイレースを実施した。						2022年度版新規事業	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価34 成人保健事業

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	39歳以下健 診事業	健康診査を受ける機 会のない若い年齢(1 6歳から39歳まで)の 人が健康診査を受 け、自らが健康に意識 を持ち、生活習慣病を 早期から予防するよう 39歳以下健診を行 います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進 課		
				指標	受診者数【単年】							
					基準値 (2018)	318人	目標値 (2023)	400人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	335人	・広報やホームページで事業周知するとともに、乳幼児健診や子宮検診時にチラシを配布した。	
2020 (R2)	継続	251人	・5日間実施し、251人の受診があった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により受診を控える傾向が見られたため、検診を受けることは不要不急ではないことを伝え、乳幼児健診や子宮検診時にチラシを配布した。	
2021 (R3)	継続	202人	・5日間実施し、202人の受診があった。 ・子宮検診と同日に実施できる日を2日間設けた。	
2022 (R4)	継続	270人	・5日間実施し、270人の受診があった。 ・子宮検診と同日に実施できる日を1日設けた。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	2	健康マイレージ事業	生活習慣の改善につながる運動、各種検診の受診、健康講座、イベント、スポーツ教室等の「健康づくりメニュー」を取り組んだ人にマイレージ(ポイント)を付与します。マイレージを様々な特典に交換することにより、健康づくりにチャレンジする人を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進課		
				指標	健康マイレージ優待カード発行者数【単年】							
					基準値 (2018)	316人	目標値 (2023)	330人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	257人	・提出方法を窓口、郵送に加え、FAXやメールで提出できるようにした。 ・対象メニューに友達メニュー(仲間と一緒に健康づくりの取組を行うと5ポイント獲得できる)を追加した。	
2020 (R2)	継続	205人	・アプリによる参加ができるようにした。 (205人のうち、46人がアプリ参加)	
2021 (R3)	継続	262人	・アプリの登録者が増えている。 (262人のうち、95人がアプリ参加)	
2022 (R4)	継続	412人	・アプリの登録者数が増加している。 (412人のうち252人がアプリ参加者) ・アプリで歩数ポイントを付与できるようにした。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価35 健康づくり推進事業

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	3	健康づくり教室事業	健康づくりへの関心を高め生活習慣の改善を目的として、運動体験できる教室や健康に関する正しい知識の普及を行う講座を開催します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進課	
				指標	健康講座ののべ参加者数【単年】						
					基準値 (2018)	1, 520人	目標値 (2023)	500人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	35人	・毎日コツコツ健康づくり教室を9回実施し、延べ552人の参加があった。また、しっかり運動教室を10回実施し、延べ367人の参加があった。					成果指標は、健康教室の新規登録者数【担当課】保険医療課		
			1,661人	・継続して実施している朝食づくり講座や、ゲートキーパー養成講座に加え、「歯と口腔の健康づくり推進条例」策定過程で、歯科医師や歯科衛生士を講師に迎え、歯と口腔に関する専門的な講座を実施した。					成果指標は、健康講座ののべ参加者数【担当課】健康推進課		
2020 (R2)		継続	19人	・ウォーキング教室を10月から月2回開催し、延べ113人の参加があった。					・成果指標は、健康教室の新規登録者数 ・令和3年度から、長寿課の「地域いきいきライフ推進事業」として実施する。 【担当課】保険医療課		
			398人	・新型コロナウイルス感染症の影響により、健康講座も中止したものが多かったが、長寿課と連携し、歯科健康教育を実施した。					成果指標は、健康講座ののべ参加者数【担当課】健康推進課		
2021 (R3)		継続	227人	・新型コロナウイルス感染症の影響により、健康講座は規模を縮小して開催した。					成果指標は、健康講座ののべ参加者数【担当課】健康推進課		
2022 (R4)		継続	452人	・食と健康を考える会、ながくてすこやかメイトの2つの市民団体が運営に携わった。 ・体成分分析装置測定会220人、ゲートキーパー養成講座35人、健康測定会111人、歯科健康教育47人、朝食講座15人、講座「更年期を健やかに過ごすコツ」24人の参加があった。					成果指標は、健康講座ののべ参加者数【担当課】健康推進課		
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
行政評価57 保健衛生普及事業
政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進
施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	4	重症化予防事業	健康リスクの高い人に対し「1人ひとりに合わせた」医療・服薬情報や生活習慣改善の方法を提供し、自分のカラダの健康の自己管理能力を高めること(セルフケア)で生活習慣病の重症化を防ぎます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	保険医療課	
				指標	健康リスクの高い人のうち、医療機関未受診者の割合【単年】						
					基準値 (2018)	2. 4%	目標値 (2023)	1. 0%			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	1.5%	・健診結果から、対象者に対して面談、電話、郵送で受診勧奨を行った。							
2020 (R2)		継続	1.2%	・健診結果から、対象者に対して医療機関受診勧奨通知の送付や面談及び電話による保健指導を実施した。							
2021 (R3)		継続	1.7%	・健診結果から、対象者に対して医療機関受診勧奨通知の送付や面談及び電話による保健指導を実施した。 ・令和3年度からリスクを通常とハイリスクに分類し、ハイリスク者にはより積極的にアプローチした。							
2022 (R4)		継続	1.6%	・健診結果及びレセプトから数年以内に透析や虚血性心疾患のリスクがある人に対して、専門医、薬剤師栄養師、かかりつけ医が連携して保健指導を実施した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価1 地域共生社会推進事業

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	5	地域の保健室推進事業【再掲】	健康寿命延伸を目指し、小さなコミュニティ単位での支え合いによる地域づくりを進めるため、地域資源を活用し、身近な居場所で看護師や管理栄養士等に気軽に相談できる機会をつくります。	行程	—	—	—	実施	継続	地域共生推進課	
				指標	来場者数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	150人			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)	実施	94世帯	・同年代の子どもを持つ親のつながりやまちの保健師事業の周知、子育て世代の声を拾う機会として、全小学校区にてハイハイレースを実施した。						2022年度版新規事業		
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	地域保健活動事業	誰もが気軽に健康相談ができるようにするため、保健師が地域に出向き、身近な場所で健康や介護、子育て等の悩みについて相談を受け、相談内容に応じ、関係部署と連携して支援します。また、必要のある家庭には訪問も行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進課		
				指標	保健師の派遣回数【単年】							
					基準値 (2018)	457回	目標値 (2023)	535回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	472回	・まちの保健師として西小校区・市が洞小校区共生ステーション、児童館、いきいき倶楽部等に保健師が出向き、健康相談を289回実施した。 ・地域保健活動として、赤ちゃんから高齢者まで必要のある家庭には家庭訪問を183回実施した。	
2020 (R2)	継続	467回	・まちの保健師として西、市が洞、北及び南小学校区共生ステーション、児童館、いきいき倶楽部等に保健師が出向き、健康相談を187回実施した。(感染拡大防止のため一部中止あり。) ・地域保健活動として、赤ちゃんから高齢者まで必要のある家庭には家庭訪問を280回実施した。	
2021 (R3)	継続	433回	・まちの保健師として西、市が洞、北及び南小学校区共生ステーション、児童館等に保健師が出向き、健康相談を207回実施した。(感染拡大防止のため一部中止あり。) ・地域保健活動として、赤ちゃんから高齢者まで必要のある家庭には家庭訪問を226回実施した。	
2022 (R4)	継続	506回	・まちの保健師として、各共生ステーション、児童館等に保健師が出向き、健康相談を271回実施した。 ・地域保健活動として、赤ちゃんから高齢者まで必要のある家庭には家庭訪問を235回実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価25 総合型スポーツクラブ運営事業

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	総合型地域スポーツクラブ事業	子どもから高齢者まで、さまざまな人がスポーツと触れあうことができるスポーツクラブを、市民や地域が主体となって運営していきます。	行程	準備	準備	準備	見直	見直	生涯学習課	
				指標	地域や市民が主体となった運営組織【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	0組織	・自主組織の形成に向け市民との意見交換を4回行った。							
2020 (R2)		準備	0組織	・関係者と意見交換を行い、事業の方向性について検討を行った。							
2021 (R3)		準備	0組織	・関係者と意見交換を行い、事業の方向性について検討を行った。							
2022 (R4)		見直	0組織	・市の体育施設等は、令和5年度から指定管理者制度を導入することから、これまで市が主催してきたスポーツ教室に「がんばらっせ長久手スポーツクラブ」教室を統合して、指定管理者がスポーツ教室を引き継いで行うこととした。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
エ	1	愛知医科大学 大学連携事業	愛知医科大学と締結した医療を中心とする連携協定に基づき、愛知医科大学公開講座を共催し、市民の病気や医療に関する正しい知識の習得を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進課		
				指標	参加者数【単年】							
					基準値 (2018)	30人	目標値 (2023)	90人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	44人	・「身体の痛みの上手な対処法」として、痛みの専門家による健康講座を実施した。	
2020 (R2)	継続	0人	・新型コロナウイルス感染症の影響により、健康講座は実施しなかった。	
2021 (R3)	継続	20人	・睡眠について睡眠科の医師による健康講座を実施した。	
2022 (R4)	継続	25人	・認知症について専門の医師による健康講座を実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(1) 市民の健康づくり

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	1	食の健康推進事業	若い世代を中心として、朝食の重要性や栄養等、食に対する意識啓発を実施し、生活習慣病の予防を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	健康推進課	
				指標	チラシ配布数【単年】						
					基準値 (2018)	489枚	目標値 (2023)	730枚			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	継続	455枚	・成人式で新成人455人に対し、朝食の必要性に関するチラシを配布し、啓発した。								
2020 (R2)	継続	—	・成人式中止に伴い、ホームページ「新成人への各種ご案内」に朝食の必要性に関するチラシを掲載し、啓発した。								
2021 (R3)	継続	520枚	・成人式で新成人520人に対し、朝食の必要性に関するチラシを配布し、啓発した。								
2022 (R4)	継続	490枚	・成人式で新成人490人に対し、朝食の必要性に関するチラシを配布し、啓発した。								
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価58 一般介護予防事業

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(2) 介護予防の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	地域いきいき ライフ推進事 業	市民をはじめとするた くさんの主体の意欲や 能力を最大限に発揮し、 地域での健康づくり活 動や支え合い活動等が 創出されるよう支援し ます。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課		
				指標	いきいきライフパートナー登録者数【累計】							
					基準値 (2018)	0人	目標値 (2023)	190人				
進捗状況												
年度		状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)		継続	66人	市内で開催されている介護予防教室(どこでもいき いき教室333回、いきいき倶楽部183回)で体操講 師や講師の補助、運営の補助を行った。								
2020 (R2)		継続	66人	新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、活躍 する場があまり持てない中、市内で開催されている 介護予防教室(どこでもいきいき教室165回、いき いき倶楽部161回)で体操講師や講師の補助、運 営の補助を行った。								
2021 (R3)		継続	66人	・どこでもいきいき教室180回、いきいき倶楽部170 回を実施した。 ・いきいきライフパートナーは86回活動を行った。 その他に長久手温泉が同行せず、3人のいきいき ライフパートナーが自身のサークルやサロン等で 自立して体操講師を行っている。								
2022 (R4)		継続	66人	・健康づくり活動を975回(どこでもいきいき教室 240回、いきいきライフパートナー養成プログラム 5 回、いきいき倶楽部 179回、いきいきライフフェス ティバル 2回、いきいきサロン 192回、買い物リハ ビリ 147回、シニアパワーアップ教室 36回、いきい きライフプラス 174回)開催した。 ・市民、市民団体、民間企業、大学、行政等健康づ くりや支え合い活動に資する集いの場の運営者・ 関係者やそこに参加している市民同士の多様な交 流と、交流を通じた多様な主体の連携を促進する ための機会の創出を目的に、健康測定会及びサロ ンと企業のマッチング会を実施し、延べ110人の市 民が参加した。								
2023 (R5)												
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント												

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

行政評価59 包括的支援事業

施策(2) 介護予防の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	認知症理解普及啓発事業	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し、地域において認知症の正しい理解を普及啓発します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課		
				指標	認知症サポーター養成講座参加者数【単年】							
					基準値 (2018)	1, 265人	目標値 (2023)	1, 400人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	1,296人	・認知症サポーター養成講座を15回実施し、1,296人の認知症サポーターを養成した。	
2020 (R2)	継続	280人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、講座の開催回数及び参加者が大幅に減少したが、参加者に対する周知を工夫し、認知症サポーター養成講座を10回実施し、280人の認知症サポーターを養成した。	
2021 (R3)	継続	186人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、講座の開催回数及び参加者が減少した。 ・認知症サポーター養成講座を9回実施し、186人の認知症サポーターを養成した。	
2022 (R4)	継続	267人	・小・中・高校、大学及び民間企業等で、認知症サポーター養成講座を計14回講座を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止や、小中学校のカリキュラムにおいて、講座受講が必須でなくなったことの影響により、実施回数及び受講者数が減少し、見込を大幅に下回った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち 行政評価60 任意事業

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(2) 介護予防の推進

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	食の自立支援事業	高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図ります。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	長寿課	
				指標	配食サービス利用者数【単年】						
					基準値 (2018)	194人	目標値 (2023)	265人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	199人	・45,081件の食の自立支援事業配食を行い、栄養管理及び安否確認を実施した。							
2020 (R2)		継続	225人	・実施事業者を1件増やし、合計3件の事業者が44,998件の配食を行い、栄養管理及び安否確認を実施した。							
2021 (R3)		継続	207人	・実施事業者を1件増やし、合計4件の事業者が46,121件の配食を行い、栄養管理及び安否確認を実施した。							
2022 (R4)		継続	190人	・令和4年度12月から特別食の取扱いをしている業者を追加したことにより、利用者の選択肢を増やした。 ・業者の安否確認により、室内で倒れていた利用者に対して迅速な対応が出来た。(1件) ・令和5年度からの利用者の対象要件及び判断基準などの事業内容の見直しについて着手した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

行政評価3 市役所周辺都市基盤施設整備事業

政策3 いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進

施策(3) 健康づくりの環境の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	市役所周辺 都市基盤施 設整備事業	市役所利用者の利便 性向上を目的として、 慢性的な駐車場不足 を解消するため、駐車 場増設工事を行います。	行程	準備	準備	準備	着手・ 完了	—	企画政策 課	
				指標	—						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・庁内組織による横断的な検討を行い、長久手市 スポーツ施設等整備計画に反映した。							
2020 (R2)		準備	—	・駐車場拡充のため、用地交渉を行った。また、土 地収用法に基づく事業認定申請に向けて、愛知県 用地課と調整を行った。							
2021 (R3)		準備	—	・愛知県に土地収用法に基づく事業認定申請をし、 認定告示を得た。 ・土地売買契約1件、物件転移補償契約2件を締結 した。							
2022 (R4)		着手・完了	—	・土地売買契約1件及び増設工事を行い、令和5年 1月6日から来庁者及び職員駐車場として供用を開 始した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価24 古戦場公園再整備事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(1) 歴史の次世代への継承

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	古戦場公園 再整備事業	貴重な文化財である国指定史跡長久手古戦場を保護継承し、古戦場野外活動施設の見直しも含めて古戦場公園一帯を有効活用し、歴史の学びの場、体験の場、交流の場の拠点となるよう古戦場公園を再整備します。	行程	準備	準備	準備	準備	着手	生涯学習課	
				指標	工事進捗率【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	10%			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		準備	5%	・建築及び造園の実施設計を行った。また、史跡地の通景を阻害している樹木や、古戦場の景観としてふさわしくない園芸種や外来種の樹木伐採を行った。							
2020 (R2)		準備	5%	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、再整備後の古戦場公園の活用を考える市民ワークショップを中止した。							
2021 (R3)		準備	6%	・史跡地の通景を阻害している樹木や、古戦場の景観としてふさわしくない園芸種や外来種の樹木伐採を行った。 ・古戦場公園再整備事業に関するワークショップを2回開催し、45人の市民が参加した。							
2022 (R4)		準備	7%	・展示の実施設計を行った。また、史跡地の通景を阻害している樹木や、古戦場の景観としてふさわしくない園芸種や外来種の樹木伐採を行った。 ・古戦場公園再整備事業に関する市民ワークショップを4回開催し、大学生、外国人の方を含む延べ106人の市民が参加した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価23 文化・文化財事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(1) 歴史の次世代への継承

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	歴史民俗体験施設整備事業	江戸時代後期の建築とされ、市内に現存する最古級の古民家を活用し、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えるため、歴史民俗体験施設の附帯施設として、古戦場公園に整備します。	行程	準備	準備	準備	準備	着手	生涯学習課		
				指標	整備する古民家の棟数							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	—	・歴史民俗体験施設で使用する古民家の建物調査(破損調査、痕跡調査等)を行った。 ・古民家の損傷が激しい箇所を緊急的に補修した。	
2020 (R2)	準備	—	・事業の進め方について再検討を行った。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、古民家に関するイベントは中止した。	
2021 (R3)	準備	—	・古戦場公園再整備事業市民ワークショップを2回行い、延べ60人が参加した。	
2022 (R4)	準備	—	・古民家の解体工事及び建築工事の設計業務を行った。 ・古民家移築に関する市民ワークショップを4回開催し、大学生、外国人の方を含む延べ106人が参加した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
行政評価56 中央図書館事業
政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進
施策(1) 歴史の次世代への継承

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	1	地域資料収集事業	地域に根ざした資料を次世代に継承するため、司書が専門的視点で郷土、行政に関する資料を収集します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	中央図書館	
				指標	郷土資料等の資料数【累計】						
					基準値 (2018)	7,600冊	目標値 (2023)	8,800冊			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	8,138冊	・購入及び寄贈などで収集するため、出版状況を確認したり、収集家等へ依頼した。							
2020 (R2)		継続	8,361冊	・購入及び寄贈などで収集するため、出版状況を確認したり、収集家等へ依頼した。市発行の行政資料については、関係各課に積極的に連絡をし資料の提供を依頼した。							
2021 (R3)		継続	8,389冊	・購入及び寄贈などで収集するため、出版状況を確認したり、収集家等へ依頼した。市発行の行政資料については、関係各課に積極的に連絡をし資料の提供を依頼した。							
2022 (R4)		継続	8,590冊	・購入及び寄贈などで収集するため、出版状況を確認したり、収集家等へ依頼した。市発行の行政資料については、関係各課に積極的に連絡をし資料の提供を依頼した。令和4年7月に1冊郷土資料の電子データ化を行い、中央図書館ホームページへ掲載した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価22 文化の家企画事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(2) 文化芸術による交流

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	文化芸術アウトリーチ事業【再掲】	市内の教育機関、各施設、福祉事業所等に赴いて、文化芸術による活動(演奏、ワークショップ、教室など)を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課		
				指標	体験型の活動数【単年】							
					基準値 (2018)	1回	目標値 (2023)	6回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	4回	・市内の小中学校にアーティストを派遣する「であーと」を行い、665人の生徒が参加した。創造スタッフが福祉施設22カ所(772人)、児童館など8カ所(647人)で実施した。	
2020 (R2)	継続	0回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、小中学校のアウトリーチはすべて中止した。	
2021 (R3)	継続	4回	中学校は全3校(484人)、小学校は6校中3校(435人)でアウトリーチを行った。福祉施設へは13カ所(390人)、児童館には4カ所(116人)訪問した。	コロナ禍による影響で実施回数が減少した。
2022 (R4)	継続	15回	・コロナ禍も緩和が進み、中学校3校、小学校6校、児童館6カ所でアウトリーチを行った。活動した会場は教室、体育館、武道場等で施設により様々であったが、その他にも交流を深めるために放送室、映像配信等、学校側と協力・工夫して交流を深めた。地元アーティストの生演奏やダンスを見て、アーティストの音楽やダンスへの想いを聞いたことで、いずれも芸術鑑賞体験として子どもたちにとって貴重な機会の提供となった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2021年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(2) 文化芸術による交流

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	2	文化芸術ワークショップ事業	文化芸術をまちづくりに生かすため、福祉、観光等の専門家と市民や利用者との意見交換の場を創出し、他部署と連携したワークショップやフォーラムを開催します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課		
				指標	連携して行う事業数【単年】							
					基準値 (2018)	1事業	目標値 (2023)	3事業				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	1事業	長寿課と連携して「オレンジクーテカフェ」にてアーティストを派遣(3回)した。	
2020 (R2)	継続	1事業	長寿課と連携して「ハーモニー体操」の映像収録にあたり、フランチャイズアーティストが演奏で参加した。	
2021 (R3)	継続	0事業	・国際交流協会と連携して、国際交流フェスタとワーテルロー音楽祭の共同企画を行ったが、コロナ禍の影響でアーティストが来日できず実施することができなかった。	
2022 (R4)	継続	3事業	・たつせがある課と共同して男女共同参画啓発事業として「歌と時代と男と女」という演奏付き講演会を企画、実施した。長寿課、長生学園と連携し、敬老事業のコンサートを企画、実施した。企画政策課、愛知県芸術大学、東京大学先端科学技術研究センターと連携して「ハイキングコンサート」や「てつがくカフェ」を企画、実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
行政評価22 文化の家企画事業
政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進
施策(2) 文化芸術による交流

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	アートのまち フェスティバル事業	文化の家をはじめとする各施設、ギャラリー等市内全域で行われるアートの祭典を、市民やアーティスト・大学等とのパートナーシップで運営します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課	
				指標	来場者数【単年】						
					基準値 (2018)	17,500人	目標値 (2023)	19,000人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	18,564人	・文化の家をはじめ市内のアトリエ、ギャラリー、カフェ、店舗などを会場として1か月にわたり美術作品の展示やワークショップが行われ、18,564人が来場した。							
2020 (R2)		継続	0人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、ながくてアートフェスティバルは中止し、展示会として創造スタッフによる「創造博」に留めた。							
2021 (R3)		継続	10,344人	・ながくてアートフェスティバルは、コロナ感染症対策の規制緩和によって開催することができた。ただ、不特定多数の人数が集まるアトリエマーケットやフリースペースで行われるパフォーミングアーツ等のイベントを中止したため、目標人数を達成することができなかった。							
2022 (R4)		継続	1,922人	・ながくてアートフェスティバルは市が主体となって開催してきたが、令和4年度は実行委員会が単独で市内各所を会場として開催することができた。実行委員会が自分たちで開催できるだけの力が育ってきている。（令和4年度の来場者数は実行委員会単独の開催であり、市として事業を実施していないため、計上されていない。なお、市が主催のながくてアートフェスティバルは隔年で開催していくこととなっている。（市主催でないときは実行委員会の単独開催）						令和4年度の来場者数は、ながくてアートフェスティバルとは別に開催した国際芸術祭ポップアップの来場者数を記載している。	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価22 文化の家企画事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(2) 文化芸術による交流

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	2	芸術鑑賞事業	質の高い舞台芸術が鑑賞・体験できる場や機会を、音楽、演劇、美術等多分野にわたり子どもから大人まで幅広く提供し、まちへの愛着や誇りを醸成します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課		
				指標	文化の家での学校鑑賞会開催回数【単年】							
					基準値 (2018)	開催 (隔年)	目標値 (2023)	年1回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	1回	・B'Rockオーケストラによる小学校鑑賞会を開催し、4校469人が参加した。	
2020 (R2)	継続	0回	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、学校鑑賞会は中止した。 ・子育て世代を対象にした事業や質の高い事業を多く計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、上半期はほぼ中止又は延期となり、下半期に開催が集中した。	
2021 (R3)	継続	0回	・学校鑑賞会は、コロナの影響により予定していたアーティストが来日できなかったため中止となった。コロナ禍の影響により中止となった公演がいくつかあった。その中で十分な感染症対策を講じ、客席数を限定してオンライン配信も行うなど、積極的な事業展開を行った。	
2022 (R4)	継続	1回	・学校鑑賞会には東京大学先端科学技術研究センター特任教授のヴァイオリニスト近藤薫氏を迎え、小学生に非常に質の高い演奏を体験してもらうことができたが1回の実施に留まった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価22 文化の家企画事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(2) 文化芸術による交流

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	3	アートスクール事業	文化の家の多機能性を活かした様々な分野の講座やワークショップを開催し、市民がアートを体験し、交流するためのきっかけづくりを行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課	
				指標	新規受講人数【累計】						
					基準値 (2018)	10人	目標値 (2023)	240人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	73人	・市民がみずから文化活動を行い交流するきっかけづくりとしてバレエ、絵画、ギター、戯曲など13講座を開講した。また、文化の家の多機能性を活かした他分野の講座を行った。							
2020 (R2)		継続	18人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年行っているアートスクール講座(12種)はすべて中止し、9月からオンライン講座を2種開講した。							
2021 (R3)		継続	54人	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年より開始時期が1か月遅れた。また、受講者を定員の半数として実施した。							
2022 (R4)		継続	42人	・新型コロナウイルス感染症に係る規制等が緩和され、受講率が令和3年度の52%から一定数回復した。 ・令和5年度から講座内容を一新するため、令和4年度に講座内容・開催時間・講座数・対象年齢等の検討を行った。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価22 文化の家企画事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(2) 文化芸術による交流

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	4	創造スタッフ 創造活動事業	創造スタッフとして、若手アーティストが文化の家事業の企画や制作に関わることで、キャリア形成を支援します。また、創造スタッフが高齢者施設での活動等において社会貢献につながる芸術活動ができるよう支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課		
				指標	社会貢献につながる取組を行うアーティストの人数【累計】							
					基準値 (2018)	0人	目標値 (2023)	7人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	1人	・長久手市文化の家フランチャイズアーティスト制度を導入した。また、長久手市文化の家福祉事業「ふくしであーと」等を実施した。	
2020 (R2)	継続	7人	・新型コロナウイルス感染症対策事業(青空コンサート)4回(75人+5台(車両の中から鑑賞))、舞台公演事業7回(814人)、企画展示事業1回(475人)、処方箋事業(ダンス公演)5回(5組)、オンライン動画作成8本を実施。 ・社会貢献事業として、支援の対象とする人々が文化芸術に触れる場を造るアウトリーチ等を実施。	
2021 (R3)	継続	6人	・おんぱく関連事業(3回)276人、舞台公演事業(8回)826人、企画展示事業(1回)545人、児童館デリバリー事業(4回)116人、社会貢献事業として、支援を必要とする人々が文化芸術に触れる場をつくるアウトリーチ等を実施した。	
2022 (R4)	継続	6人	・舞台公演事業(6回)718人、企画展示事業(2回)1,994人、児童館デリバリー事業(6回)240人実施し、市民に対して文化芸術に気軽に触れる機会を創出した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価22 文化の家企画事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(2) 文化芸術による交流

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	1	市民企画支援事業	市民が自ら企画提案した事業について、公益性が高い内容の事業を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課		
				指標	事業数【単年】							
					基準値 (2018)	1事業	目標値 (2023)	3事業				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	2事業	・実行委員会の人数が8人が主体となり、8月に行われた親子向けの上映会は143人、毎月光のホールで行われる鑑賞会は824人の入場があった。	
2020 (R2)	継続	1事業	・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、市民企画を担うシネマ倶楽部は下半期より活動を開始し、吹奏楽フェスティバルは中止となった。	
2021 (R3)	継続	2事業	・実行委員10人によるシネマ倶楽部は、コロナ感染症対策のため客席を半数にしながら毎月開催した。 ・無料公演は691人、有料公演は149人の入場があった。 ・吹奏楽フェスティバルは、無観客配信で開催し、1,251人の視聴があった。	
2022 (R4)	継続	2事業	・団体が自主的に市民企画を担うシネマ倶楽部は、月1回の無料上映会と2回の有料公演行い、コロナ対策として定員を半数(80名→40名)にして行った。 ・市民の実行委員会で運営される吹奏楽フェスティバルを無観客オンライン配信で行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 行政評価3 市役所周辺都市基盤施設整備事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(3) スポーツを楽しむ環境の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	市役所周辺 都市基盤施設整備事業 【再掲】	市役所利用者の利便性向上を目的として、慢性的な駐車場不足を解消するため、駐車場増設工事を行います。	行程	準備	準備	準備	着手・完了	—	企画政策課	
				指標	—						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・庁内組織による横断的な検討を行い、長久手市スポーツ施設等整備計画に反映した。							
2020 (R2)		準備	—	・駐車場拡充のため、用地交渉を行った。また、土地収用法に基づく事業認定申請に向けて、愛知県用地課と調整を行った。							
2021 (R3)		準備	—	・愛知県に土地収用法に基づく事業認定申請をし、認定告示を得た。 ・土地売買契約1件、物件転移補償契約2件を締結した。							
2022 (R4)		着手・完了	—	・土地売買契約1件及び増設工事を行い、令和5年1月6日から来庁者及び職員駐車場として供用を開始した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 行政評価

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(3) スポーツを楽しむ環境の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	スポーツの杜 再整備事業	借地となっている長久手スポーツの杜用地を公有地化し、市内に点在する屋外スポーツ施設の集約化も考慮して再整備を行うことで、スポーツを楽しむ環境を整備します。	行程	—	—	準備	準備	準備	生涯学習課	
				指標	スポーツ施設整備数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)		準備	—	・スポーツの杜用地について不動産鑑定評価業務を実施した。						2021年度版新規事業	
2022 (R4)		準備	—	・令和5年度委託予定の業務内容についての精査を行った。						事業名変更 旧：スポーツの杜用地事業	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価25 総合型スポーツクラブ運営事業

政策1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(3) スポーツを楽しむ環境の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	総合型地域スポーツクラブ事業【再掲】	子どもから高齢者まで、さまざまな人がスポーツと触れあうことができるスポーツクラブを市民や地域が主体となって運営していきます。	行程	準備	準備	準備	見直	見直	生涯学習課	
				指標	地域や市民が主体となった運営組織【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	1組織			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	0組織	・自主組織の形成に向け市民との意見交換を4回行った。							
2020 (R2)		準備	0組織	・関係者と意見交換を行い、事業の方向性について検討を行った。							
2021 (R3)		準備	0組織	・関係者と意見交換を行い、事業の方向性について検討を行った。							
2022 (R4)		見直	0組織	・市の体育施設等は、令和5年度から指定管理者制度を導入することから、これまで市が主催してきたスポーツ教室に「がんばらっせ長久手スポーツクラブ」教室を統合して、指定管理者がスポーツ教室を引き継いで行うこととした。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 行政評価

政策2 観光交流まちづくりの推進

施策(1) 観光交流スタイルの確立

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	リニモテラス 整備事業 【再掲】	リニモ長久手古戦場 駅前に、市民の日常 の暮らしを支え、市民 主体が主体となって訪 れる人をもてなす取組 を提供する「リニモテ ラス公益施設(仮称)」 を整備します。	行程	準備	着手	完了	—	—	たつせが ある課	
				指標	施設数				1施設		
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)				
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	0施設	・リニモテラス運営協議会が主体となって、月2回程 度のミーティングを行い、リニモテラス公益施設の 設計及び管理運営案を検討した。							
2020 (R2)		着手	1施設	・リニモテラス建築工事に着手し、令和3年3月に完 成した。施工中には、土壁塗り、フローリング施工、 外壁の杉板張り等のワークショップを3回実施し、 延べ68人が参加した。 ・中央2号公園グレードアップ設計ワークショップを3 回実施し、延べ131人が参加した。							
2021 (R3)		完了	1施設	・リニモテラス公益施設の開館に必要な事務備 品等を購入した。							
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価9 リリモテラス事業

政策2 観光交流まちづくりの推進

施策(1) 観光交流スタイルの確立

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	2	リリモテラス にぎわい創出 事業	「リリモテラス公益施設(仮称)」をはじめリ リモ長久手古戦場駅 北側のリリモテラスに おいて、市民の新たな つながりをつくるため に、市民が主体となっ てにぎわいを創出する 事業を行います。	行程	継続	継続	完了	—	—	たつせが ある課		
				指標	イベント実施回数【単年】							
					基準値 (2018)	8回	目標値 (2021)	50回				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	12回	・リリモテラス運営協議会が主体となって、合計3回のPRイベントを行ったほか、自らの活動を自分ごとにするためクリーンアップ作戦を9回開催し、延べ1,410人が参加した。	
2020 (R2)	継続	4回	・公益施設開館に向けて事業運営を考えるワークショップを2回開催し、延べ25名が参加した。 ・これまでリリモテラス建設に関わってきた団体等が担い手となって、実証実験イベントを開催し、300名が参加した。 ・リリモテラス上棟イベントを開催し、150名が参加した。	
2021 (R3)	完了	79回	・開館後、コロナ対策を施しながら、指定管理者と運営協議会が連携して実施する指定管理事業として、観光交流協会による「観光案内所」運営や国際交流協会による「集いの広場」を継続的に実施した。 ・夏まつりなどの季節ごとの連携イベントを市民参加型企画として実施した。実施にあたっては協議会メンバーや学生など多数の市民が事業運営に関わった。(1,025人)	令和4年度以降は、「リリモテラス公益施設管理事業」へ統合
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価9 リリモテラス事業

政策2 観光交流まちづくりの推進

施策(1) 観光交流スタイルの確立

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	3	リリモテラス 公益施設管 理事業	令和3年6月にオープンするリリモテラス公益施設において、指定管理者制度による新たな管理者と市民活動団体が、公民連携による適切な管理運営を行うことで、新たなつながりと賑わいを創出します。	行程	—	—	実施	継続	継続	たつせが ある課	
				指標	リリモテラス公益施設来館者数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	6万人			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)				
2021 (R3)	実施	21,326人	・開館後、コロナ対策（開館時間の短縮など）を施しながら、施設の運営を行った。 ・指定管理事業として、観光交流協会による「観光案内所」運営や国際交流協会による「集いの広場」を継続的に実施した。 ・夏まつりなどの季節ごとの連携イベントも市民参加型企画として実施した。 ・自主事業として親子向けの工作教室や演奏会などを実施した。	2021年度新規事業
2022 (R4)	継続	36,408人	・NIA集いの広場、夏祭り子ども縁日、市内大学学生WS等229回のイベントを実施した。 - 市民活動の活躍・発信の場としても認知されてきたことから、事業におけるプレイヤー（活用主体）が増加してきた。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪 行政評価12 観光交流推進事業

政策2 観光交流まちづくりの推進

施策(1) 観光交流スタイルの確立

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	観光交流協会支援事業	長久手市観光交流協会が行う、観光PRやイベント実施、交流の場の創出、新たな地域資源の発掘等、長久手市ならではの魅力的な観光交流まちづくりの実現のために必要な事業を支援します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせがある課	
				指標	新規事業の実施件数【累計】						
					基準値 (2018)	0件	目標値 (2023)	14件			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		継続	2件	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となって新規事業として、「長久手ふるさとカルタ大会」、「地域ブランディングシンポジウム」を開催した。							
2020 (R2)		継続	3件	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となって新規事業として、観光交流センターを開所するとともに、藤が丘商店街振興組合との連携及び市域内周遊観光商品開発の検討をした。							
2021 (R3)		継続	7件	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となって新たな観光ガイドブックの作成や新たな「お土産品」の開発、令和3年6月に開館したリニモテラス公益施設内での観光案内所など事業を展開し、市の観光PRや会員交流事業などを行った。							
2022 (R4)		継続	13件	・ジブリパークの開園及びNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映がトピックとして上げられていたため、これを活用した事業(長久手楓まつり、観光交流協会HPの刷新等)及び昨年度からの事業から発展させるような事業(外国人向けお土産品パッケージ開発)を展開した。 ・モリコロパーク西口での観光案内所事業等新規事業を実施した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価

政策2 観光交流まちづくりの推進

施策(1) 観光交流スタイルの確立

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	2	地域ブラン ディング事業	長久手市観光交流協 会が中心となり、既存 の地域資源の磨き上 げや資源発掘を行 い、それらを生かした 特産品の開発等、「長 久手市ならではの」特 長を生かした観光PR のための事業を行 います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課		
				指標	新規事業の実施件数【累計】							
					基準値 (2018)	0件	目標値 (2023)	9件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	3件	・文化の家、(一社)長久手市観光交流協会と連携し、ベルギーナイト、光の切り絵、地域ブランディングシンポジウムを開催し、延べ1,892人参加した。	
2020 (R2)	継続	7件	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となり、光の切り絵、遊学講座等を開催し、延べ3,303人参加した。	
2021 (R3)	継続	8件	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となり、観光案内所の運営や長久手御朱印・史跡コレクションを開催し、延べ1,693人が参加した。	
2022 (R4)	継続	8件	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となり、長久手楓まつり2022を開催し、約3,000人が参加した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価7 地域間交流事業

政策2 観光交流まちづくりの推進

施策(1) 観光交流スタイルの確立

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
エ	1	地域間交流 事業	他自治体と地域間を 超えた連携を行い、特 に長野県南木曾町、 兵庫県宝塚市との観 光・歴史・文化的資源 を生かした市民間及 び自治体間の交流を 推進します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課		
				指標	自治体間相互訪問及び交流件数【累計】							
					基準値 (2018)	3件	目標値 (2023)	5件				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	4件	・南木曾町との交流事業として市内施設相互利用優待制度、姉妹都市受入事業、ながくて市民まつり参加、文化文政参加を行った。	
2020 (R2)	継続	1件	・南木曾町との交流事業として市内施設相互利用優待制度を実施した。 ・長久手市内での南木曾町物産展開催に向けた調整を行っていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止した。	
2021 (R3)	継続	2件	・南木曾町の交流事業として、相互市町観光PR事業（パンフレット設置等）、長久手市出産祝い事業を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況をふまえ、相互訪問は実施せず相互間の意見交換のみに留めることとした。	
2022 (R4)	継続	5件	・南木曾町の交流事業として、相互市町観光PR事業（パンフレット設置等）、長久手市出産祝い事業を行った。また、（一社）長久手市観光交流協会が主催する長久手楓まつりへ出店してもらい、南木曾町の特産品（木工、五平餅等）のワークショップや販売等を通じて同町のPRをすることができた。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

行政評価12 観光交流推進事業

政策2 観光交流まちづくりの推進

施策(2) 魅力が広がる情報発信

項目	事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
1	観光PR事業	SNSをはじめとする 様々な情報媒体を活 用し、関係各課と連携 をしながら長久手市観 光交流協会を主体とし た事業を行い、観光交 流情報の効果的かつ 積極的な情報発信を 行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	たつせが ある課			
			指標	観光交流情報発信事業数【単年】								
				基準値 (2018)	14事業	目標値 (2023)	25事業					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	19事業	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となって「長久手春まつり」「光の切り絵」、長久手ふるさとカルタ大会、ベルギーナイト等、合計19事業を実施した。	
2020 (R2)	継続	18事業	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となって、光の散歩路、遊学講座、スタイル講座等、合計18事業を実施した。	
2021 (R3)	継続	20事業	・(一社)長久手市観光交流協会が主体となって、長久手観光ミニマップ新規作成、長久手市観光交流ガイドブック新規作成等、合計20事業を実施した。	
2022 (R4)	継続	16事業	・ジブリパークの開園及びNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映がトピックとして上げられていたため、これを活用した事業(長久手楓まつり、観光交流協会HPの刷新等)及び昨年度からの事業から発展させるような事業(外国人向けお土産パッケージ開発)を展開した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(1) 公共交通の利便性の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	高齢者等乗 合タクシー事 業	自宅に閉じこもりがち であったり、日常生活 において移動に支障 のある高齢者、運転 免許証返納者等の移 動支援策として、乗合 タクシーの導入に向け た実証実験を行い、検 証をふまえて本格運 行を目指します。	行程	準備	見直	—	—	—	長寿課	
				指標	乗合タクシー実利用人数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	184人	・2018年度に実施した実証実験の仕様を見直し、 40日間実証実験を実施した。							
2020 (R2)		見直	—	・平成30年度及び令和元年度の実証実験結果を 検証し、高齢者等乗合タクシー事業を本格導入し ないことを決定した。							
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価2 公共交通事業

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(1) 公共交通の利便性の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	公共交通ネットワーク構築事業	長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通の構築します。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	企画政策課		
				指標	市内各公共交通の利用者数【単年】							
					基準値 (2018)	5, 140千人	目標値 (2023)	4, 364千人				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	5,040千人	・公共交通の利用促進事業として、市民有志による「公共交通応援隊キッズイベントグループ」主催の公共交通交流会を実施した。	
2020 (R2)	継続	2,860千人	・公共交通の利用促進事業として、市民有志による「公共交通応援隊キッズイベントグループ」主催の公共交通交流会を実施した。 ・第2次長久手市地域公共交通網形成計画に基づき、長久手市公共交通マップの更新を行った。	
2021 (R3)	継続	3,912千人	・公共交通の利用促進事業として、市民有志による「公共交通応援隊キッズイベントグループ」主催の公共交通交流会を実施した。	
2022 (R4)	継続	4,615千人	・公共交通応援隊キッズイベントグループが、令和4年8月に市内児童館6箇所で子ども向けイベントを開催した。合計222人の子どもが参加し、公共交通の啓発を行った。 ・新たな取組として、N-バスの啓発のため市役所庁舎内にカプセルトイを設置し162個を販売した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価14 巡回バス運行事業

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(1) 公共交通の利便性の向上

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	巡回バス運行再編事業	N-バスの運行を継続し、引き続き市民のための公共交通となるよう、路線の見直しや運賃の改定を行います。	行程	準備	準備	実施	継続	継続	安心安全課	
				指標	N-バス利用者数【単年】						
					基準値 (2018)	260, 513人	目標値 (2023)	189, 700人			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		準備	225,010人	・令和3年4月のN-バス再編に向けて方針案の作成を行った。							
2020 (R2)		準備	153,000人	・パブリックコメントを実施し、令和3年4月のN-バス再編を行った。							
2021 (R3)		実施	138,000人	・令和3年4月1日にルート及びダイヤ再編を行った。また、令和4年4月1日料金体系の見直しに向けて検討を行い、利用者へアンケート等を行い、意見把握に努めた。							
2022 (R4)		継続	132,734人	・令和4年4月1日料金改定を行い、フリーパス券、回数券及び無料乗車券の導入を行った。					収支率 令和3年度3.1% 令和4年度6.9%		
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	1	下川原下山1号線整備事業	人口の増加が見込まれる下山地区及び西原山地区の住民が安心・安全に通行できるよう、下山交差点から下山橋まで東側歩道を連続的に整備します。	行程	準備	準備	準備	準備	準備	土木課		
				指標	整備延長【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	—	・事業を実施するために、関係機関との協議を行った。	
2020 (R2)	準備	—	・事業を実施するために、関係機関との協議を行った。	
2021 (R3)	準備	—	・1件の用地を取得した。	
2022 (R4)	準備	—	・事業を実施するために、関係機関との協議を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	2	浮江隅田2号線外拡幅事業	将来交通量増加に対応して、現況道路から歩車道分離を行い歩行者交通の安全確保を図ることを目的とし、安全で快適な道路を整備します。	行程	準備	準備	準備	準備	準備	土木課		
				指標	整備延長【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	—	・白針交差点から立石池南交差点までの補償調査を行った。	
2020 (R2)	準備	—	・2件の用地を取得した。	
2021 (R3)	準備	—	・3件の用地を取得した。	
2022 (R4)	準備	—	・2件の用地を取得した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	3	岩作中根外 新設歩道整 備事業	歩行者交通の安全確保のため、岩作中根地区において水路部を活用した歩行空間の整備を行います。	行程	完了	—	—	—	—	土木課		
				指標	整備延長【累計】							
					基準値 (2018)	30m	目標値 (2019)	115m				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	完了	115m	・岩作中根外新設歩道の整備を85m行い、事業を完了した。	
2020 (R2)				
2021 (R3)				
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	4	雁又泥亀首1号線道路改良事業	愛知県の基幹災害拠点病院に位置付けられている愛知医大病院へのアクセス道路として、円滑な交通確保を確保するため道路改良工事を行います。	行程	準備	準備	準備	準備	着手・完了	土木課		
				指標	整備延長【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	260m				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	—	・道路改良事業に係わる測量(予備)設計を行った。	
2020 (R2)	準備	—	・道路改良事業に係わる測量(予備修正)設計を行った。	
2021 (R3)	準備	—	・道路改良事業に係わる詳細設計を行った。	
2022 (R4)	準備		・事業実施のため、関係機関との協議を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	5	神門前大日1号線道路改良事業	公園西駅周辺地区北側外周道路と接続する交差点部の線形を見直し、安全で円滑な交通を確保します。	行程	準備	着手・完了	—	—	—	土木課	
				指標	交差点改良数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	1箇所			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	準備	0箇所	・必要な用地取得にかかる不動産鑑定評価を行った。								
2020 (R2)	着手・完了	1箇所	・交差点改良を行い、横断歩道を設置した。								
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価48 道路維持管理事業

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ア	6	未舗装道路 修繕事業	未舗装による埃や轍掘れによる路面の凹凸等の発生を解消するため、立花3号線外10路線の計画的な舗装整備を行います。	行程	継続	—	完了	—	—	土木課		
				指標	整備延長【累計】							
					基準値 (2018)	300m	目標値 (2021)	960m				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	700m	・岩作中縄手地内外未認定道路(79m)、前熊堀越地内未認定道路(214m)の舗装整備を行った。	
2020 (R2)	—	700m	—	
2021 (R3)	完了	960m	・前熊堀越地内未認定道路(260m)の舗装整備を行った。	
2022 (R4)				
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	岩作旧市街地狭隘道路整備事業【再掲】	岩作地区生活道路整備基本計画に沿って、緊急車両の通行が困難な狭隘道路を解消するため、東島2号線の拡幅工事を行います。	行程	準備	着手	継続	継続	完了	土木課	
				指標	整備延長【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	308m			

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	準備	—	・東島2号線拡幅工事の詳細設計を行った。	
2020 (R2)	着手	30m	・東島2号線の拡幅工事(30m区間)を行った。	
2021 (R3)	継続	70m	・東島2号線の拡幅工事(単年40m区間)を行った。	
2022 (R4)	継続	86m	・東島2号線の拡幅工事(単年174m区間のうち158mは北側のみ拡幅)を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策1 外出しやすい環境の整備

施策(2) 安心して移動できる道路の整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
ウ	2	中根狭隘道路対策事業【再掲】	狭隘道路による通行の支障や排水の民地流入を解消するため、中根1号線外の排水路の変更と道路拡幅工事を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	土木課		
				指標	拡幅延長【単年】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	—	・新たな排水経路を確保するため、用地買収と排水路設置工事を行った。	
2020 (R2)	継続	—	・事業を実施するために、関係機関との協議を行った。	
2021 (R3)	継続	—	・詳細設計を行った。	
2022 (R4)	継続	—	・事業を実施するために、用地交渉を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(1) リニモ沿線の市街地整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	長久手中央 土地区画整 理事業	都市機能が集積する複合拠点を含めた新たな都市核の形成を目的として、長久手中央地区において実施する土地区画整理事業について土地区画整理組合との事業調整及び支援を行います。	行程	継続	継続	継続	完了	—	区画整理課	
				指標	事業費進捗率【累計】						
					基準値 (2018)	71%	目標値 (2022)	100%			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	96%	・事業計画に定められた公共施設(通水路等)の整備を実施した。 ・公開抽選等による保留地処分を実施した。							
2020 (R2)		継続	100%	・公共施設整備が完了した。 ・全ての保留地を処分した。						事業の進捗状況を考慮し、事業施工期間を3年延伸したため「継続」に変更した。	
2021 (R3)		継続	100%	・換地処分をした。							
2022 (R4)		完了	100%	・組合を解散した。						令和5年4月21日終了。	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(1) リニモ沿線の市街地整備

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
イ	1	公園西駅周辺地区土地 区画整理事業(市街地整備)	公園西駅周辺地区において、土地区画整理事業により、道路や駅前広場の整備、リニモやN-バスとの交通結節機能の充実により魅力ある都市拠点の形成に取り組むとともに、市街地整備を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	完了	区画整理課			
				指標	事業費進捗率【累計】								
					基準値 (2018)	77%	目標値 (2023)	100%					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	95%	・先導住宅街区整備工事、2号公園整備工事、1号調整池上部整備工事、2号調整池修景工事、香流川緑地整備工事等を実施した。	
2020 (R2)	継続	98%	・先導住宅街区整備工事、道路植栽工事、街区宅地造成工事、香流川緑地整備工事等を実施した。	
2021 (R3)	継続	99%	・香流川整備工事、植栽等維持管理工事等を実施した。	
2022 (R4)	継続	100%	・サイン施設設置工事、1号公園管理工事等を実施した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価3 市役所周辺都市基盤施設整備事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	市役所周辺 都市基盤施 設整備事業 【再掲】	市役所利用者の利便 性向上を目的として、 慢性的な駐車場不足 を解消するため、駐車 場増設工事を行いま す。	行程	準備	準備	準備	着手・ 完了	—	企画政策 課	
				指標	—						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・庁内組織による横断的な検討を行い、長久手市 スポーツ施設等整備計画に反映した。							
2020 (R2)		準備	—	・駐車場拡充のため、用地交渉を行った。また、土 地収用法に基づく事業認定申請に向けて、愛知県 用地課と調整を行った。							
2021 (R3)		準備	—	・愛知県に土地収用法に基づく事業認定申請をし、 認定告示を得た。 ・土地売買契約1件、物件転移補償契約2件を締結 した。							
2022 (R4)		着手・完了	—	・土地売買契約1件及び増設工事を行い、令和5年 1月6日から来庁者及び職員駐車場として供用を開 始した。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	1	下山土地区画整理事業	優れた立地条件を生かした新たな住宅地の形成を目的として、下山地区において実施する土地区画整理事業について、土地区画整理組合との事業調整及び支援により、事業の着実な進捗を図ります。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	区画整理課	
				指標	事業費進捗率【累計】						
					基準値 (2018)	58%	目標値 (2023)	96%			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	77%	・道路築造工事を実施した。 ・保留地3区画を分譲開始し2区画売却した。							
2020 (R2)		継続	81%	・道路築造工事を実施した。 ・保留地4区画を売却した。							
2021 (R3)		継続	84%	・道路築造工事を実施した。 ・保留地1区画を売却した。							
2022 (R4)		継続	90%	・保留地1区画売却し、全ての保留地が売却された。 ・道路築造工事を実施し、全ての公共施設が整備された。また公共施設は全て市に移管された。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	1	卯塚墓園整備事業	市営卯塚墓園使用の需要に応じるとともに、美観を呈する緑地公園として体裁を保持し、墓参しやすい環境を整えるため、墓園拡張整備を行います。	行程	継続	継続	—	—	継続	環境課	
				指標	①芝生墓所設置数 ②樹木型合葬式墓所設置数						
					基準値 (2018)	①645区画 ②1基	目標値 (2023)	①645区画 ②2基			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・第2期工事に係る実施設計を行った。							
2020 (R2)		継続	100%	・令和3年2月に第2期工事が完了した。							
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	2	長湫中部1号 緑地整備事業 【再掲】	災害発生時における 避難地、避難路として の機能を、長湫中部1 号緑地に再整備しま す。	行程	着手・ 完了	—	—	—	—	みどりの 推進課	方向性Ⅲ
				指標	公園再整備面積【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2019)	0. 66ha			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		着手・完了	0.66ha	・長湫中部1号緑地の整備を完了した。							
2020 (R2)											
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ウ	3	公園西駅周辺地区環境配慮型まちづくり事業(公園)	公園西駅周辺地区の公園を整備します。	行程	着手	—	完了	—	—	区画整理課	
				指標	公園整備箇所数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	2箇所			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	着手	1箇所	・2号公園の整備を完了した。 ※1号公園は2021年度工事予定								
2020 (R2)	—	1箇所	—								
2021 (R3)	完了	2箇所	・1号公園の整備を完了した。								
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち
政策2 暮らして心地よい生活環境の形成
施策(2) 都市基盤施設の充実

行政評価61 下水道事業

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
オ	1	下水道整備事業	長久手市公共下水道事業計画区域882haを計画的に整備します。	行程	継続	継続	継続	完了	—	下水道課	
				指標	整備率【累計】						
					基準値 (2018)	85%	目標値 (2022)	90.6%			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	90.3%	・管渠はL=1,787m、41.76haを整備した。							
2020 (R2)		継続	90.4%	・管渠はL=503.2m、1.29haを整備した。							
2021 (R3)		継続	90.6%	・管渠はL=637.2m、1.51haを整備した。							
2022 (R4)		完了	91.6%	・下水道本管をL=38.1m(整備面積 A=0.42ha)整備したこと等により整備率が91.6%になった。						未整備区域の整備は検討中のため、令和5年度には行わず、事業完了となる。	
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
オ	2	北浦杣ノ洞地区排水路整備事業	瀬戸市境の北浦・杣ノ洞地区について、新たに排水路用地を確保し、排水路を確保することにより適正な維持管理を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	土木課		
				指標	整備延長【累計】							
					基準値 (2018)	105m	目標値 (2023)	476m				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	105m	・引き続き排水路整備工事を行った。	
2020 (R2)	継続	193m	・引き続き排水路整備工事を行った。	
2021 (R3)	継続	—	・次年度からの準備として、不動産鑑定及び用地取得を行った。	
2022 (R4)	継続	269m	・引き続き排水路整備工事を行った。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価51 公園管理事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
力	1	公園長寿命 化事業	長久手市公園長寿命 化計画に沿って公園 施設の長寿命化工事 を行います。	行程	継続	継続	継続	＝	＝	みどりの 推進課	
				指標	長寿命化工事を実施した公園数【単年】						
					基準値 (2018)	－	目標値 (2023)	＝			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	5公園	・大平公園(ブランコ)、仲作田公園(ブランコ・パー ゴラ)、猪洞公園(ブランコ・パーゴラ)、喜婦嶽公園 (ブランコ)、戸田谷公園(ブランコ)の更新を行っ た。							
2020 (R2)		継続	3公園	・上川原公園(鉄棒)、西洞公園(ブランコ)、東浦公 園(健康遊具(懸垂))の更新を行った。							
2021 (R3)		継続	10公園	・後山公園(スイング遊具2箇所)、段ノ上公園(複合遊 具)、鴨田公園(ブランコ)、野田農公園(ブランコ、滑り 台)、坊ノ後公園(複合遊具)、桧ヶ根公園(健康遊具、 鉄棒、スイング遊具)、仏ヶ根公園(ブランコ)、中根公園 (ブランコ、シーソー)、前熊公園(シーソー)、三ヶ峯公 園(ブランコ、太鼓橋)の更新を行った。							
2022 (R4)		継続	－	－							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価46 道路維持管理事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
カ	2	橋梁長寿命 化事業	橋梁長寿命化計画に 基づき、溝下橋外21 橋梁の長寿命化工事 及び耐震化工事を行 います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	土木課	
				指標	修繕橋梁数【2019年度～2023年度累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	22橋			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	継続	4橋	・修繕計画に基づき、橋梁の修繕工事を実施した。								
2020 (R2)	継続	9橋	・修繕計画に基づき、橋梁の修繕工事を実施した。								
2021 (R3)	継続	10橋	・修繕計画に基づき、橋梁の修繕工事を実施した。								
2022 (R4)	継続	10橋	・橋梁長寿命化修繕計画の策定及び橋梁修繕工 事の実施設計を行った。								
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価62 建設改良事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
カ	3	下水道施設 長寿命化事業	計画的に長久手浄化センターの改築、更新を行い、持続可能な下水道機能を確保します。	行程	継続	継続	—	継続	継続	下水道課	
				指標	工事進捗率【累計】						
					基準値 (2018)	1.7%	目標値 (2023)	28.2%			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	継続	14.5%	長寿命化計画に基づき、長久手浄化センター改築更新工事を令和元年、2年の2カ年工事を実施。								
2020 (R2)	継続	22.5%	・長久手浄化センターの沈砂池及び管理棟の長寿命化工事を行った。								
2021 (R3)	—	22.5%	・長久手市下水道ストックマネジメント計画を策定した。								
2022 (R4)	継続	22.6%	・長久手市下水道事業ストックマネジメント計画に基づき実施設計業務を行った。								
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価26 杣ヶ池公園事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
カ	4	杣ヶ池公園改修事業	供用開始から35年以上経過し、老朽化がみられる杣ヶ池公園(杣ヶ池体育館含む)について、利用者の利便性を高めるための大規模改修を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	生涯学習課		
				指標	改修完了箇所数【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	＝				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	継続	7.7%	・杣ヶ池体育館アリーナ内の床、天井、照明、ブラインド等改修及び杣ヶ池体育館ガラス飛散防止フィルム貼りを実施した。	指標は工事進捗率【累計】
2020 (R2)	継続	8.9%	・杣ヶ池体育館外壁タイル補修、エントランスストップライト補修、杣ヶ池体育館アリーナサッシ改修を行った。	指標は工事進捗率【累計】
2021 (R3)	継続	0施設	・杣ヶ池体育館のキュービクル設備、自家発電設備、高圧気中開閉器(SOG)更新等を行った。	指標は改修完了施設数【累計】 指標変更理由:工事進捗率を指標とすると、材料費高騰等により分母(改修予定工事費)が変動してしまい指標としてふさわしくないことから改修完了施設数に変更した。
2022 (R4)	継続	1施設	・杣ヶ池体育館の東出入口土間改修工事及び排烟窓改修工事を行った。	指標は改修完了施設数【累計】 事業名変更 旧:「既存スポーツ施設長寿命化事業」
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
力	5	福祉の家大規模修繕事業	福祉の家の老朽化や機械設備の更新に対応するため、大規模修繕工事を行います。	行程	準備	見直	—	—	—	長寿課	
				指標	施設数						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	準備	—	・再整備にかかる基本計画を策定した。								
2020 (R2)	見直	—	・駐車場台数不足を解消するため、用地を購入し駐車場整備を行った。 ・企画政策課にて公民連携可能性調査に着手した。								
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価46 道路維持管理事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
力	6	舗装修繕事業	舗装損傷が著しい石田高山2号線外7つの幹線道路について、損傷程度から優先順位を付け、順次修繕工事を行います。	行程	継続	継続	継続	継続	継続	土木課	
				指標	整備延長【2019年度～2023年度累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	1,505m			
進捗状況											
年度	状況	成果	取組内容						備考		
2019 (R1)	継続	704m	・舗装修繕計画に基づき、舗装修繕工事を行った。								
2020 (R2)	継続	849m	・舗装修繕計画に基づき、舗装修繕工事を行った。								
2021 (R3)	継続	1,096m	・舗装修繕計画に基づいて舗装修繕工事を行った。								
2022 (R4)	継続	1,219m	・舗装修繕計画に基づいて修繕工事を行った。								
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
カ	7	文化の家整備事業(一部改修)	平成28年度から平成29年度にかけて実施した文化の家大規模改修事業の内、実施を見送った、舞台照明改修工事及び舞台監視カメラ改修工事を実施することで、文化芸術による交流のための環境整備を行います。	行程	—	—	—	準備	準備	生涯学習課		
				指標	改修施設数							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	—				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)				
2021 (R3)	—	—	—	2021年度版新規事業
2022 (R4)	準備	—	・文化の家特定天井改修工事基本設計業務委託契約を締結した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価52 緑道管理事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策		
カ	8	せせらぎの径 修繕事業	せせらぎの径において、水量施設等の施設再整備を行います。	行程	—	—	準備	準備	着手	みどりの 推進課			
				指標	整備延長【累計】								
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	350m					

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)				
2020 (R2)				
2021 (R3)	準備	—	・上半期に調査・検討委託を発注した。	2021年度版新規事業
2022 (R4)	準備	—	・せせらぎの径上部利用の検討として、都市計画課の景観啓発事業を活用し、学生主催(事務局の学生4名)のワークショップを実施した。当日は、約170人の参加者があった。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

--

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(2) 都市基盤施設の充実

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
カ	9	中央2号公園 改修事業	令和3年6月のリニモテラス公益施設の開館に合わせて、隣接する長久手中央2号公園のグレードアップ(再整備)を行います。ウィズコロナに対応した公園の「新たな使い方」を検討し、「使いながら作る」という視点をもって、必要な整備を行います。	行程	準備	準備	着手・完了	—	—	たつせがある課	
				指標	施設数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	1箇所			
進捗状況											
年度	状況		成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)	着手・完了		1箇所	・施工ワークショップを合計2回行い、10名(植樹)、18名(ペンキ塗り)の参加があった。						2021年度版新規事業	
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らし心地よい生活環境の形成

施策(3) 良好な住環境の形成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
ア	1	景観計画策 定事業 【再掲】	長久手らしい魅力ある 景観まちづくりを推進 するため、景観計画及 び計画に則した条例 を制定します。	行程	継続	完了	—	—	—	都市計画 課	方向性Ⅲ
				指標	計画策定・条例制定						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	計画策定・条例制定			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		継続	—	・景観計画案の作成を行うために市民ワークショップ3回、職員検討会3回、景観計画策定委員会4回、パブリックコメント等を行い、延べ377人が参加した。							
2020 (R2)		完了	計画策定・条例制定	・令和2年4月6日から景観計画案の周知を行い、令和2年10月2日に景観条例を制定後、一部施行し、令和3年1月1日に景観計画の策定及び景観条例の全施行を行った。							
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(3) 良好な住環境の形成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策	
イ	1	道路緑化整備事業【再掲】	主要地方道名古屋長久手線、県道岩作諸輪線、主要地方道力石名古屋線において、街路樹の再整備を行います。	行程	着手	継続	—	完了	—	みどりの推進課	方向性Ⅲ	
				指標	整備延長【累計】							
					基準値 (2018)	—	目標値 (2022)	2, 350m				

進捗状況

年度	状況	成果	取組内容	備考
2019 (R1)	着手	860m	・主要地方道名古屋長久手線の再整備は完了した。また、県道岩作諸輪線の途中まで再整備完了した。	
2020 (R2)	継続	1,841m	・県道岩作諸輪線の昨年度未実施区間及び主要地方道力石名古屋線の再整備を行い、対象路線全線の再整備が完了した。	施工範囲について、減変更としたため、2020年度版完了としていたが、施工箇所を再検討し、拡大したため「継続」に変更した。
2021 (R3)	—	—	・施工範囲について主要地方道力石名古屋線への拡大を検討した。	
2022 (R4)	完了	2,346m	・主要地方道力石名古屋線の再整備が完了した。	
2023 (R5)				

前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(3) 良好な住環境の形成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	2	公園西駅周辺地区土地 区画整理事業(街路樹) 【再掲】	都市計画道路公園西 駅南通り線において、 街路樹の植栽を行います。	行程	準備	着手・ 完了	—	—	—	区画整理 課	方向性Ⅲ
				指標	整備延長【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2020)	288m			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)		準備	—	・街路樹整備については景観形成と環境配慮型まちづくりに寄与する樹種選定等を行った。							
2020 (R2)		着手・完了	288m	・公益財団法人日本さくらの会から苗木の提供を受け、植樹作業を市民参加型イベントとして、カワヅザクラ38本を植樹した。							
2021 (R3)											
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価50 土木事務事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(3) 良好な住環境の形成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	3	街路樹市民 管理事業	アダプト制度を活用し、街路樹の清掃、除草、水やり及び損傷等の情報提供について、市民の力を借り、適正な管理を行います。	行程	実施	継続	継続	継続	継続	みどりの 推進課	方向性Ⅲ
				指標	市民管理団体数【単年】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	7団体			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容					備考		
2019 (R1)		実施	2団体	・街路樹市民管理制度のモデル団体が活動を実施した。							
2020 (R2)		継続	1団体	・街路樹市民管理制度のモデル団体として、1団体が活動を実施している。							
2021 (R3)		継続	4団体	・街路樹市民管理制度のモデル団体として、4団体が活動を実施している。							
2022 (R4)		継続	12団体	・令和4年7月から、上級者制度及び初級者制度を設け、ハードルを下げた本格運用を開始した。ホームページや広報にて周知を行い、登録者数の増加に努めている。 ・愛知県の承認を受け、グリーンロード沿い企業16社を周り、参加を呼びかけた。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価52 緑道管理事業

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(3) 良好な住環境の形成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	4	香流川緑地 整備事業 【再掲】	香流川前熊橋周辺に おいてポケットパーク の整備を行います。	行程	—	—	準備	準備	着手・ 完了	みどりの 推進課	方向性Ⅲ
				指標	整備をした施設数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2023)	1施設			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)		準備	—	・ワークショップやアンケートを実施し、実際に利用 する地域住民の意見を取り入れ、ポケットパークの 設計を進めた。						2021年度版新規事業	
2022 (R4)		準備	—	・令和5年度に工事を行うため準備を進めた。							
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。

前期アクションプラン 2022年度末時点進捗状況

基本目標6 あえて歩いてみたくなるまち

行政評価

政策2 暮らして心地よい生活環境の形成

施策(3) 良好な住環境の形成

項目		事業名	事業概要		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	担当課等	主要施策
イ	5	香流川植栽整備事業【再掲】	「香流川整備計画」に基づき、香流川中上流域における、香流川植栽整備を行い、木陰とうるおいのある水辺空間を整えます。	行程	—	—	着手・完了	—	—	みどりの推進課	方向性Ⅲ
				指標	整備した植栽本数【累計】						
					基準値 (2018)	—	目標値 (2021)	11本			
進捗状況											
年度		状況	成果	取組内容						備考	
2019 (R1)											
2020 (R2)											
2021 (R3)		着手・完了	12本	・当初市民参加で実施予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により業者にて中木12本の植樹を行った。						2021年度版新規事業	
2022 (R4)											
2023 (R5)											
前期(2019年度～2023年度)総括評価コメント											

表の下線部については、2022年度当初計画から変更になったものを示します。